Canon

POWER PROJECTOR
WUX450
WX520
WUX400ST
WX450ST

使用説明書





AISYS
Aspectual Illumination System

HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

PJLink™

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
NMPJ編
ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要
各モードでの操作
共通の機能
付録
その他の情報
索引

JPN

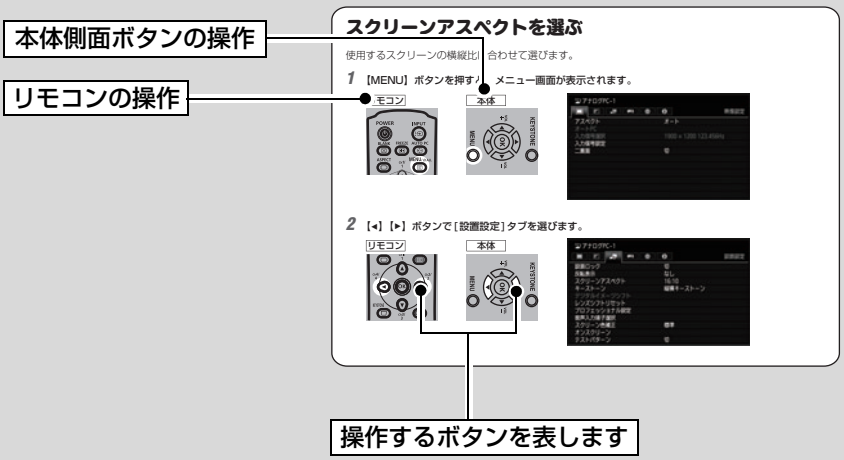
本書の読みかた

キヤノン製品のお買い上げ、誠にありがとうございます。
パワープロジェクターWUX450 / WX520 / WUX400ST / WX450ST（以下、本機）は、高解像度コンピューターの画面や高画質デジタル映像を、高精細で大画面に投写可能な高性能プロジェクターです。

本書について

本書はパワープロジェクター **WUX450 / WX520 / WUX400ST / WX450ST** 共通の使用説明書です。**操作編 (P39)** には、本機の使いかたが説明されています。**設置とメンテナンス編 (P109)** には、本機の設置方法とメンテナンスの方法が説明されています。**ネットワーク・マルチ・プロジェクション (NMPJ) 編 (P185)** には、LAN で接続された複数のコンピューターの映像を複数のプロジェクターに投写するアプリケーションソフトの使いかたが説明されています。本機の機能を十分に活用していただくため、お使いになる前に本書をよくお読みください。また、設置作業については専門の技術者または販売店で行って頂くことをお勧めします。
本書のイラストは、特に記載が無い場合**WUX450 / WX520**で説明しています。

ボタン操作を表す記号
本機は、付属のリモコンまたは本体側面のボタンを使って操作します。なお、リモコンではすべての機能が操作できます。
本書では、ボタン操作を次のように表記しています。



説明の内容を表す記号

本文中マークがついた欄は、次のような内容となっています。

操作上の注意事項や制限事項が記載されています。

操作上知っておいていただきたいことや参考になることが記載されています。

著作権についてのご注意

本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

商標について

- Ethernet は Xerox 社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista 、Windows 7、Windows 8 、Aero は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。
- Mac, Mac OS, およびMacintosh は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- AMXは、AMX Corporationの商標です。
- Crestron®、Crestron RoomView®、Crestron Connected™ は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

おもな特長

コンパクトインストール機

幅337mm ×奥行き362mm ×高さ118mm (突起部含まず) のコンパクトサイズで、広いスペースを必要としないインストール機です。(P275)

LCOS パネルによる高解像投写

高解像度のLCOS (反射型液晶) パネルを搭載し、**WUX450 / WUX400ST**はWUXGA (1920 × 1200 ドット) 、**WX520 / WX450ST**はWXGA + (1440 × 900 ドット) での投写が可能です。

2 画面で表示する

本機に接続された2系統の映像入力を1つのプロジェクターで並べて投写することができます。(P71)

レンズシフト、フォーカスの手動調整

映像位置の調整 (P48、P119) やピント の調整 (P49) が手動で行えます。

スクリーンの大きさに合わせたズーム調整

WUX450 / WX520 は光学的なズーム (P47) 、**WUX400ST / WX450ST** は電子的なズーム (P133) により投写映像のサイズを 調整することができます。

近距離からワイドな大画面投写 (WUX400ST / WX450ST)

近距離 (100型を約 1.2m) からワイドな大画面の投写が可能です。

USB ファイルビューア

USBメモリに保存されたJPEG画像をプロジェクターで投写することができます。(P69)

エッジブレンディング

複数のプロジェクターを並べて一つの画面にして投写するとき、映像の重なり部分の境界を目立たなくします。(P143)

テストパターンの表示

映像入力なしで本機単体で各種のテストパターンの投写が可能です。(P142)

ネットワーク・マルチ・プロジェクション (NMPJ)

ネットワークを介して複数のコンピューターの映像を複数のプロジェクターで投写することができます。(P185)

知りたいこと早引きガイド

本機をもっと便利に使いこなしたいときや、プレゼンテーションでスマートに見せたいときは、こちらから機能を探してください。

接続する

コンピューターを接続する (P122～P124)
AV機器を接続する (P125～P127)

投写する

電源を入れる (P42)
入力信号を選ぶ (P43～P44)
2系統の映像を同時に投写する (P71)

画面を調整する

画面サイズやピントを調整する (P47、P49)
台形ひずみを調整する (P57)
横縦比を調整する (P50～P56)
コンピューター画面のちらつきや位置ずれを調整する (P79、P80)

色味や画質を調整する

黒板に投写する (P137)
映像に合わせてイメージモード設定から選ぶ (P85)
細かく色を調整する (P89)
ノイズを除去する (P91)

プレゼンテーションを演出する

映像を一時的に消す (P66)
映像を静止させる (P66)
音量を調節する (P67)
音声を一時的に消す (P67)
映像を拡大する (P68)
USBメモリの画像を投写する (P69～P70)

リモコンのチャンネルを変更する (P100)

設定をリセットする

パスワードを強制解除する (P103)
ネットワーク設定を初期化する (P156)
メニューで設定した内容を購入時に戻す (P107)

その他の機能

オートパワーオフを使う (P97)
電源コードの接続で電源を入れる (P98)
操作時の電子音を消す (P98)
ボタン操作を禁止する (P99)
ガイドメッセージを表示させない (P138)
パスワードを設定する (P102)
ランプの光量を落とす (P94)
テストパターンを表示する (P142)
音声入力端子を選択する (P137)
複数のプロジェクターの投写映像を組み合わせる (P143～P148)
ネットワーク経由で投写する (P188)

目次

本書の読みかた 2

おもな特長 4

知りたいこと早引きガイド 5

安全にお使いいただくために 16

安全上の注意を表す記号 16

使用上のご注意 17

設置および取り扱い上のご注意 18

ランプについての安全上のご注意 19

リモコンの電池に関するご注意 20

正しくお使いいただくために 22

はじめに 23

付属品の確認 24

■ レンズキャップの取り付けかた 24

リモコンの準備 25

■ リモコンへの電池の入れかた 25

■ リモコンで操作できる範囲 25

■ 別売品のリモコン (RS-RC05) をケーブルで接続して使う場合 26

各部のなまえ 27

本体 (WUX450 / WX520) 27

■ 前面 27

■ 背面 27

■ 底面 27

本体 (WUX400ST / WX450ST) 28

■ 前面 28

■ 背面 28

■ 底面 28

リモコン 30

本体操作部 32

LED インジケーター 32

■ LED インジケーターの表示について 33

接続端子 34

レンズシフト操作部 35

投写レンズ部 35

第三者のソフトウェアについて 36

■ GPL および LGPL で許諾されるソフトウェアについて 36

■ GNU General Public License Version 2 に基づくソフトウェアプログラム 36

操作編 39

投写する 41

ステップ 1　電源を入れる 42

ステップ 2　入力信号を選択する 43

入力信号の種類 43

入力信号を選択する 44

ステップ 3　画面を調整する 45

コンピューターの表示解像度を設定する 45
■ Windows 8 の場合 45
■ Windows 7 の場合 45
■ Windows Vista の場合 46
■ Windows XP の場合 46
■ Mac OS X の場合 46

オート PC で調整する 47
■ オート PC を行う 47

画面サイズを調整する (WUX450 / WX520) 47

画面位置を調整する 48
■ WUX450 / WX520 48
■ WUX400ST / WX450ST 48

ピントを合わせる 49

ステップ 4　スクリーンに合わせて横縦比 (アスペクト) を選択する ... 50

スクリーンアスペクトを選ぶ 50

16:9 D イメージシフト時に映像を移動する 52

4:3 D イメージシフト時に映像を移動する 53

移動をリセットする 54

アスペクトを選択する 55

アスペクトの種類 55

アスペクトの選択のしかた 56

ステップ 5　画面のゆがみを調整する 57

台形ひずみを調整する 57
■ 縦横キーストーン補正を行う 57
■ 4 点補正を行う 58
■ 補正をリセットする 59

ステップ 6　画質 (イメージモード) を選択する 60

イメージモードの種類 60
■ イメージモードの選びかた 61

ステップ 7　エコ設定を行う 62

ステップ 8　本機の電源を切る 63

プレゼンテーションで使える便利な機能..... 65
プレゼンテーション中に役立つ機能..... 66
映像を一時的に消す 66
映像を静止させる 66
音量を調節する 67
音声を一時的に消す 67
映像を拡大する 68
USB メモリの画像を投写する..... 69
2 画面を並べて表示する..... 71
メニューによる機能設定..... 73
メニューの使いかた..... 74
メニューの構成 74
メニューの基本操作 75
表示状態を設定する (映像設定)..... 77
アスペクトを選択する 77
オート PC で設定する 78
入力信号を選択する 78
入力信号を調整する (総ドット数) 79
入力信号を調整する (トラッキング) 79
入力信号を調整する (水平位置) 80
入力信号を調整する (垂直位置) 80
入力信号を調整する (水平表示ドット数) 81
入力信号を調整する (垂直表示ドット数) 81
HDMI 入力レベルを調整する 82
HDMI カラーフォーマットを設定する 82
HDMI オーバースキャンを設定する 83
プログレッシブ処理を設定する 83
スライドショー間隔を設定する 84
2 画面表示を設定する 84
画質を調整する (イメージ調整)..... 85
2 画面表示時のイメージ優先を設定する 85
イメージモードを設定する 85
ユーザーメモリを作成 / 保存する 86
明るさを調整する 87

コントラストを調整する 88
シャープネスを調整する 88
ガンマ補正を行う 89
色を調整する 89
環境光に合わせて調整する (アンビエントライト) 90
ノイズを低減する (ノイズリダクション) 91
ダイナミックガンマを調整する 91
記憶色を補正する 92
きめ細かい色調整を行う (6 軸色調整) 92
ガンマの詳細な調整を行う 93
コントラストの制御を設定する (アイリス) 93
ランプモードを設定する 94
イメージ調整をリセットする 94
動作を設定する (システム設定) 95
ユーザー画像を登録する 95
ユーザー画像位置を設定する 95
無信号時の画面 96
BLANK 時の画面 96
電源を入れたときの画面 97
オートパワーオフを設定する 97
ダイレクトパワーオンを設定する 98
電子音を設定する 98
キーリピートを設定する 99
キー操作をロックする 99
リモコンのチャンネルを設定する 100
MB リダクションを設定する 101
HDMI 入力を設定する 101
表示言語を選択する 102
パスワード機能を設定する 102
パスワードを登録する 103
ガンマリストアを調整する 104
ランプカウンターをリセットする 104
■ ランプカウンターの表示について 105
エアフィルターカウンターをリセットする 106
ファームウェアのバージョンを更新する 106
購入時の状態に戻す 107
情報を確認する (インフォメーション) 108

設置とメンテナンス編 109

設置する 111

設置の前に 112

持ち運び時 / 輸送時のご注意 112

設置のときのご注意 112
■ 天井から吊り下げてご使用になる場合 113
■ 正しい方向に設置してください 114

設置のしかた 115

プロジェクターを設置する 115
■ スクリーンの正面に置く 115
■ 床に置く 115
■ 上向きで置く 115
■ 高い位置に設定して投写するには 116
■ 天吊り / リア投写について 117

投写距離と画面サイズの関係 118
■ レンズシフト機能について 119
■ レンズシフト移動量について 119

接続のしかた 121

接続できる機器と接続端子 121

コンピューターを接続する 122
■ RGB モニター出力端子と接続 (アナログ接続) 122
■ DVI モニター出力端子と接続 (デジタル接続) 123
■ HDMI ケーブルで接続 (入力信号の種類［HDMI］P43) 124
■ 音声を外部に出力する 124

AV 機器を接続する 125
■ デジタル映像出力端子と接続 （デジタル接続) 125
■ アナログ映像出力端子と接続 (アナログ接続) 126
■ 音声を外部に出力する 126

電源コードを接続する 127

電源を入れる 128

電源を入れる / 切る 128
■ 電源を入れる 128
■ 電源を切る 128
■ 言語を選ぶ画面が表示されたとき 128
■ パスワード入力画面が表示されたとき 128
■ 「入力信号がありません」と表示されたとき 129
■ ノート型コンピューターの画面が表示できないとき 129
■ 画面を調整するとき 129

ノート型コンピューターの画面出力を切り換える 129
■ 外部モニター切り換え操作 129

メニューによる設置設定 130

設置ロック機能を設定する 130

反転表示を設定する 130

スクリーンアスペクトを設定する 132

投写サイズを調整する (WUX400ST / WX450ST) 133
キーストーンを設定する 133
デジタルイメージシフトを設定する 134
マイクロデジタルイメージシフトを設定する 135
レジストレーションを調整する 135
ファンモードを設定する 136
直立投写を設定する 136
音声入力端子を選択する 137
スクリーンを色補正する 137
メニューの表示位置を設定する 138
ガイド画面の表示 / 非表示を設定する 138
入力状態の表示 / 非表示を設定する 139
高温注意の表示 / 非表示を設定する 139
メニューの表示時間を設定する 140
ランプ交換警告の表示 / 非表示を設定する 140
フィルター清掃警告の表示 / 非表示を設定する 141
2 画面 ID の表示 / 非表示を設定する 141
テストパターンの表示 / 非表示を設定する 142
複数台のプロジェクターを並べて投写する (エッジブレンディング) 143
■ 基本的な使いかた 143
■ 高度な使いかた (黒レベルを合わせる) 145
■ 高度な使いかた（つなぎ目をよりなめらかにする） 147

ネットワークに接続して使用する 149

ネットワーク接続の概要 150

接続方法について 150

プロジェクターでの設定 151

ネットワーク設定変更のロック / ロック解除を設定する 151
ネットワークパスワードの入 / 切を設定する 152
ネットワークパスワードを登録する 152
ネットワーク機能 (有線) の入 / 切を設定する 153
待機時の電力を設定する 153
IP アドレスを表示する 154
ゲートウェイアドレスを表示する 154
MAC アドレスを表示する 155
DHCP の入 / 切を設定する 155
TCP / IP を設定する 156

ネットワーク設定を初期化する 156
PJLink を設定する 157
AMX Device Discovery の使用を設定する 158
Crestron RoomView の使用を設定する 158
コンピューターでの設定 159
IP アドレスを設定する 159
■ Windows 7 の場合 159
■ Windows Vista の場合 160
■ Windows XP の場合 160
■ Mac OS X の場合 161
■ コンピューターの IP アドレスの設定を戻すとき 162
ネットワークを設定する 162
■ ネットワーク設定画面の表示 162
■ ネットワークの設定 164
■ エラー通知メール 173
ウェブ画面による操作 175
メンテナンス 177
本体を清掃する 178
エアフィルターを交換・清掃する 179
エアフィルターの交換 179
エアフィルターの清掃 180
ランプを交換する 181
交換用のランプについて 182
ランプ交換手順 182
■ ランプカバーが外れたときは 184
ネットワーク・マルチ・プロジェクション (NMPJ) 編 185
ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要 187
ネットワーク・マルチ・プロジェクションとは 188
■ ネットワークを介した投写 188
■ 画面分割による複数画像の投写 188
■ 複数のプロジェクターへの同時投写 188
■ 投写するモニターを選択する 189
インストールする 190
動作環境 190
インストールする 191
アンインストールする 193

起動から終了まで..... 195
■ セッションについて..... 199

各モードでの操作.....201

ダイレクトモードで使用する..... 202
操作手順..... 202
ダイレクトモード画面について..... 204

ミーティングモードで使用する..... 206
操作手順 (セッションを作成する場合)..... 206
操作手順 (セッションに参加する場合)..... 212
ミーティングモード画面について..... 214

クラスルームモードで使用する..... 216
操作手順 (司会者の場合)..... 216
操作手順 (参加者の場合)..... 222
クラスルームモード画面 (司会者用) について..... 225
クラスルームモード画面 (参加者用) について..... 227

ブロードキャストモードで使用する..... 229
操作手順..... 229
ブロードキャストモード画面について..... 232

共通の機能 235

セッション選択画面を活用する..... 236
セッション選択画面について..... 236
セッションを検索する..... 237

プロジェクター選択画面を活用する..... 238
プロジェクター選択画面について..... 238
■ プロジェクターを検索する..... 240
■ パスワードの設定されたプロジェクターを選択する..... 241
■ お気に入り機能を使用する..... 242
■ プロジェクター一覧を並べ替える..... 243
■ プロジェクターの電源を ON にする..... 243

レイアウト機能を活用する..... 244
■ 操作するプロジェクターを切り換える..... 244
■ プロジェクターを一括して操作する..... 244
■ 複数のプロジェクターで投写する (マルチ投写)..... 245
■ プライマリモニター / セカンダリモニター画面を切り換える..... 246
■ 一時的に 1 つの画面を拡大する..... 246
■ セッション情報を投写する..... 247
■ 投写をすべてブランクにする..... 247
■ 自分のコンピューターの投写をブランクにする..... 249

■ セッション中にコンピューターが参加 / 退出した場合 250
各種設定を実施する 252
画面を小型化する 254
こんなときは 255
■ 接続可能な台数を超えた場合 255
■ 通信が切断された場合 255
■ プロジェクターが検出できない場合 255
制約事項 256
■ ルーターについて 256
■ セキュリティ画面の投写について 256
■ セキュリティソフトについて 256
■ アニメーションカーソルについて 256
■ カーソルについて 256
■ 投写の制限について 256
■ ネットワーク帯域について 256
■ ファイアウォールがインストールされている場合 256
■ 表示について 256

付録 257

付録 259
困ったときには 260
LED インジケーターの見かた 260
困ったときのアドバイス 261
■ 電源が入らない 261
■ 映像が投写されない 262
■ 音声が出ない 263
■ 映像が鮮明でない 263
■ 映像が正しく表示されない 264
■ 電源が切れてしまう 264
■ リモコンの操作ができない 265
■ ネットワーク・マルチ・プロジェクションが操作できない 265
アスペクトとスクリーンアスペクトの関係 266
■ 16：10 のスクリーンいっぱいに投写するとき 266
■ 16：9 のスクリーンいっぱいに投写するとき 266
■ 4：3 のスクリーンいっぱいに投写するとき 267
■ 16：10 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき 267
■ 16：9 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき 267
■ 4：3 のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき 268
表示できるテストパターンについて 269
対応信号 270
製品の仕様 272
■ 本体 272

■ リモコン 274
■ 外観図 275
■ アナログ PC-2 / COMPONENT 端子 276
■ サービス用端子 (CONTROL) 276

索引 279

保証とアフターサービス 282

メニューの構成 283

安全にお使いいただくために

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

警 告	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
注 意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
 感電注意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
	**これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。**
 禁 止	**この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。**
	**これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。**
 注 意	**この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示します。**

電波障害自主規制について

この装置はクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警告

設置する際は、電源プラグをすぐに抜けるようにするか、または配線用遮断装置を手の届くところに設置してください。
以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。





- **煙が出ている。**
- **変なにおいや音がする。**
- **水など液体が本機に入った。**
- **金属類や異物が本機に入った。**
- **本機を倒したり、落としたりしてキャビネットを破損した。**

電源コードの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。





- **電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。**
- **電源コードを敷物などで覆わないでください。**
- **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、また巻いたり、束ねたりしないでください。**
- **電源コードを熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。**
- **破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は販売店にご相談してください。**
- **付属している電源コードは、本製品専用です。他の製品では使用できません。**





- **電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。**
- **アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。**

⚠警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。





- **表示された電源電圧(AC100V) 以外の電圧で使用しないでください。**
- **電源プラグやコネクターを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクターを持って抜いてください。電源コードが破損します。**
- **電源プラグやコネクターの接点部に金属類を差し込まないでください。**





- **ぬれた手で電源プラグやコネクターを抜き差ししないでください。**





- **電源プラグやコネクターは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。**
- **コンセント付き延長コードを使う場合は、延長コードの定格容量を超えない範囲でお使いください。**



- **電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。**

設置および取り扱い上のご注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。





- **水や雨のかかるおそれのある室外や風呂、シャワー室などで使用しないでください。**
- **本機の上に液体の入った容器を置かないでください。**





- **雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。**





- **本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。**
- **本機のお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。**

⚠警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



- **キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があります。内部の点検・整備・修理は販売店にご相談してください。**
- **本機（消耗品を含む）・リモコンを改造しないでください。**
- **使用中は排気口をのぞかないでください。**



- **吸気口や排気口等の穴から物などを差し込まないでください。**
- **排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。**
- **本機のレンズ・フィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となることがあります。**
- **使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。**
- **本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。**
- **天吊り設置についての注意は、専用の天吊り金具（別売品）に同梱している「組立・設置説明書」を見てください。**

ランプについての安全上のご注意

本プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプには、次のような性質があります。

- ランプは使用時間の経過による劣化などで、次第に暗くなります。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプ交換の指示「ランプを交換する」(P181) が出た場合、ランプが破裂する可能性が高くなっています。すみやかに新しいランプと交換してください。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間は大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用のランプをご用意ください。

⚠警告

ランプ交換および破裂したときは、以下の点にご注意ください。感電やけがの原因になります。





- **ランプ交換は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、1時間以上待ってから行なってください。**
- **ランプが破裂した場合は本機の内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店へ本機内部の清掃と点検、ランプの交換を依頼してください。**

ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意



- **電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。**
- **本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたり、ランプを交換するなどのときは、ランプが落下する可能性があります。ランプの交換作業時は、ランプカバーの真下に立たず、横から作業してください。**
- **ランプが破裂した場合、ランプ内部のガス（水銀を含有）や粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。**
- **万一、ランプから生じるガスや破片を吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。**

リモコンの電池に関するご注意

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。



- **電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。**
- **付属の電池は充電しないでください。**



- **電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。**
- **電池を交換するときは2本いっしょに交換してください。また、種類の違う電池をいっしょに使用しないでください。**
- **+ とーの向きを正しく入れてください。**
- **万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。**

⚠注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。


電源プラグをコンセントから抜け

- **長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグやコンセントにほこりがたまり、火災の原因となることがあります。**


禁 止

- **投写中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。やけどの原因となることがありますので手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、排気口周辺や上部に金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となることがあります。**
- **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。**
- **本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。**
- **ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。**
- **投写中、レンズの前に物をおかないでください。火災の原因となることがあります。**
- **投写中、本機の前で発表する場合は、スクリーンに発表者の影が映らない位置など、まぶしさを感じない位置で行ってください。**

ランプの取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。


禁 止

- **ランプを取り出す際は、本機の電源を切った後、1時間以上経過し、ランプと本体が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。**

注意

本機を持ち運ぶ際は、以下の点にご注意ください。



- **本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となることがあります。**
- **ご購入時の梱包材や緩衝材を本機の運搬、輸送に再利用しないでください。使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因となることがあります。**
- **本機の接続ケーブルを外してください。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因となることがあります。**
- **移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。**
- **レンズの保護のためにレンズキャップをはめてください。**

設置または使用に関して以下の点に注意してください。



- **レンズを素手で触らないでください。画質を損なう原因となることがあります。**
- **低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときは、本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。**
- **高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因となることがあります。使用温度については「製品の仕様」を参照してください。**
- **熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。**
- **高地でご使用される場合や上向き投写、下向き投写でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。設定を変更しないと、ランプの寿命が短くなったり故障の原因となることがあります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。**
- **高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。**
- **カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しないでください。内部に熱がこもり、本機の故障の原因となることがあります。**
- **冷却ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもりランプの寿命が短くなったり故障の原因となることがあります。**
- **本機を誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となることがあります。立てたり左右に傾けて設置しないでください。**
- **本機の吸気口、排気口を壁などから離して設置してください。排気の影響で故障の原因となることがあります。**
- **湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因となることがあります。**

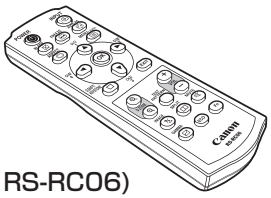
はじめに

目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
NMPJ編
ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要
各モードでの操作
共通の機能
付録
その他の情報
索引

付属品の確認

次の付属品が揃っていることを確認してください。

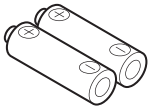
・リモコン



(品番：RS-RC06)

別売品のリモコン (RS-RC04、RS-RC05) で操作することもできますが、機能しないボタンもあります。また、RS-RC05 はワイヤードリモコンとして使用できます。(P26)

・リモコン用乾電池

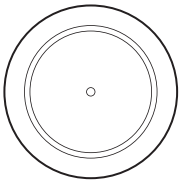


(単４形２本)

・レンズキャップ

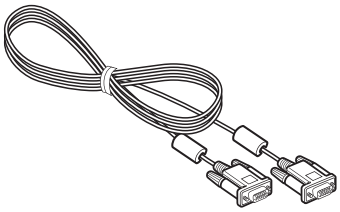


WUX450 / WX520



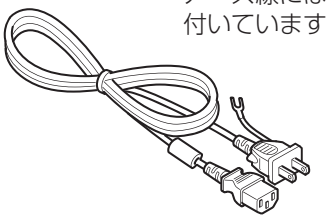
WUX400ST / WX450ST

・コンピューターケーブル (1.8m)
(ミニ D-sub15 / ミニ D-sub15 ピン用)



・電源コード (1.8m)

アース線にはキャップが付いています。



・使用説明書 (冊子)



・使用説明書 (CD-ROM)



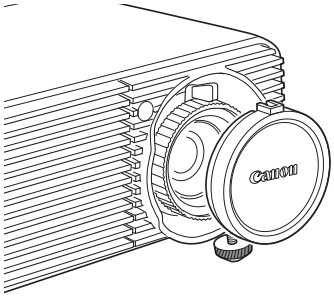
・保証書

■ レンズキャップの取り付けかた

WUX450 / WX520 をご使用の場合は図のように、レンズキャップの切りかけを光学ズーム調整レバーにあわせて取り付けます。
WUX400ST / WX450ST をご使用の場合は、レンズキャップの位置合わせは必要ありません。

注 意

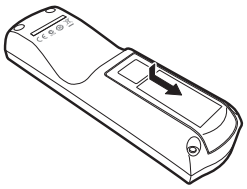
投写の際は必ずレンズキャップを外してください。キャップをつけたまま投写するとキャップが変形し故障の原因となることがあります。



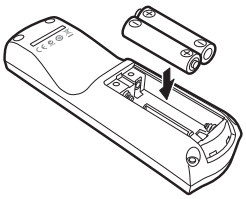
リモコンの準備

■ リモコンへの電池の入れかた

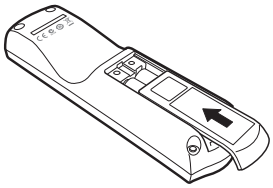
1 **電池カバーを開く。**
押しながらスライドさせて外します。



2 **電池を入れる。**
新しい単４乾電池２本を ＋プラスと－マイナスの向きに注意して入れます。



3 **電池カバーを閉じる。**
スライドさせ、パチンと音が出るまでしっかり閉じます。



- リモコンでの操作ができない場合は、新しい電池と交換してください。
- リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。故障の原因となります。

⚠ 警告

禁止

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。

- **電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。**
- **付属の電池は充電しないでください。**

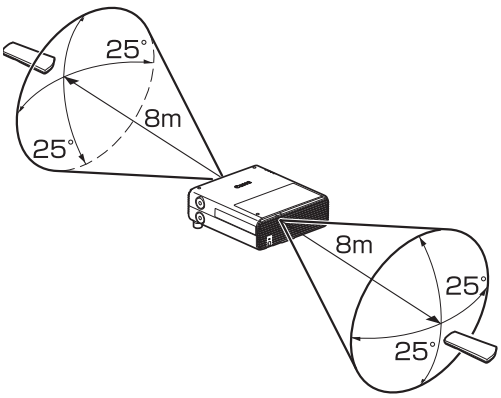
注意

- **電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。**
- **電池を交換するときは２ 本いっしょに交換してください。また、種類の違う電池をいっしょに使用しないでください。**
- **＋ とーの向きを正しく入れてください。**
- **万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。**

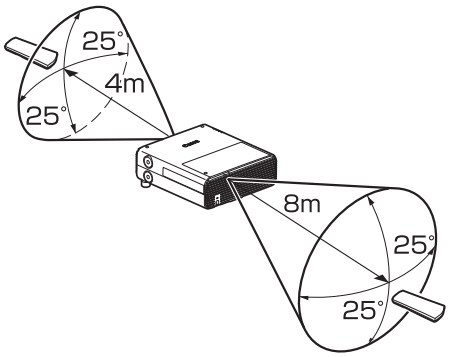
■ リモコンで操作できる範囲

リモコンは赤外線方式です。本体の前面または背面にあるリモコン受光部に向けて操作してください。

WUX450 / WX520



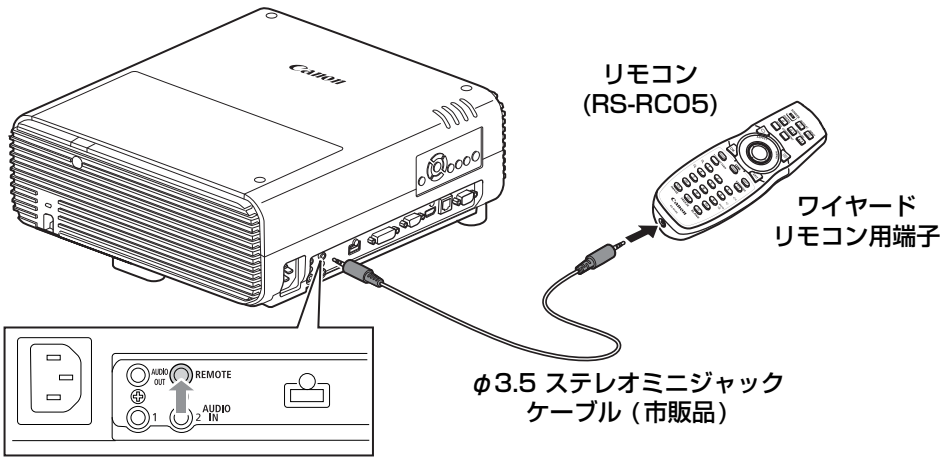
WUX400ST / WX450ST



- リモコンは本体の受光部の正面から 25° の範囲で使用してください。
- 本体との間に障害物があるときや、本体の受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているときは、リモコンが操作できないことがあります。
- 2 台以上のプロジェクターを使用する場合は、リモコンが干渉し合わないようにチャンネル設定を切り換えてください。(P100)

■ 別売品のリモコン (RS-RC05) をケーブルで接続して使う場合

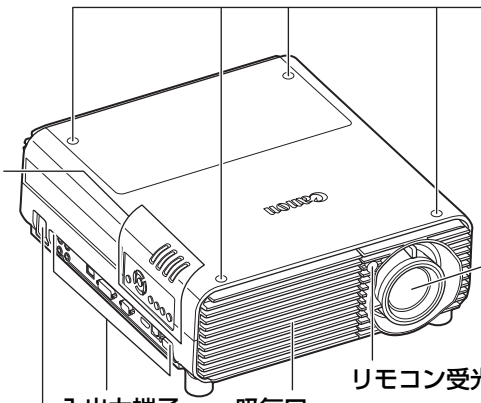
リモコンを本体とケーブルで接続して使用したい場合は、別売品の RS-RC05 をご使用ください。
ケーブルは、市販品の φ3.5 ステレオミニジャックケーブルをご使用ください。



- 本体、またはリモコンにケーブルを接続している場合は、赤外線での操作ができません。
- φ3.5 ステレオミニジャックケーブル (市販品) は、**長さ 30m 以下**のものを使用してください。

本体 (WUX450 / WX520)

■ 前面



ホールキャップ (P116)
別売品のオプション脚を取り付けます。ホールキャップの取り外し方については、「別売品のオプション脚 (RS-FT01) を取り付ける」を参照してください。

本体操作部 (P32)

投写レンズ (P35)

リモコン受光部 (P25)

入出力端子 (P34)

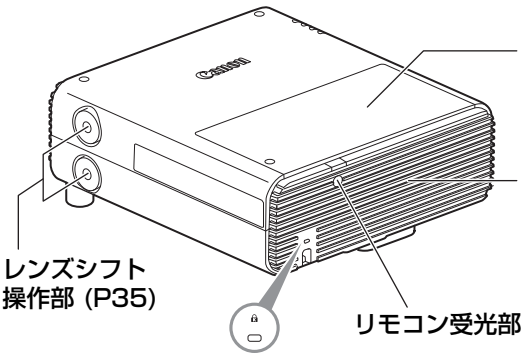
吸気口
エアフィルター (P179)

電源コード接続部 (P127)

注 意

- **吸気を妨げないようにしてください。故障の原因となることがあります。**
- **投写するときはレンズキャップを必ず外してください。故障の原因となります。**

■ 背面



ランプカバー

排気口

注 意

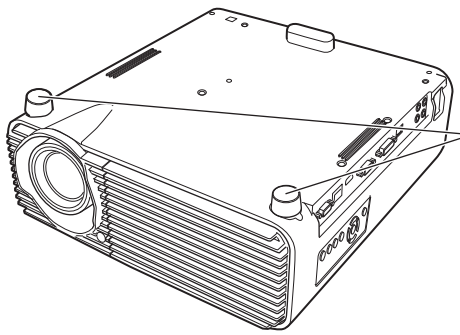
排気を妨げないようにしてください。故障の原因となることがあります。

レンズシフト
操作部 (P35)

リモコン受光部 (P25)

盗難防止用ロック穴
市販の盗難防止用ワイヤケーブルを接続できます。

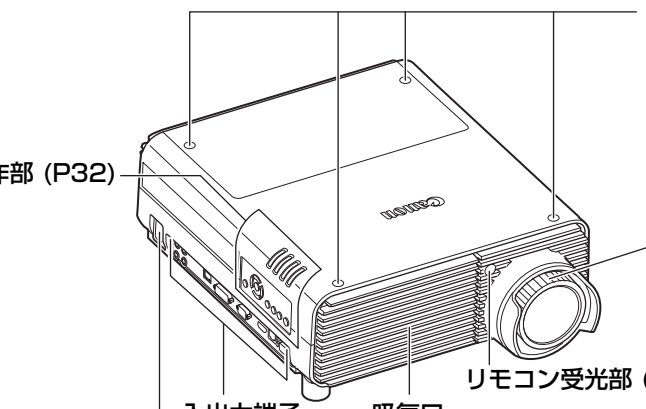
■ 底面



調整脚 (P115)

本体 (WUX400ST / WX450ST)

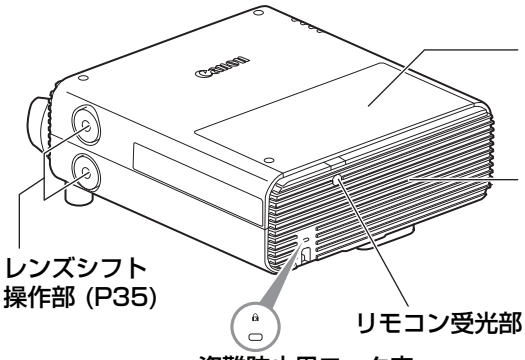
■ 前面



注 意

- **吸気を妨げないようにしてください。故障の原因となることがあります。**

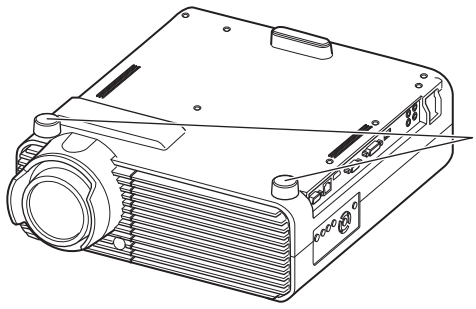
■ 背面



注 意

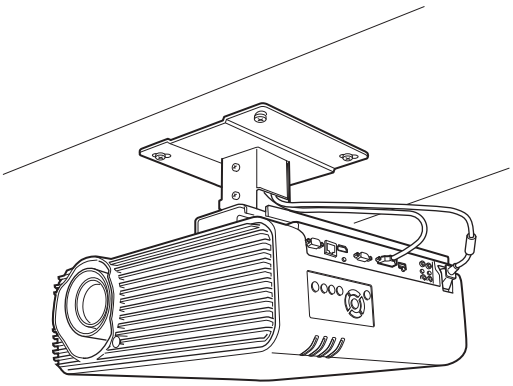
排気を妨げないようにしてください。故障の原因となることがあります。

■ 底面



吊り下げ型の設置について

本機は天井から吊り下げてご利用いただくこともできます。
吊り下げには、オプションの天吊り金具**(品番:RS-CL12 (WUX450 / WX520)、RS-CL13 (WUX400ST / WX450ST))**が必要です。更に、設置環境に合わせて、延長パイプ (品番:RS-CL08、またはRS-CL09) が必要になる場合があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。



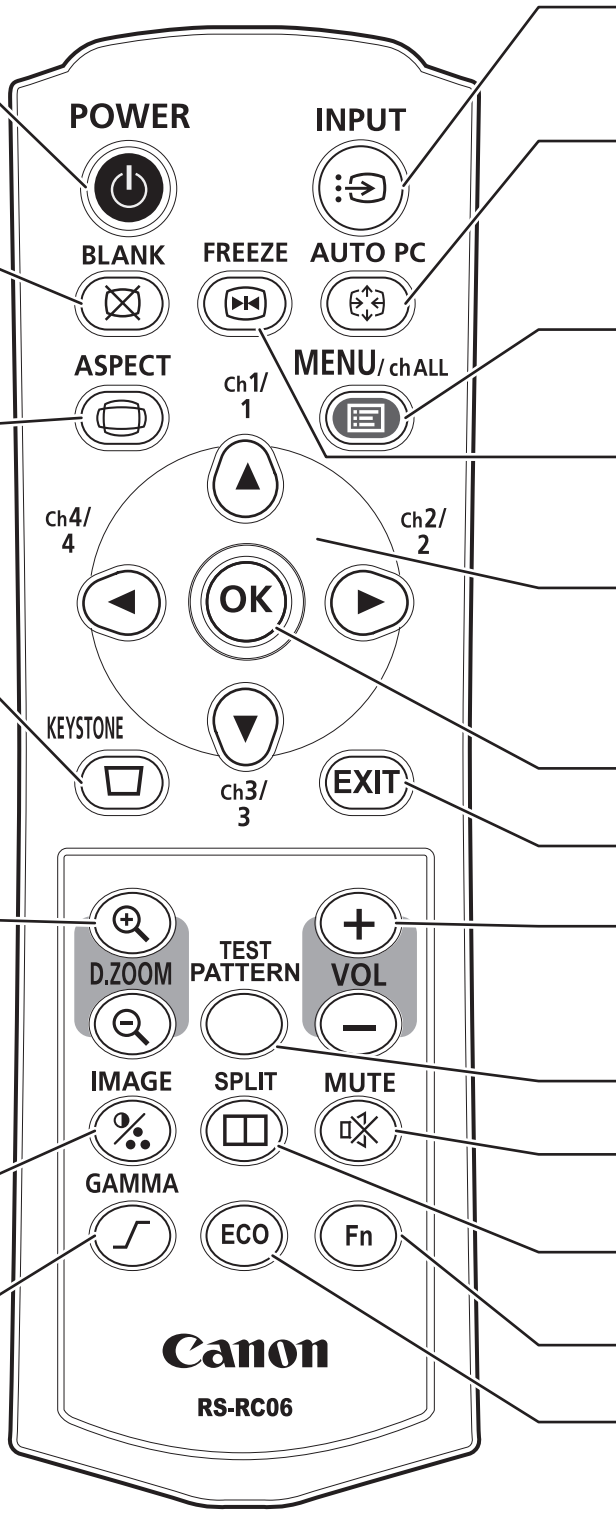
注意

- **必ず専用の天吊り金具を使用してください。**
- **お客様による天吊り金具の設置は絶対におやめください。**

本機を吊り下げてご使用になる際は、メニューの［反転表示］で映像を反転する必要があります。(P130)

リモコン

本機は、リモコンまたは本体操作部のボタンを使って操作します。
付属しているリモコンで本機のすべての操作ができます。



パワー
POWERボタン (P42、P63)
電源をON / OFFします。

ブランク
BLANKボタン (P66)
映像の表示 / 非表示を切り換えます。

アスペクト
ASPECTボタン (P56)
映像の横縦比 (アスペクト) を切り換えます。

キーストーン
KEYSTONEボタン (P57)
台形ひずみを調整します。
操作は [キーストーン] の設定により、上下、または左右方向の長さを調整する縦横キーストーンと、各角ごとに調整する 4 点補正があります。

デジタルズーム
D. ZOOMボタン (P68)
映像をデジタルズームで拡大縮小します。
【+】ボタン　拡大 (最大12倍)
【−】ボタン　縮小 (最小1倍)
【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン
拡大場所を移動します。

イメージ
IMAGEボタン (P60)
イメージモード (画質) を切り換えます。

ガンマ
GAMMAボタン (P89)
ガンマを調整します。
【▶】ボタン　暗い部分を見やすく補正します。
【◀】ボタン　明るい部分を見やすく補正します。

インプット
INPUTボタン (P44)
投写する入力信号を選びます。

オートピーシー
AUTO PCボタン (P47)
アナログ PC 入力時に、コンピューターの信号に合わせて本機を最適な状態に調整します。

メニュー
MENUボタン (P74)
投写画面にメニューを表示します。また、リモコンのチャンネル設定を行います。(P100)

フリーズ
FREEZEボタン (P66)
映像を静止させます。

方向ボタン (P75)
メニューなどで上下左右の方向を指定します。また、リモコンのチャンネル設定を行います。(P100)

オーケー
OKボタン (P75)
メニューなどで選んだ項目を確定します。

イグジット
EXITボタン (P76)
メニュー表示や、テストパターンなどの使用中の機能を解除し、映像の表示に戻ります。

ボリューム
VOLボタン (P67)
音量を調節します。
【+】ボタン　音量を上げます。
【−】ボタン　音量を下げます。

テストパターン
TEST PATTERNボタン (P142)
テストパターンを表示します。

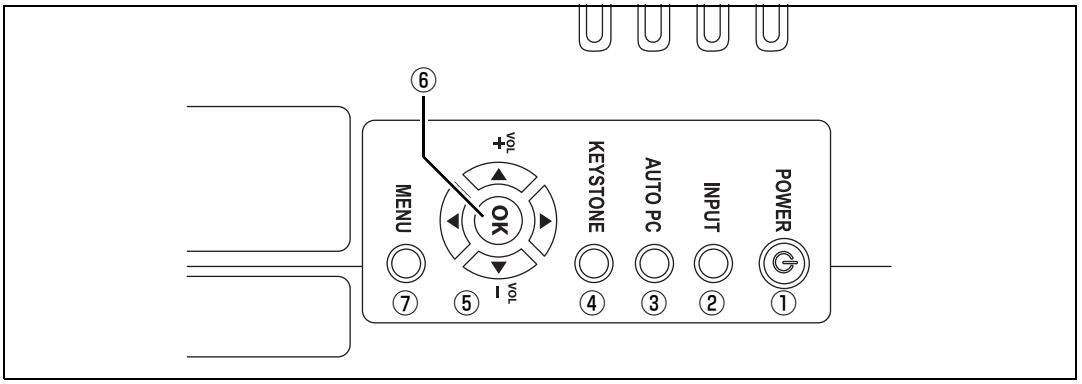
ミュート
MUTEボタン (P67)
音声を一時的に消します。

スプリット
SPLITボタン (P71)
2画面機能を呼び出します。

ファンクション
Fnボタン
本機では使用しません。

エコ
ECOボタン (P62)
ECOメニューを呼び出し、省電力に関する設定を行えます。

本体操作部



①POWERボタン (P42、P63)
（パワー）
電源をON / OFFします。

②INPUTボタン (P44)
（インプット）
投写する入力信号を選びます。

③AUTO PC（オートピーシー）(P47)
（オートピーシー）
アナログPC 入力時に、コンピューターの信号に合わせて本機を最適な状態に調整します。

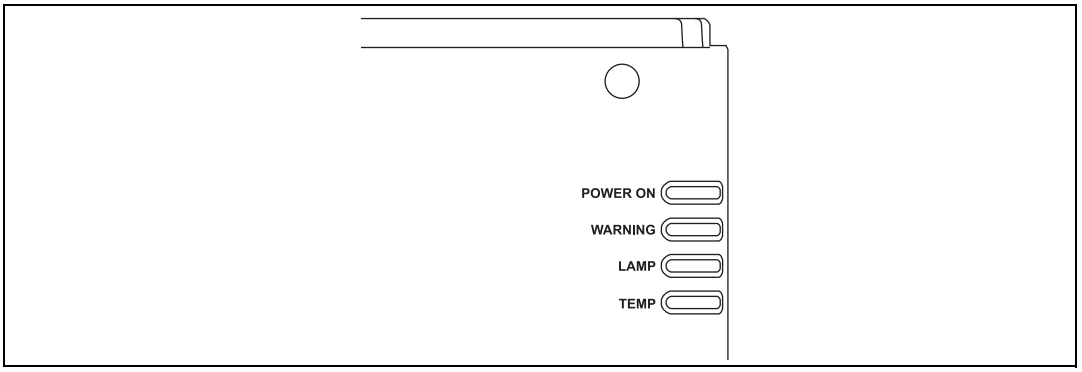
④KEYSTONE（キーストーン）(P57)
（キーストーン）
台形ひずみを補正します。

⑤方向 / VOLボタン (P67、P75)
（ボリューム）
音量を調整します。
【▲】【VOL +】ボタンは音量を上げます。
【▼】【VOL −】ボタンは音量を下げます。
メニューなどでは上下左右の方向を指定します。

⑥OKボタン (P75)
（オーケー）
メニューなどで選んだ項目を確定します。

⑦MENUボタン (P74)
（メニュー）
投写画面にメニューを表示します。

LED インジケーター



LEDの表示（消灯 / 点灯 / 点滅）で本機の状態を知らせます。
インジケーターの状態については「LED インジケーターの表示について」(P33) を参照してください。

- POWER ON (緑)：正常状態で、点灯または点滅します。
- WARNING (赤)　：エラー発生時に点灯または点滅します。
- LAMP (橙)　　：ランプの交換時期が近づいたときに点滅します。ランプカバー異常時は、さらに、[WARNING] インジケーターが点滅します。ランプの異常時には [WARNING] インジケーターとともに点灯します。
- TEMP (赤)　　：内部が高温状態になったときに点滅します。さらに内部の温度が上昇した場合には、温度エラーとなり [WARNING] インジケーターとともに点灯します。

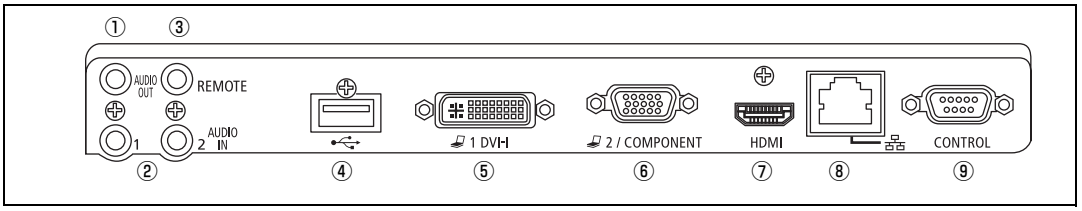
■ LED インジケーターの表示について

本機の動作状態を各LED インジケーターの点滅または点灯で示します。

□: 消灯　■: 点灯　■: 点滅

LED インジケーター				動作状態
POWER ON (緑)	WARNING (赤)	LAMP (橙)	TEMP (赤)	
□	□	□	□	電源が接続されていません
■	□	□	□	電源が入っています
■	□	□	□	スタンバイ状態です（ゆっくり点滅：4 秒周期）
■	□	□	□	スタンバイ状態から電源オン、または電源オンからスタンバイ状態に移行中です（点滅：1 秒周期）
■	□	■	□	ランプの交換時期が近づいています (スタンバイ時)
■	□	■	□	ランプの交換時期が近づいています (投写時)
■	□	□	■	内部の温度が高くなっています
□	■	■	□	ランプのエラーが発生しています
□	■	□	■	内部の温度が高いので電源を切りました
□	■	■	□	ランプカバーが開いています
□	■	□	□	その他のエラーが発生しています

接続端子



①音声出力端子 (AUDIO OUT) (P124、P126)
外部 AV 機器に音声出力するための出力端子です。投写中の映像信号の音声信号が出力されます。

②音声入力端子 (AUDIO IN) (P122、P123、P126)
HDMI以外の２系統の映像入力に対応する音声信号の入力端子です。
選択した映像信号の音声が内蔵スピーカーから出力されます。

③ワイヤードリモコン用端子 (REMOTE) (P26)
リモコンをケーブルで接続するときに使用する端子です。

④USB端子 (P69)
USB メモリを接続する端子です。USB メモリの画像の表示やファームウェアのバージョンアップに使用します。

⑤DVI-I入力端子 (1 DVI-I) (P123)
コンピューターの外部モニター出力と接続します。
アナログPC信号 (アナログPC-1) とデジタル信号 (デジタルPC) の入力端子です。

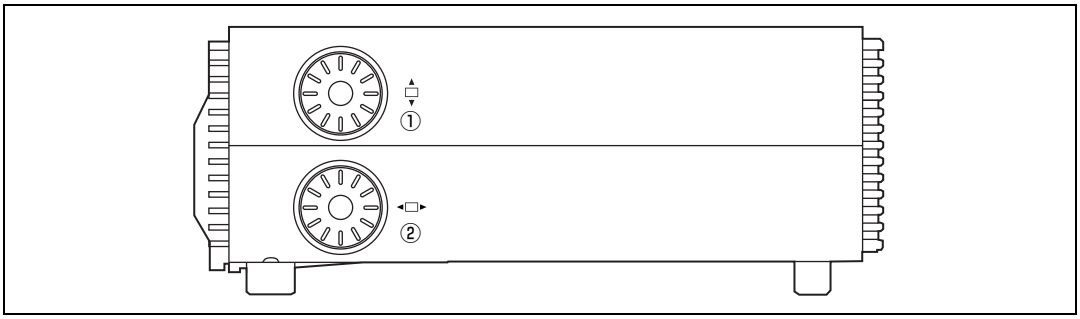
⑥アナログPC / コンポーネント入力端子 (2/COMPONENT) (P122、P126)
アナログPC 信号 (アナログPC-2) の入力端子です。
コンポーネントケーブルを使用して、コンポーネント映像(コンポーネント) を入力することもできます。

⑦HDMI入力端子 (HDMI) (P124)
デジタルコンテンツの映像信号 (HDMI) の入力端子です。
映像と音声を一つのケーブルで入力できます。

⑧LAN接続端子 (P150)
LANケーブル (シールドタイプ) を接続します。
本機をネットワークに接続できます。

⑨サービス用端子 (CONTROL)
通常は使用しません。

レンズシフト操作部

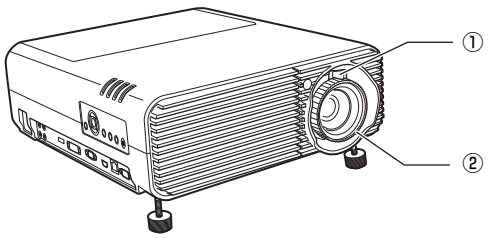


①レンズシフトダイヤル（上下方向）
レンズを上下にスライドさせ、画面位置を上下に移動します。

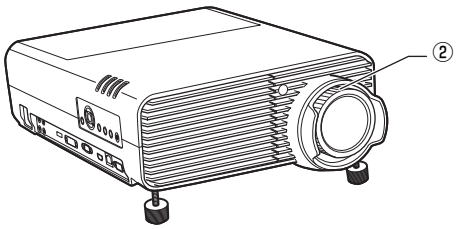
②レンズシフトダイヤル（左右方向）
レンズを左右にスライドさせ、画面位置を左右に移動します。
レンズシフトについては、「レンズシフト機能について」(P119) をご覧ください。

投写レンズ部

WUX450 / WX520



WUX400ST / WX450ST



①光学ズーム調整 (WUX450 / WX520)
レバーで画面サイズを調整します。(P47)

②ピント調整
フォーカスリングで画面のピントを調整します。(P49)

第三者のソフトウェアについて

この製品には、第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。
詳細は、同梱セットアップCD-ROMのLICENSEフォルダの「ThirdPartySoftware.pdf」(第三者ソフトウェアライセンス)をご欄ください。
また、各モジュールのライセンス条件につきましては、同じフォルダに含まれていますので、ご覧ください。

■ GPL および LGPL で許諾されるソフトウェアについて

この製品には、GPLおよびLGPLで許諾されるソフトウェアモジュールが含まれています。同梱セットアップCD-ROMのGPL(LGPL)フォルダ内にソースコードが含まれますのでご覧ください。

■ GNU General Public License Version 2 に基づくソフトウェアプログラム

本メディアに含まれるソフトウェアプログラム (「本プログラム」) はフリーソフトウェアです。お客様は、GNU General Public License Version 2の定める条件の下で再配布および改変することができます。

それぞれのプログラムは有用であることを願って配布されますが、販売見込み又は特定の目的への適合性に関する黙示的保証を含め、一切の保証がありません。下記の「保証の否認」と「サポート」をご覧ください。詳しくは、GNU General Public License Version 2の原文をご覧ください。

保証の否認

本プログラムは無償でライセンスされるものであり、準拠法の下で認められる限りにおいて何らの保証もありません。これと異なる書面による定めがなされる場合を除き、著作権者及びその他の当事者は、本プログラムをそのままの状態で、いかなる保証(明示的か黙示的かに関わらず、また、販売見込み又は特定の目的への適合性に関する黙示的保証を含み、これらに限定されない)もすることなく提供するものとします。本プログラムの品質及び性能に関するリスクは、すべてお客様が負うものとします。本プログラムに瑕疵のあることが明らかになった場合でも、必要な保守点検、修補、又は修正に要する費用は、すべてお客様のご負担となります。

準拠法において義務が課されている場合又は書面による合意がある場合を除き、著作権者又は上記の定めに従い本プログラムを修正又は配布した当事者は、たとえ損害が発生するおそれのあることを事前に知らされていたとしても、お客様の被った損害について何らの責任も負いません。当該損害には、本プログラムを使用したことによるものと本プログラムを使用できなかったことによるもの (データの消失、誤ったデータの生成、損害を被ったのがお客様である場合と第三者である場合、及び本プログラムが他のプログラムと連携して適切に動作しない場合を含み、これらに限定されない) を問わず、一般的、特殊的、偶発的、必然的な損害のすべてを含みます。

サポート

キヤノン株式会社、キヤノンの関係会社、および販売会社は、本プログラムに関するいかなるサポートサービスもいたしません。本プログラムに関する、お客様もしくは他のいかなるお客様からのご質問やお問い合わせにもご回答いたしかねます。

POWER
PROJECTOR

WUX450
WX520
WUX400ST
WX450ST

操作編



投写する

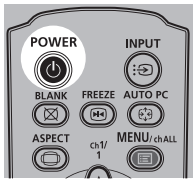
目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
NMPJ編
ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要
各モードでの操作
共通の機能
付録
その他の情報
索引

ステップ1　電源を入れる

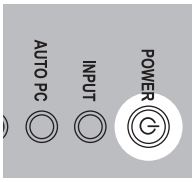
1 **コンピューターまたは AV 機器との接続を確認します。(P122 ～ P125)**
電源コードの接続については「電源コードを接続する」(P127) を参照してください。

2 **【POWER】ボタンを押します。**
［POWER ON］インジケーター (緑) が点滅し、点灯に変わります。

リモコン



本体



カウントダウン表示 (約 20 秒間) が行われた後、投写をはじめます。なお、カウントダウン表示は【OK】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押すと消えます。

- 電源を入れた後、約 40 秒間はネットワーク機能が使えません。
- ご購入後に初めて電源を入れたときは、メッセージやメニューの言語を選ぶ画面が表示されます。方向ボタンで言語を選び、【OK】ボタンを押してください。(P128)
  なお、言語は後からメニューを使って変更することもできます。(P102)
- ピントがずれていて言語を選ぶ画面が読めないときは、ピントを調整してください。(P49)

3 **コンピューターまたは AV 機器の電源を入れます。**

起動時の動作を変更するには

起動時の動作を、次のように変更できます。

- 【POWER】ボタンを使わずに、電源コードを接続するだけで電源を入れることができます。(P98)
- カウントダウン中の表示を変えられます。(P97)
- カウントダウン表示を消すことができます。(P97)

一定時間使用しない場合は

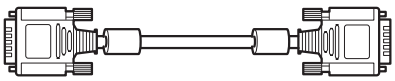
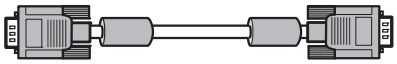
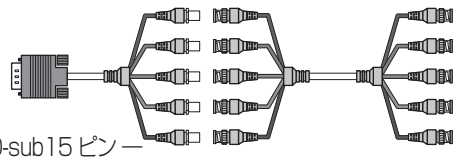
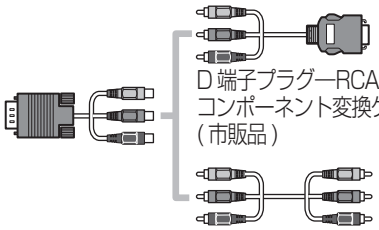
本機は一定時間 (出荷時設定では 15 分間) 無信号状態、かつ無操作状態が継続すると、オートパワーオフ機能により自動的に電源が切れます。(P97)

ステップ 2　入力信号を選択する

デジタル信号のコンピューターやAV機器で投写するとき、複数のコンピューター、AV機器などを接続して投写を切り換えるときは、[INPUT]メニューで入力信号を選びます。
前回と同じ信号を投写するときは、この操作は不要です。

入力信号の種類

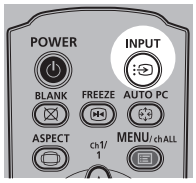
本機で対応している入力信号と入力端子、接続ケーブルの関係は次の通りです。

入力信号	入力端子	接続ケーブルの種類
HDMI	 HDMI	HDMI ケーブル (市販品) 
デジタル PC	 1 DVI-I	DVI ケーブル (市販品) 
アナログ PC-1	 1 DVI-I	VGA-DVI ケーブル (市販品) 
アナログ PC-2	 2/COMPONENT	コンピューターケーブル (付属品) 
	 2/COMPONENT	BNC ケーブル (市販品)  ミニ D-sub15 ピン ― BNC 端子変換ケーブル (市販品) BNC ケーブル (市販品)
コンポーネント	 2/COMPONENT	コンポーネントケーブル (市販品)  D 端子プラグ―RCA プラグ コンポーネント変換ケーブル (市販品) RCA プラグ―RCA プラグ コンポーネントケーブル (市販品)
LAN	 LAN	LAN ケーブル (シールドタイプ) (市販品) 
USB	 USB	USB メモリなどを直接接続します。(P69)

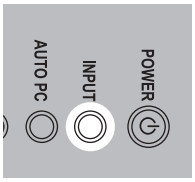
入力信号を選択する

1 **【INPUT】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。**

リモコン



本体





現在投写中の信号に○ (緑) が点き、オレンジ色の枠で表示されます。
また、投写可能な状態の信号は白で表示され、入力のない信号はグレーで表示されます。ただし［デジタル PC］と [アナログ PC-1] は、投写可能な状態でもグレーで表示されることがあります。

2 **【INPUT】ボタンを押すたびに、入力信号が切り換わります。**

- **【▲】【▼】**ボタンでも入力信号が切り換わります。

3 **【OK】ボタンを押して、入力信号を決定します。**

- 入力信号として[LAN]を選択した場合､ネットワーク上のコンピューターの映像を投写することができます。詳しくは「ネットワーク・マルチ・プロジェクション (NMPJ) 編」を参照してください。
- 入力信号として [USB] を選択した場合、USB メモリ内の画像を投写することができます。詳しくは「USB メモリの画像を投写する」(P69) を参照してください。
- 2 画面表示の場合、操作権のない画面の入力信号が○ (白) で表示されます。

コンピューターの表示解像度を設定する

本機の最大解像度に合わせて、コンピューター側の表示解像度を最も近い解像度に設定してください。(P270)

最大解像度
WUX450 / WUX400ST：1920 × 1200 ドット
WX520 / WX450ST　：1440 × 900 ドット

■ Windows 8 の場合

1. マウスポインターを画面の右上、または右下の外に出し、表示されるメニュー画面を表示します。
2. [設定]をクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。
3. [コントロールパネルホーム] の [デスクトップのカスタマイズ] から [画面の解像度の調整] を選びます。



4. [解像度] 欄をクリックし、表示されるスライダを移動して本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
5. [OK] ボタンをクリックします。

■ Windows 7 の場合

1. スタートメニューから [コントロールパネル] を選び、[コントロールパネルホーム] の [デスクトップのカスタマイズ] から [画面の解像度の調整] を選びます。



2. [解像度] 欄をクリックし、表示されるスライダを移動して本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
3. [OK] ボタンをクリックします。

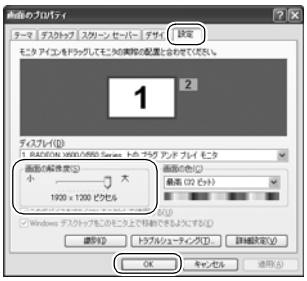
■ Windows Vista の場合

1. スタートメニューから［コントロールパネル］を選び、［コントロールパネルホーム］の［デスクトップのカスタマイズ］から［画面の解像度の調整］を表示します。
2. ［解像度］から本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
3. 【OK】ボタンをクリックします。



■ Windows XP の場合

1. デスクトップ上を右クリックして表示されたメニューから［プロパティ］を選び、［画面のプロパティ］を表示します。
2. ［設定］タブをクリックして［画面の解像度］から本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
3. 【OK】ボタンをクリックします。



■ Mac OS X の場合

1. アップルメニューを開き、［システム環境設定］を選びます。
2. システム環境設定ウィンドウの［ディスプレイ］アイコンをクリックし、ディスプレイの画面を表示します。
3. ［ディスプレイ］タブを選び、［解像度］の一覧から本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
4. ［システム環境設定］のウィンドウを閉じます。



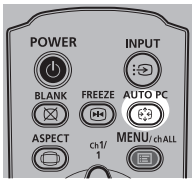
オート PC で調整する

入力信号が［アナログ PC-1］［アナログ PC-2］の場合、映像の表示位置が上下左右にずれていたり、画面がちらつくようなときに、【AUTO PC】ボタンを押すと、本機が最適な状態に調整されます。
調整結果は記憶されますので、同じコンピューターに接続して使用する場合は、入力信号を選ぶだけで前回調整された状態で投写できます。

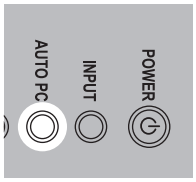
■ オート PC を行う

【AUTO PC】ボタンを押すと、本機の調整が行われます。

リモコン



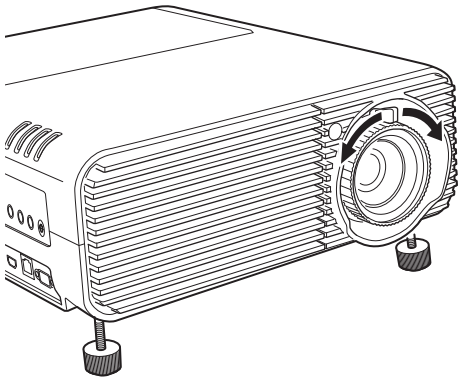
本体



オート PC での調整が不十分なときは、次の操作を行ってください。
- ［入力信号選択］からコンピューターの解像度に合わせて入力信号を選んでください。(P78)
- 上記の操作でも調整が不十分なときは、［入力信号設定］から、［総ドット数］、［トラッキング］、［水平 / 垂直位置］、［水平 / 垂直表示ドット数］を調整してください。(P79 ～ P81)
- 本機が対応している信号形式については、270 ページの表を参照してください。

画面サイズを調整する (WUX450 / WX520)

投写レンズのレバーを操作することで、投写画面のサイズを調整することができます。調整しきれない場合は、本機の設置位置を変えてください。(P115)

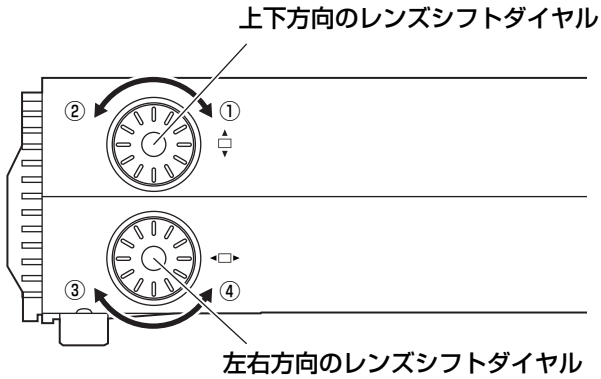


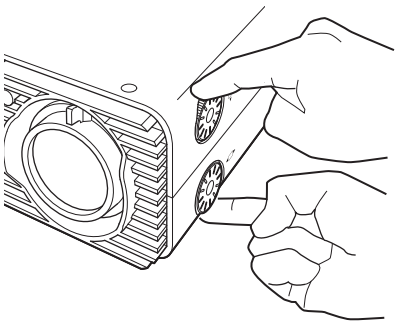
画面位置を調整する

レンズシフトダイヤルを操作することで、画面の投写位置を上下左右に調整できます。これを「レンズシフト」といい、レンズの位置を上下左右に移動させることで、投写画面を最適な位置に変更できる機能です。

- レンズの投写位置ではなく、映像の位置を移動することもできます。詳しくは「デジタルイメージシフトを設定する」(P134) を参照してください。
- 上側のレンズシフトダイヤルの上部、下側のレンズシフトダイヤルの下部を回すと、微調整ができます。

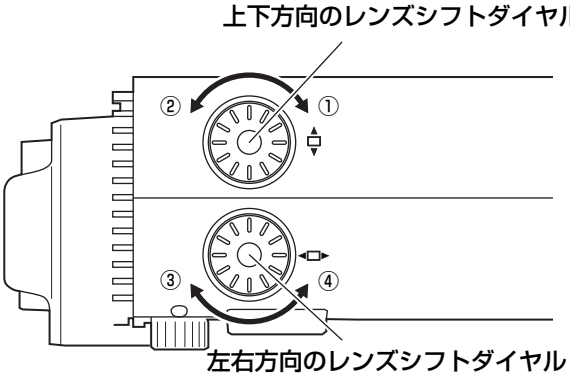
■ WUX450 / WX520

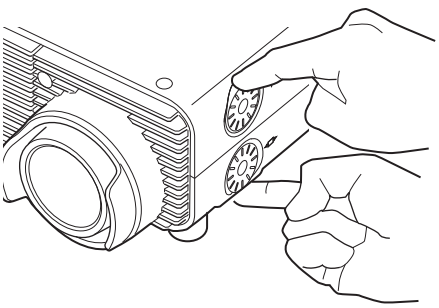




①上側のレンズシフトダイヤルを時計回りに回す:画面位置が**下方向**に移動します。
②上側のレンズシフトダイヤルを反時計回りに回す:画面位置が**上方向**に移動します。
③下側のレンズシフトダイヤルを時計回りに回す:画面位置が**左方向**に移動します。
④下側のレンズシフトダイヤルを反時計回りに回す:画面位置が**右方向**に移動します。
レンズシフトについては、「レンズシフト機能について」(P119) をご覧ください。

■ WUX400ST / WX450ST



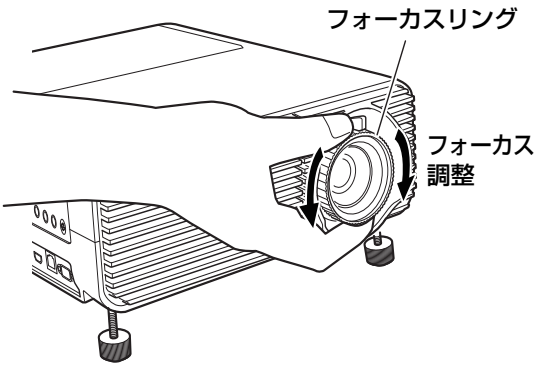


①上側のレンズシフトダイヤルを時計回りに回す:画面位置が**上方向**に移動します。
②上側のレンズシフトダイヤルを反時計回りに回す:画面位置が**下方向**に移動します。
③下側のレンズシフトダイヤルを時計回りに回す:画面位置が**右方向**に移動します。
④下側のレンズシフトダイヤルを反時計回りに回す:画面位置が**左方向**に移動します。
レンズシフトについては、「レンズシフト機能について」(P119) をご覧ください。

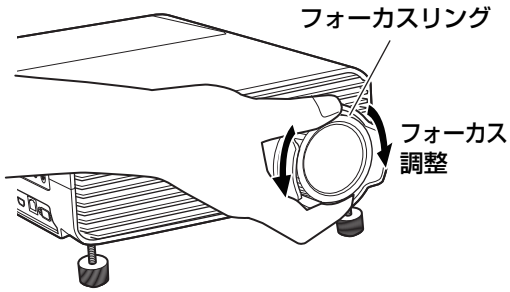
ピントを合わせる

フォーカスリングを回すことで、ピントを調整することができます。

WUX450 / WX520



WUX400ST / WX450ST



WUX400ST / WX450ST はフォーカスリングを回すときに投写画面がゆれます。フォーカスリングの上下部をつかんで、ゆっくり回しながらピントを調整してください。

ステップ4 スクリーンに合わせて横縦比 (アスペクト) を選択する

スクリーンのサイズを最大に活かした投写を行うため、スクリーンの横縦比、入力信号の種類などに合わせて、最適なスクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。

[スクリーンアスペクト] お使いのスクリーンの横縦比と同じものを選んでください。
[アスペクト] 基本的に［オート］を選んでください。

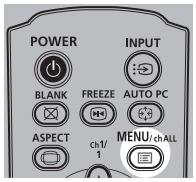
ただし、コンピューターなどの入力機器の解像度によっては設定を変更したほうが良い場合もあります。希望通りの横縦比で投写されないときは、266ページの「アスペクトとスクリーンアスペクトの関係」を参照してください。

スクリーンアスペクトを選ぶ

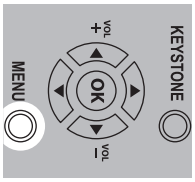
使用するスクリーンの横縦比に合わせて選びます。

1 **【MENU】ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。**

リモコン



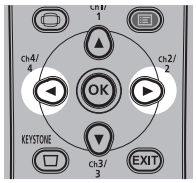
本体



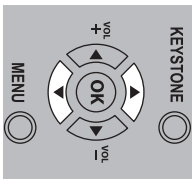


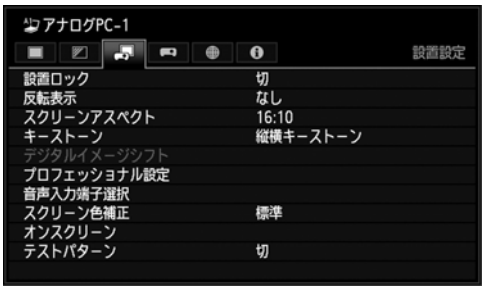
2 **【◀】【▶】ボタンで [設置設定] タブを選びます。**

リモコン



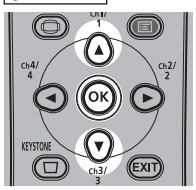
本体



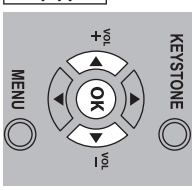


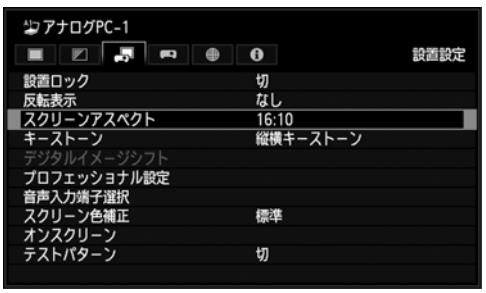
3 **【▲】【▼】ボタンで［スクリーンアスペクト］を選び、【OK】ボタンを押します。**

リモコン



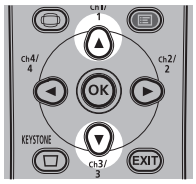
本体



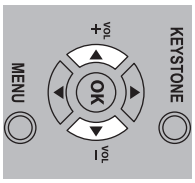


4 【▲】【▼】ボタンで内容を選びます。

リモコン



本体





16：10

スクリーンの横縦比が 16：10 のときに選びます。壁に投写するときも、このスクリーンアスペクトを選んでください。
このモードは台形ひずみの補正ができます。(P57)



16:10のスクリーン

16：9

スクリーンの横縦比が 16：9 のときに選びます。
このモードは台形ひずみの補正ができます。 (P57)



16:9のスクリーン

4：3

スクリーンの横縦比が4：3 のときに選びます。
このモードは台形ひずみの補正ができます。(P57)



4:3のスクリーン

16：9 Dイメージシフト

スクリーンの横縦比が 16：9 のときに選びます。
このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を上下方向に移動できます。
映像の移動方法は52ページを参照してください。

4：3 Dイメージシフト

スクリーンの横縦比が4：3のときに選びます。
このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を左右方向に移動できます。
映像の移動方法は53ページを参照してください。

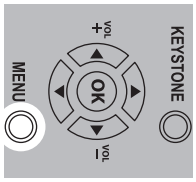
5 【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

16:9 D イメージシフト時に映像を移動する

映像をデジタル処理により移動します。この機能をデジタルイメージシフトといいます。

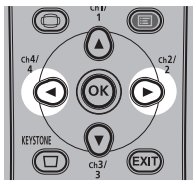
1 スクリーンアスペクトが［16:9 D イメージシフト］のときに【MENU】ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

本体

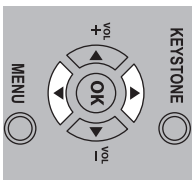


2 【◀】【▶】ボタンで［設置設定］タブを選びます。

リモコン



本体



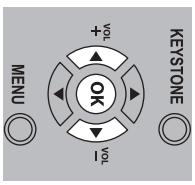


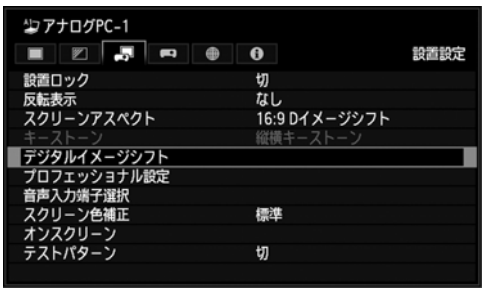
3 【▲】【▼】ボタンで［デジタルイメージシフト］を選び、【OK】ボタンを押します。

リモコン



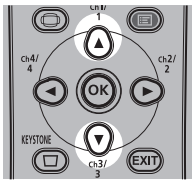
本体



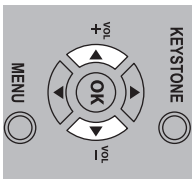


4 【▼】【▲】ボタンで映像の上下位置を調整します。

リモコン



本体





【▲】ボタン
上に移動します。

【▼】ボタン
下に移動します。



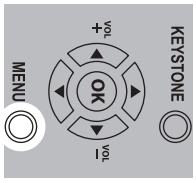
スクリーン

5 スクリーンに合わせたら、【OK】ボタンを押します。

4:3 D イメージシフト時に映像を移動する

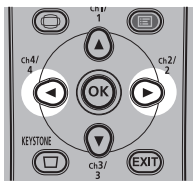
1 スクリーンアスペクトが［4:3 Dイメージシフト］のときに【MENU】ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

本体

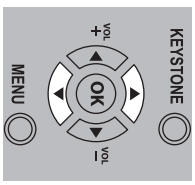


2 【◀】【▶】ボタンで［設置設定］タブを選びます。

リモコン



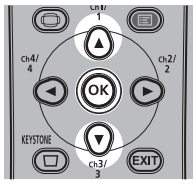
本体



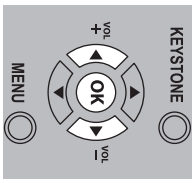


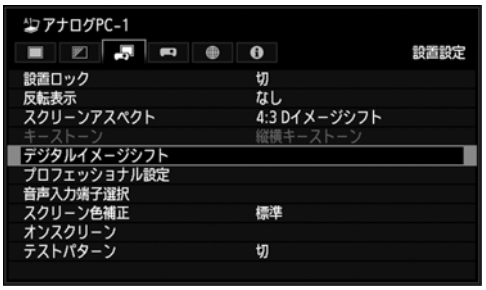
3 **【▲】【▼】ボタンで［デジタルイメージシフト］を選び、【OK】ボタンを押します。**

リモコン



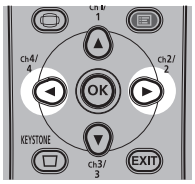
本体



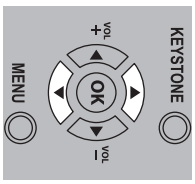


4 **【◀】【▶】ボタンで映像の左右位置を調整します。**

リモコン



本体





【▶】ボタン
右に移動します。

【◀】ボタン
左に移動します。



5 **スクリーンに合わせたら、【OK】ボタンを押します。**

移動をリセットする

次の手順で、移動をリセットできます。
［D イメージシフト調整］画面を表示し、【KEYSTONE】ボタンを押して［D イメージシフトリセット］画面を表示させます。
次に【◀】ボタンで［はい］を選び、【OK】ボタンを押します。

アスペクトを選択する

入力信号の種類、横縦比、解像度に合わせて［アスペクト］を選びます。
アスペクトについて詳しくは、266ページの「アスペクトとスクリーンアスペクトの関係」を参照してください。

アスペクトの種類

オート
入力信号の横縦比のまま投写します。一般的な投写のときはこのモードを選んでください。

16:10
入力信号の横縦比を 16：10にして投写します。
横縦比 16:10の映像ソフトが［オート］で正しく投写できないときに選んでください。

16：9
入力信号の横縦比を 16：9 にして投写します。横縦比 16：9 の映像ソフトが［オート］で正しく投写できないときに選んでください。

4：3
入力信号の横縦比を 4：3 にして投写します。横縦比 4：3 の映像ソフトが［オート］で正しく投写できないときに選んでください。

ズーム
スクリーンアスペクトに合わせて画面の上下または左右をカットし、中央部分を拡大縮小して投写します。映像ソフトで上下に黒帯があるときに選んでください。

入力信号や解像度により選択できない場合があります。

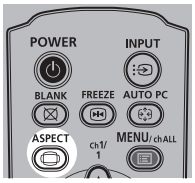
リアル
入力信号の解像度のまま投写します。最大解像度以下の解像度のコンピューター画面をより鮮明に投写するときに選んでください。

入力信号や解像度により選択できない場合があります。

アスペクトの選択のしかた

リモコンの【ASPECT】ボタンを押して選びます。【ASPECT】ボタンを押すたびに、アスペクトの種類が切り換わります。
アスペクトについて詳しくは、266 ページの「アスペクトとスクリーンアスペクトの関係」を参照してください。

リモコン



例)



メニューの［アスペクト］からも選べます。(P77)

入力信号によっては、表示されないアスペクトの種類があります。

ステップ 5　画面のゆがみを調整する

台形ひずみを調整する

【KEYSTONE】ボタンで台形ひずみの補正ができます。
台形ひずみの調整方法には、縦横キーストーン補正と４点補正の２種類があります。
縦横キーストーン補正では、上下、左右方向の長さを変更し、４点補正ではそれぞれの角ごとに位置を調整します。
２種類のキーストーンの切り換え方法は、「キーストーンを 設定する」(P133) をご覧ください。【KEYSTONE】ボタンを押したときに、設定したキーストーンの補正方法で調整することができます。

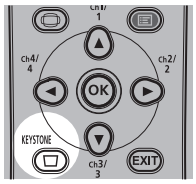
- 補正量は最大で**WUX450/WX520**は**約± 20°**、**WUX400ST/WX450ST**は**約±12°**です。補正しきれないときは、本機の設置位置をまっすぐにしてください。
- 補正の状態は記憶されます。設置場所が同じであれば調整し直す必要はありません。
- 補正時に信号がデジタル処理されるため、元の映像と見えかたが異なることがあります。また、画面の横縦比が変わることがあります。
- 台形ひずみの補正は、レンズシフトの位置で正しく補正できない場合があります。
- スクリーンアスペクトが [4:3 D イメージシフト] か [16:9 D イメージシフト] の場合は、デジタルイメージシフト機能が呼び出されます。(P52)

■ 縦横キーストーン補正を行う

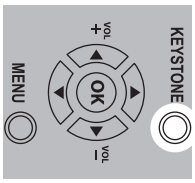
縦横キーストーンの補正中は、設置設定メニューの［ズーム］(P133) は使えません **(WUX400ST / WX450ST)**。

1 **【KEYSTONE】ボタンを押すか、本体の【KEYSTONE】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。**

リモコン

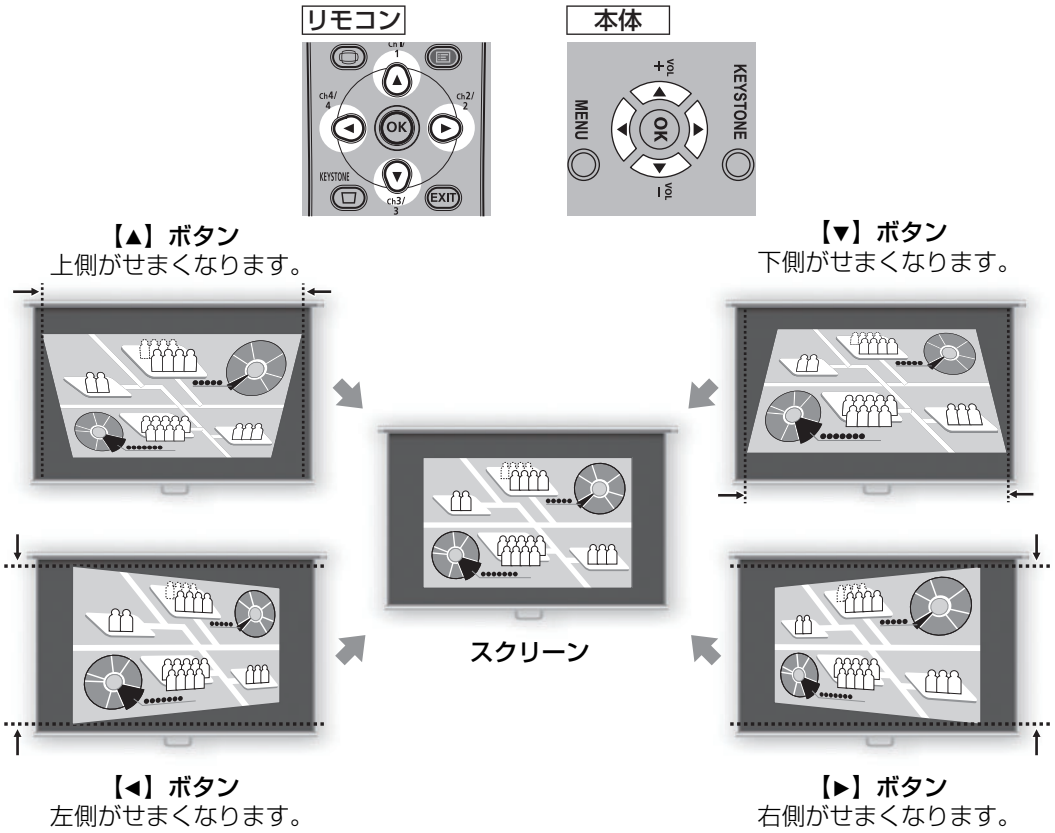


本体





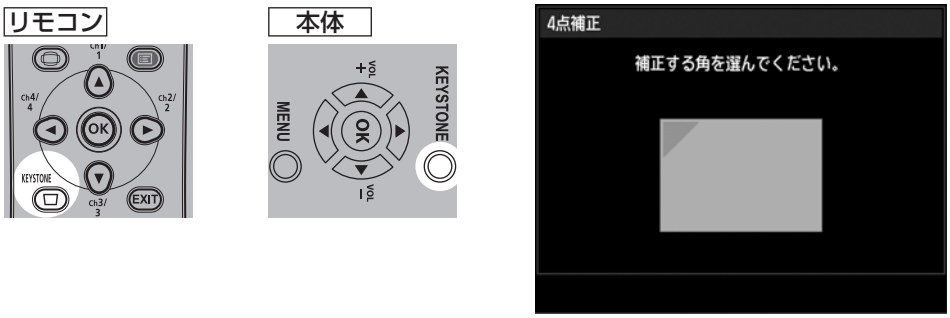
2 方向ボタンで調整します。



3 補正が終わったら、【OK】ボタンを押します。

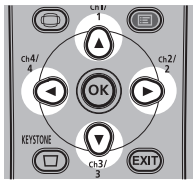
■ 4 点補正を行う

1 リモコンの【KEYSTONE】ボタンを押すか、本体の【KEYSTONE】ボタンを押すと、右下の画面が表示されます。

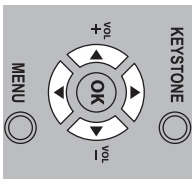


2 方向ボタンで、補正する角を選択し、【OK】ボタンを押します。

リモコン



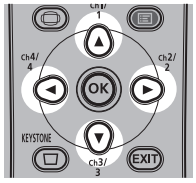
本体



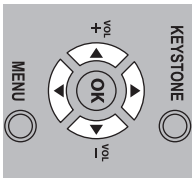


3 方向ボタンで調整します。

リモコン



本体



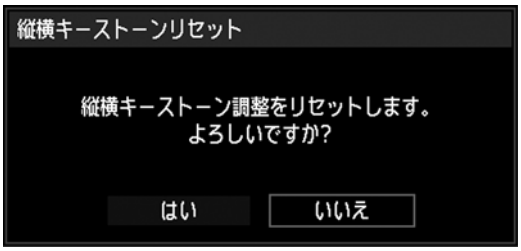


4 補正が終わったら【OK】ボタンを押します。

4 点補正をした後に設置設定メニューの［ズーム］(P133) で調整した場合、4 点補正の設定は解除されます **(WUX400ST / WX450ST)**。

■ 補正をリセットする

次の手順で、補正をリセットできます。
まず、【KEYSTONE】ボタンを２回押して［キーストーンリセット］画面を表示させます。
キーストーンで選んでいる台形ひずみの補正をリセットすることができます。
次に【◀】ボタンで［はい］を選び、【OK】ボタンを押します。



ステップ6　画質 (イメージモード) を選択する

投写する映像の内容に合わせてイメージモード (画質) を選べます。
各イメージモードでは、明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ、色調整、高度な調整とランプモードの設定ができます。(P85)

イメージモードの種類

選択されている入力信号により、選択できるイメージモードは一部異なります。

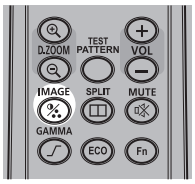
イメージモード	対応する入力信号		説明
	デジタル PC アナログ PC-1、2 HDMI ([HDMI 入力] が [PC]) LAN USB	コンポーネント HDMI ([HDMI 入力] が [オート])	
スタンダード	○	—	やや明るい部屋でコンピューター画面や映像ソフト (動画) の観賞などに適しています。 白の色味を重視しています。
プレゼンテーション	○	—	やや明るい部屋で文字を中心とした画像に適しています。
ダイナミック	—	○	やや明るい部屋で映像ソフト (動画) を観賞するのに適しています。
フォト /sRGB	○	○	やや暗い部屋で sRGB 対応のデジタルカメラの画像や Blu-ray の映像ソフトなどに適しています。 sRGB 規格の色域に対応しています。
ビデオ	—	○	やや暗い部屋でビデオカメラで撮影した映像の観賞に適しています。
ユーザー 1 ～ 5	○	○	ユーザー自身が画質の設定の組み合わせを5種類までメモリに登録することができます。(P86) 保存した設定は、イメージモードとしてここで選択できます。

○：対応　　—：非対応

■ イメージモードの選びかた

リモコンの【IMAGE】ボタンを押して選びます。
【IMAGE】ボタンを押すたびに、イメージモードの種類が切り換わります (表示されるイメージモードの種類は、選択されている入力信号により異なります) 。

リモコン





メニューの［イメージモード］からも選べます。(P85)

- ユーザー 1 ～ 5 は、イメージ調整メニューのユーザーメモリ作成でお好みの画面設定を保存したときに表示されます (P86)

ステップ7　エコ設定を行う

リモコンの【ECO】ボタンを押すと、省電力に関する機能が設定できます。
設定できるのは、以下の３項目です。

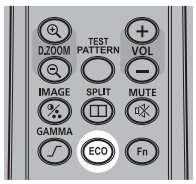
- **ランプ設定**
  現在のイメージモードでのランプとファンの消費電力を切り換えます。

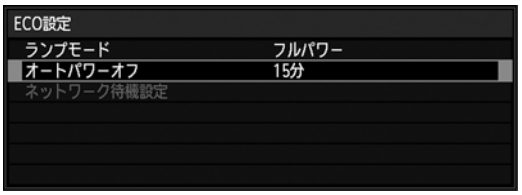
- **オートパワーオフ**
  入力信号がない状態で本機を一定時間操作しないでいると、自動的に電源がオフになる機能です。

- **ネットワーク待機設定**
  スタンバイ時にネットワーク機能を作動させるかどうかの設定です。

1 **【ECO】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。**

リモコン



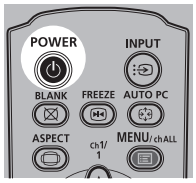


2 **【▲】【▼】ボタンでメニューを選択します。**
選択した機能の設定を行います。詳しくは、各機能の解説ページを参照してください。
- ランプ設定 (P94)
- オートパワーオフ (P97)
- ネットワーク待機設定 (P153)

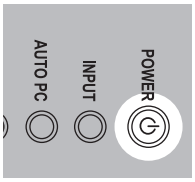
ステップ8　本機の電源を切る

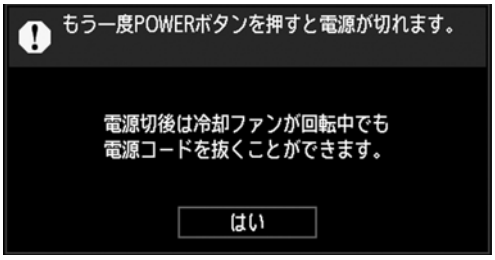
1 【POWER】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。

リモコン



本体





2 **画面の表示中に、もう一度【POWER】ボタンを押すと電源が切れます。**
電源を切った後、本機の冷却が終了した状態を「スタンバイ状態」といいます。

電源を切らずになお投写を続ける場合は、【POWER】以外のボタンを押すか、メッセージが消えるまで待ってください。

- 電源を切った後に再度電源を入れる場合は、5 分以上経ってから電源を入れるようにしてください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因になります。
- 連続使用は、ランプおよび内部光学部品の寿命を縮める原因になります。
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

プレゼンテーションで使える便利な機能

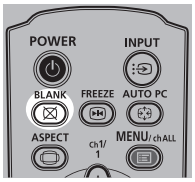
目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
NMPJ編
ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要
各モードでの操作
共通の機能
付録
その他の情報
索引

映像を一時的に消す

こんなときに便利

- **プレゼンテーションを終えたとき**
- **出席者の注意をスクリーンからそらすとき**

リモコン



【BLANK】ボタンを押すと映像が消えます。もう一度【BLANK】ボタンを押すと元の映像が表示されます。

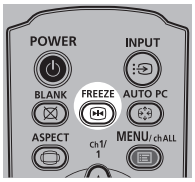
- 映像を消している間の画面の状態を、メニューで設定できます。(P96)
- 映像が消えている間もランプは点灯しています。

映像を静止させる

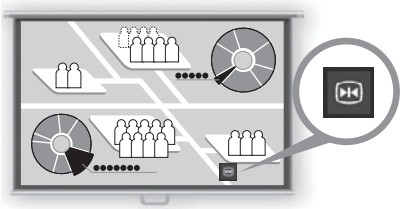
こんなときに便利

- **コンピューターを隠れて操作するとき**
- **変化する映像を途中で止めて見せたいとき**

リモコン



【FREEZE】ボタンを押すと映像が静止し、画面に次のアイコンが表示されます。



スクリーン

もう一度【FREEZE】ボタンを押すと元の映像に戻ります。

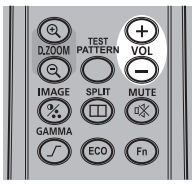
- 入力信号がなくなると解除されます。

音量を調節する

こんなときに便利

- **本機または外部スピーカーの音量を調整したいとき**

リモコン



【VOL】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。



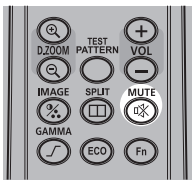
- 本体の【▲】【▼】ボタンでも音量が調整できます。
- 音が出ないときは、コンピューター側の音量調整やミュートなどの設定を確認してください。
- 音声出力端子で接続したスピーカーなどの音量も調整できます。

音声を一時的に消す

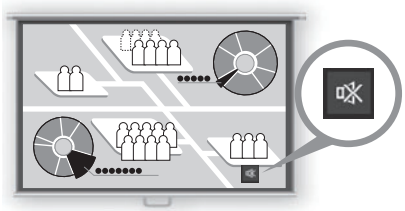
こんなときに便利

- **一時的に不要な音声を消したいとき**
- **急いで音声を消したいとき**

リモコン



【MUTE】ボタンを押すと音声が消え、下のアイコンが表示されます。



スクリーン

もう一度【MUTE】ボタンを押すと元の音量に戻ります。

- 音声出力端子で接続したスピーカーなどの音声も消えます。

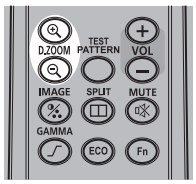
映像を拡大する

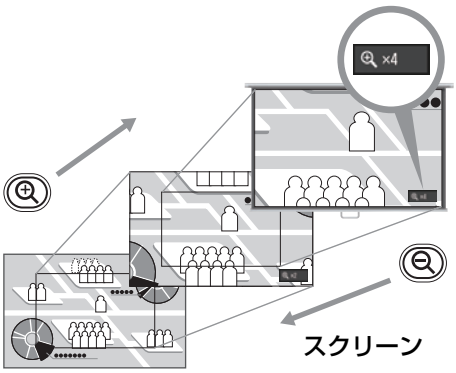
こんなときに便利

- **細かいグラフなどを大きく見せたいとき（最大12倍）**
- **説明箇所を強調したいとき**

【D.ZOOM】ボタンの＋を押すと映像の一部が拡大され、－を押すと映像が縮小されます。

リモコン

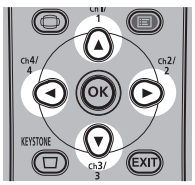




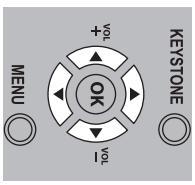
- 画面に拡大率が表示されます。

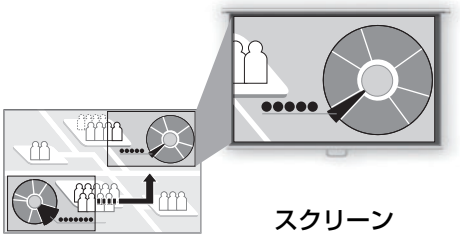
拡大する場所は【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで移動できます。

リモコン



本体





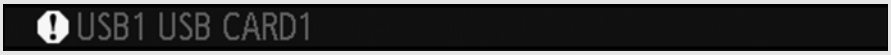
【OK】ボタンを押すと元の大きさに戻ります。

【D.ZOOM】ボタンは **WUX400ST / WX450ST** の設置設定メニューの［ズーム］（P133）と別の機能です。

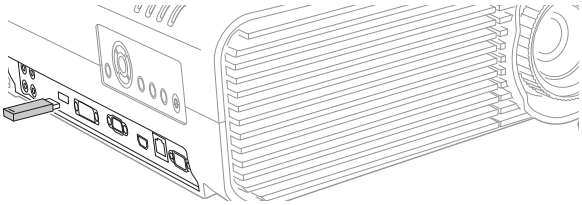
USB メモリの画像を投写する

USB 端子に接続した USB メモリ内の画像を投写することができます。画像を選択して表示することも、自動的に順次表示していくこともできます。表示できる JPEG 画像のサイズは**最大 7000 × 7000 ドット**です。

- セキュリティ機能付きの USB フラッシュメモリは、本機で認識できず、ドライブ選択できない場合があります。
- ファイルシステムへのマウントに失敗した場合、ドライブ名がグレー表示となり、以下のアイコンが表示されます。その場合その USB ドライブは使用できません。



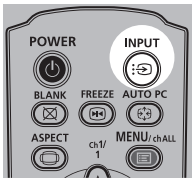
1 USB メモリを USB 端子に接続します。



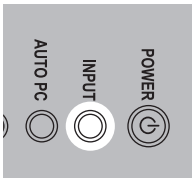
USB メモリは、本機の USB 端子に直接接続してください。ハブを介して接続した場合は、USB メモリを認識しません。

2 【INPUT】ボタンを押します。

リモコン



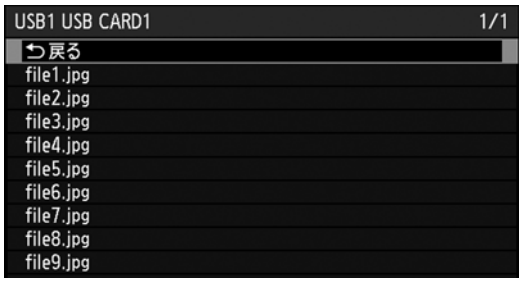
本体





3 【INPUT】ボタンを何度か押し、［USB］を選びます。

USB メモリ内の JPEG ファイルの一覧が表示されます。



- USB メモリ内に複数のドライブが設定されている場合は、ドライブ選択画面が表示されるので、方向ボタンでドライブを選択し、【OK】ボタンを押してください。そのドライブ内のファイル一覧が表示されます。
- 入力信号を［USB］にした場合、【D.ZOOM】ボタンでの拡大と 2 画面表示は無効になります。

4 **方向ボタンでファイルを選び、【OK】ボタンを押すと、ファイルが投写されます。**

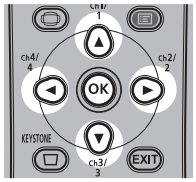
【▲】【▼】ボタンでファイルを選びます。

【◀】【▶】ボタンでページを切り換えます (複数ページの場合) 。

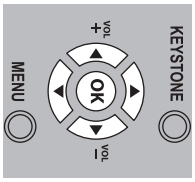
フォルダを選択して【OK】ボタンを押すと、上位のフォルダ、下位のフォルダを表示することができます。

USB メモリー内の JPEG ファイルの投写時は、MB リダクションの設定はできません。(P101)

リモコン



本体



5 **必要に応じて表示を切り換えます。**

【▲】ボタンで、前の画像に切り換わります。

【▼】ボタンで、次の画像に切り換わります。

【◀】ボタンで、画像が左 90° 回転します。

【▶】ボタンで、画像が右 90° 回転します。

6 **表示を終了するには、USBメモリを抜き取ります。**

USB メモリ内の画像を自動的に順次表示していくスライドショー機能もあります。(P84)

2 画面を並べて表示する

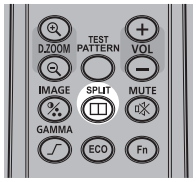
2系統の映像入力を並べて投写することができます。これを**「2画面表示」**といいます。2画面表示にすると、それまで表示していた画面が左側に表示され、新しく右側に別の画面が表示されます。【INPUT】ボタンにより、各画面の映像入力を変更することができます。ただし、左画面と右画面に同一の入力信号 (端子) を指定できません。

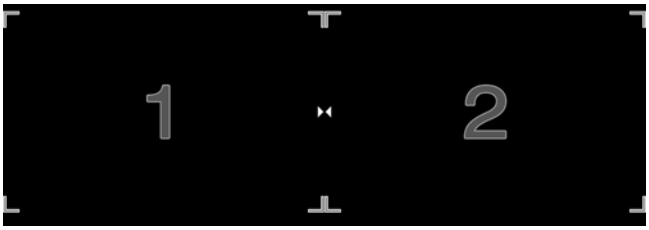
- LAN入力やUSB入力を他の入力信号と組み合わせて2画面表示にすることはできません。
- 2 画面表示中は、設置設定メニューの［ズーム］(P133) は使えません **(WUX400ST / WX450ST)**。

1 **本機に2系統の映像を入力します。**

2 **リモコンの【SPLIT】ボタンを押します。**

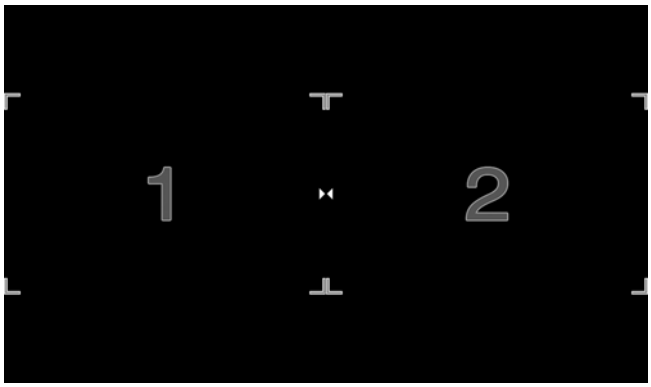
リモコン





- 一方の画面の中央に数字が表示されます。左画面が 1、右画面が 2 です。数字の表示されているほうに「画面の操作権」があり、その画面の映像の音声が出力されます。また、［イメージ優先］を切り替える場合も操作権のある画面です。(P85)
- 数字は一定時間経過後に消えますが、【SPLIT】ボタンを押すことで再び表示されます。
- 2 画面表示を終了するには【EXIT】ボタンを押します。
- ［映像設定］メニューの［二画面］で 2 画面表示に切り換えることもできます。(P84)
- シャープネス (P88)、ダイナミックガンマ (P91)、MB リダクション (P101) の調整はできません。
- ［反転表示］(P130)、［スクリーンアスペクト］(P132)、［キーストーン］(P133)、［ユーザー画面登録］(P95) など一部の機能が使用できません。
- 一画面で表示しているときと、イメージモードの色味が異なります。

3 **画面中央に ▷ または ◁ が出ているときに、リモコンの【◀】【▶】で操作権を移動することができます。**



（上図は、2画面表示のイメージです。）

4 **【INPUT】ボタンを押し、操作権のある画面の入力信号を選択します。**

［インプット］メニューが表示されます。現在の操作権は、メニューの右上にオレンジ色で表示されている画面 ID で確認できます。また、操作権がない側の入力信号は○ (白) で示されます。

入力信号の選択について詳しくは「入力信号を選択する」(P44) をご覧ください。



2 画面表示を終了するには、リモコンの【EXIT】ボタンを押します。

メニューによる機能設定

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

操作編

投写する

プレゼンテーションで使える便利な機能

メニューによる機能設定

設置とメンテナンス編

設置する

ネットワークに接続して使用する

メンテナンス

NMPJ編

ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要

各モードでの操作

共通の機能

付録

その他の情報

索引

メニューの使いかた

メニュー (MENU) で本機の動作をきめ細かく設定できます。

メニューの構成

メニュー画面は、次の６つのタブに分かれています。

［設置設定］タブ
本機を設置するときの設定です。

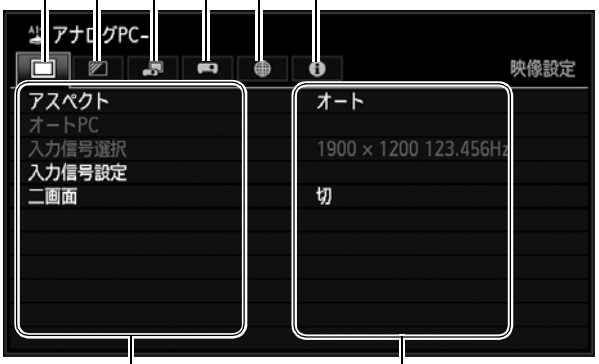
［イメージ調整］タブ
画質や色をお好みに合わせて調整します。

［映像設定］タブ
入力映像の信号形式や投写方法を設定します。

［システム設定］タブ
本機の動作に関する設定です。

［ネットワーク設定］タブ
本機をネットワーク経由でコンピューターから利用する場合の設定です。
ネットワーク設定については「ネットワークに接続して使用する」(P149) を参照してください。

［インフォメーション］タブ
投写中の映像の信号形式や、本機固有の情報を確認できます。



項目が表示される入力信号の種類

入力信号の種類によって、表示される項目が異なります。
各項目の説明では、その項目が表示される入力信号の種類を次のように表記しています。

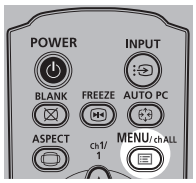
○ 項目が表示される入力信号
— 項目が表示されない入力信号

○ HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	— アナログ PC	— USB

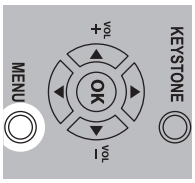
メニューの基本操作

1 **【MENU】ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。**

リモコン



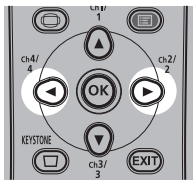
本体



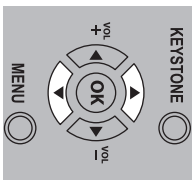


2 **【◀】【▶】ボタンでタブを選びます。**

リモコン



本体

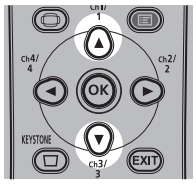




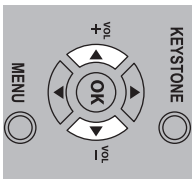
- オレンジの表示がタブ位置にない場合は、【▲】【▼】ボタンで一番上に移動させます。

3 **【▲】【▼】ボタンで項目を選びます。**

リモコン



本体

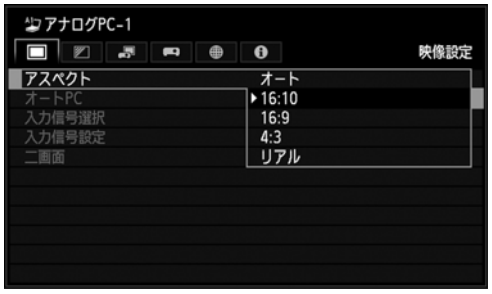




4 **内容を選びます。**

項目により内容の選び方が異なります。

リストから選ぶ　例：アスペクト (P77)



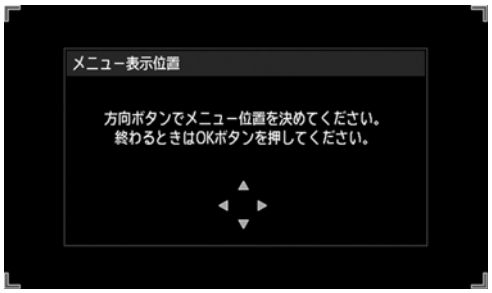
1. アスペクトを選びます。
2. 【OK】ボタンまたは【▶】ボタンを押すと内容のリストが表示されます。
3. 【▲】【▼】ボタンで内容を選びます。
4. 決まったら【OK】または【▶】ボタンを押します。

【◂】【▸】ボタンで調整する　例：コントラスト (P88)



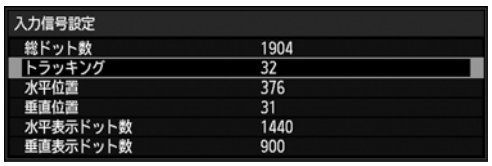
1. コントラストを選びます。
2. 【◂】【▸】ボタンで調整量を変えます。

別画面を表示させて選ぶ (1)　例：メニュー表示位置 (P138)



1. メニュー表示位置を選びます。
2. 【OK】ボタンを押すと別画面が表示されます。
3. 画面のメッセージに従って操作します。

別画面を表示させて選ぶ (2)　例：トラッキング (P79)



1. 入力信号設定を選びます。
2. 【OK】ボタンを押すと別画面が表示されます。
3. トラッキングを選びます。
4. 【▲】【▼】ボタンで内容を選び、【◂】【▸】ボタンで数値を選びます。
5. 決まったら【OK】ボタンを押します。

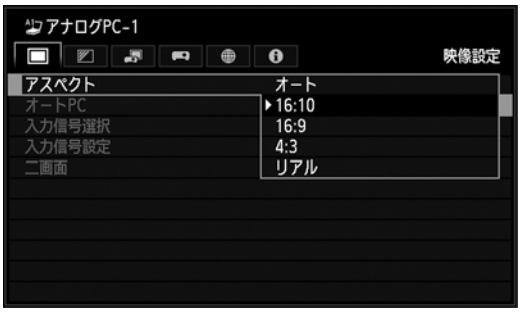
5 **【MENU】ボタンを押すとメニュー画面が消えます。**
【EXIT】ボタンを押しても、メニュー画面が消えます。

アスペクトを選択する

MENU >[映像設定]>[アスペクト]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像の横縦比に合わせてアスペクトを設定します。(P55)



- LAN、USB の場合は、自動的に［オート］が選択されます。
- スクリーンアスペクトや入力信号の種類により、表示される内容が異なります。
- リモコンの【ASPECT】ボタンでも切り換えができます。

オート	入力信号の横縦比のまま投写します。一般的な投写のときはこのモードを選んでください。
16:10	入力信号の横縦比を 16：10 にして投写します。
	• 入力信号や解像度により選択できない場合があります。
16：9	入力信号の横縦比を 16：9 にして投写します。横縦比 16：9 の映像ソフトが［オート］で正しく投写できないときに選んでください。
4：3	入力信号の横縦比を 4：3 にして投写します。横縦比 4：3 の映像ソフトが［オート］で正しく投写できないときに選んでください。
ズーム	スクリーンアスペクトに合わせて画面の上下または左右をカットし、中央部分を拡大縮小して投写します。映像ソフトで上下に黒帯があるときに選んでください。
	• 入力信号や解像度により選択できない場合があります。
リアル	入力信号の解像度のまま投写します。**WUX450 / WUX400ST** は WUXGA 以下、**WX520 / WX450ST** は WXGA+ 以下の解像度のコンピューター画面をより鮮明に投写するときに選んでください。
	• 入力信号や解像度により選択できない場合があります。

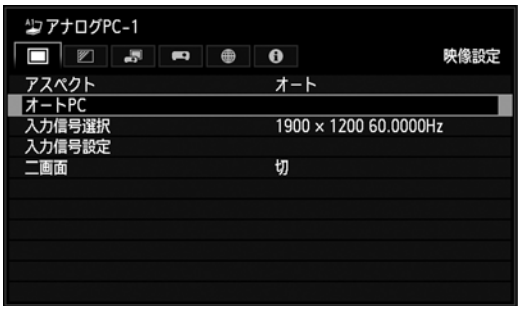
【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

オート PC で設定する

MENU >[映像設定]>**[オート PC]**

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

表示位置のずれや画面のちらつきを自動的に調整します。調整結果は記憶されます。



【OK】ボタンを押して確定します。

オート PC での調整が不十分なときは、次の操作を行ってください。

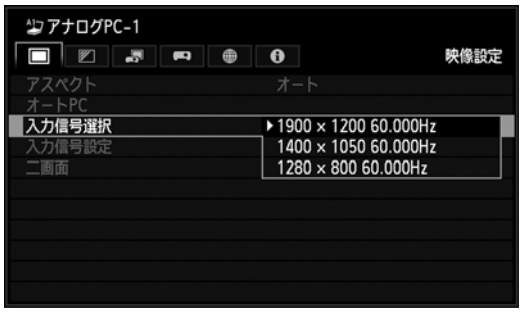
- [入力信号選択] からコンピューターの解像度に合わせて入力信号を選んでください。(P78)
- 上記の操作でも調整が不十分なときは、[入力信号設定] から、[総ドット数]、[トラッキング]、[水平 / 垂直位置]、[水平 / 垂直表示ドット数] を調整してください。(P79 ～ P81)
- 本機が対応している信号形式については、270 ページの表を参照してください。

入力信号を選択する

MENU >[映像設定]>**[入力信号選択]**

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

コンピューターの映像がオート PC 機能 (P47) で正しく投写されないときに、解像度を選びます。



【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。
コンピューターの解像度に合わせて入力信号を選んでください。

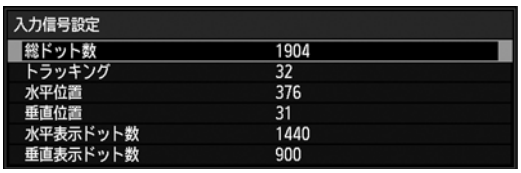
- 本機が対応している信号形式については、270 ページの表を参照してください。

入力信号を調整する (総ドット数)

MENU >[映像設定]>[入力信号設定]>**[総ドット数]**

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

水平期間の総ドット数を調整します。
画面に縞模様が現れるときなどに調整します。



【◂】【▸】ボタンで数値を選びます。
調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

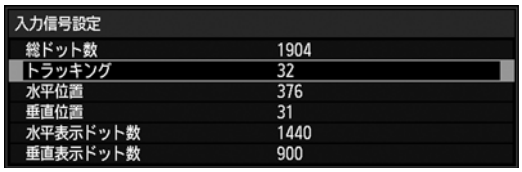
- オート PC (P47) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

入力信号を調整する (トラッキング)

MENU >[映像設定]>[入力信号設定]>**[トラッキング]**

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

映像信号から画面を構成するタイミングを微調整します。
画面がくずれたり、ちらつくときに調整します。



【◂】【▸】ボタンで数値を選びます。
調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

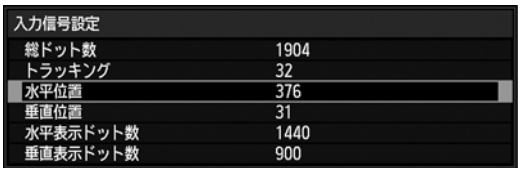
- オート PC (P47) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

入力信号を調整する (水平位置)

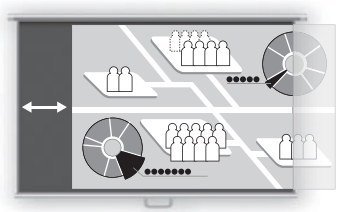
MENU >[映像設定]>[入力信号設定]>**[水平位置]**

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

画面が左右にずれて表示されるときに、水平位置を調整します。



【◀】【▶】ボタンで数値を選びます。数値が増えるほど画面が左に移動します。



スクリーン

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

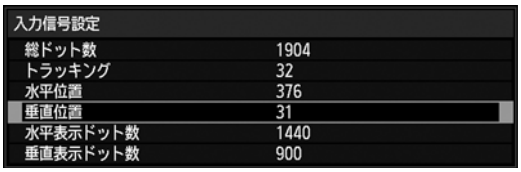
- オート PC (P47) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

入力信号を調整する (垂直位置)

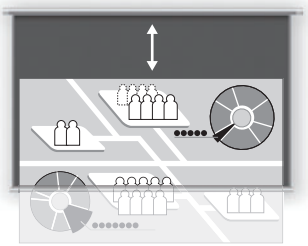
MENU >[映像設定]>[入力信号設定]>**[垂直位置]**

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

画面が上下にずれて表示されるときに、垂直位置を調整します。



【◀】【▶】ボタンで数値を選びます。数値が増えるほど画面が上に移動します。



スクリーン

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

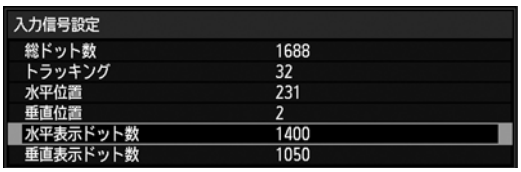
- オート PC (P47) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

入力信号を調整する (水平表示ドット数)

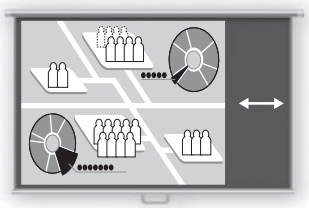
MENU >[映像設定]>[入力信号設定]>
[水平表示ドット数]

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

画面が左右に広いまたは狭いときに、水平方向のドット数を調整します。



【◀】【▶】ボタンで数値を選びます。



スクリーン

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

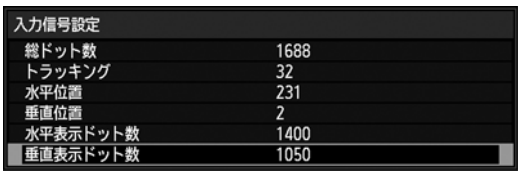
- オート PC (P47) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

入力信号を調整する (垂直表示ドット数)

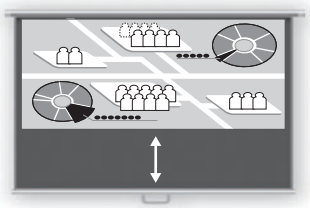
MENU >[映像設定]>[入力信号設定]>
[垂直表示ドット数]

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

画面が上下に広いまたは狭いときに、垂直方向のドット数を調整します。



【◀】【▶】ボタンで数値を選びます。



スクリーン

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- オート PC (P47) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

HDMI 入力レベルを調整する

MENU >[映像設定]>**[HDMI 入力レベル]**

○ HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	— アナログ PC	— USB

映像ソフトを HDMI 信号で投写するときに、必要に応じて選びます。



【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【オート】** です。
- AV 機器からの信号形式が RGB のときのみ選べます。
- [オート] では信号レベルを自動的に選びます。(AV 機器によっては対応していないことがあります)
- AV 機器の HDMI 出力が [標準] [拡張] に切り換えられるときは、[拡張] に設定することをおすすめします。映像のコントラストが向上し、暗部がより忠実に表現されます。なおこの場合の [HDMI 入力レベル] は [オート] または [拡張] を選んでください。
  詳しくは、接続する AV 機器の取扱説明書を参照してください。

HDMI カラーフォーマットを設定する

MENU >[映像設定]>**[HDMI カラーフォーマット]**

○ HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	— アナログ PC	— USB

HDMI 信号のカラーフォーマットを選びます。



オート	入力された HDMI 信号に応じて最適なカラーフォーマットを選びます。
RGB	強制的に RGB 信号として扱います。
YCbCr	強制的に色差信号として扱います。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【オート】** です。

HDMI オーバースキャンを設定する

MENU >[映像設定]>**[HDMI オーバースキャン]**

○ HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	— アナログ PC	— USB

HDMI 信号の映像ソフトを投写するときに、映像周辺が乱れている場合、映像の周辺をカットして投写するときに選びます。



切	入力信号全体 (100%) を投写します。映像がスクリーンより小さめに投写されるときがあります。
入	映像周辺部の乱れを除去して投写します。(映像の中央 95% 部分を投写) 入力信号の解像度によっては映像周辺が一部切り取られることがあります。この場合は［切］にしてください。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は［HDMI 入力］(P101) が［オート］のときは **【入】**、［PC］のときは **【切】** です。

プログレッシブ処理を設定する

MENU >[映像設定]>**[プログレッシブ]**

○ HDMI	○ コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	— アナログ PC	— USB

フィルム映像の静止画やビデオ映像の動画に合わせて最適な映像処理を設定できます。



切	プログレッシブ処理を行いません。
フィルム / オート	静止画や一般的な動画に適しています。フィルム映像やビデオ映像に対しプログレッシブ処置を行います。
ビデオ 1	高画質で動きの遅いビデオ映像に適しています。高精細なビデオ映像に最適なプログレッシブ処理を行います。
ビデオ 2	動きの速いビデオ映像に適しています。動きの速いビデオ映像に対し最適なプログレッシブ処置を行います。
25p/ 30p(PsF)	1080PsF/25 (25 フレーム / 秒) および 1080PsF/30 (30 フレーム / 秒) の映像に対しプログレッシブ処置を行います。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【フィルム / オート】** です。
- 動きの多い映像で、ちらつきや横線が目立つときは［切］にしてください。
- 2 画面時は、プログレッシブ設定はできません

スライドショー間隔を設定する

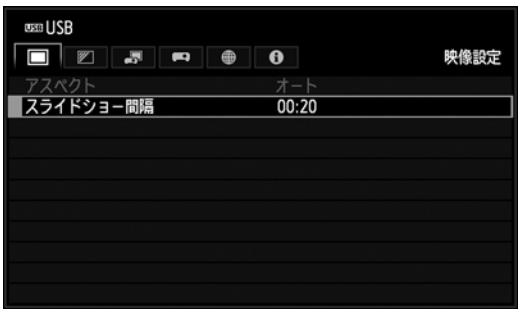
MENU >[映像設定]>**[スライドショー間隔]**

— HDMI	— コンポーネント	— LAN
— デジタル PC	— アナログ PC	○ USB

USB メモリの画像を自動的に順次表示させることができます。



【◀】【▶】ボタンで画像の切り換え間隔 (分 : 秒) を設定します。



【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

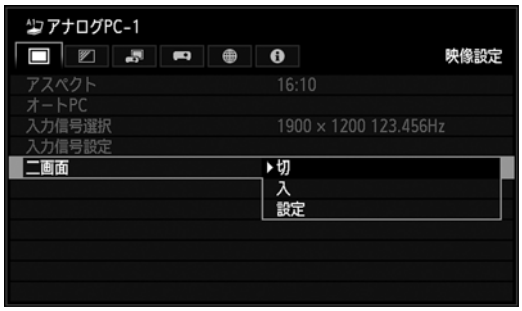
- 工場出荷時は **[--:--]** です (画像は自動的に切り換わりません) 。

2 画面表示を設定する

MENU >[映像設定]>**[二画面]**

○ HDMI	○ コンポーネント	— LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

2 系統の映像を並べて投写することができます。**(P71)**



切			2 画面表示を終了します。
入			2 画面表示にします。
設定	**2 画面**	切	2 画面表示をするかの設定をします。
		入	
	操作権	左画面	操作する画面を選びます。
		右画面	

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。操作権のある画面には、2 画面マーカーが表示されます。

- 工場出荷時は **【切】** です。
- リモコンの【SPLIT】ボタンでも切り換えができます。
- 画面中央に ▷ または ◁ が出ているときに、リモコンの【◀】【▶】で操作権を移動します。
- 2 画面切り替え時は、入力状態ダイアログ内に左右二つの信号名と、入力状態を表示します。

2 画面表示時のイメージ優先を設定する

MENU >[イメージ調整]>**[イメージ優先]**

○ HDMI	○ コンポーネント	— LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

2画面表示のとき、一部の画像処理は両方の画面に適用されます。どちらの画面の画像処理条件を適用させるかを選びます。



プライマリ	[プライマリ] に設定すると、[セカンダリ] に戻すことはできません。他方の画面に操作権を移動してから、[プライマリ] を選び直してください。
セカンダリ	選択中の画面 (操作権のある画面) を [セカンダリ] に設定します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

2 画面表示時のイメージ調整メニューの項目は、左右それぞれの画像に設定できるものと、[プライマリ] の設定が、[セカンダリ] 側にも反映されるものとがあります。

個別で設定できる項目

明るさ (P87) 、コントラスト (P88) 、ガンマ (P89) 、色調整 (P89)、ガンマ詳細設定 (P93)

[プライマリ] の設定が [セカンダリ] にも反映される項目

イメージモード (P85) 、ガンマ詳細調整以外の高度な調整 (P90 ～ P93) 、ランプモード (P94)

イメージモードを設定する

MENU >[イメージ調整]>**[イメージモード]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

投写する映像に適した画質 (P60) を選びます。
リモコンの【IMAGE】ボタンでも選べます。(P61)



スタンダード	やや明るい部屋でコンピューター画面や映像ソフト (動画) の観賞などに適しています。白の色味を重視しています。
プレゼンテーション	やや明るい部屋で文字を中心とした画像に適しています。
ダイナミック	やや明るい部屋で映像ソフト (動画) を観賞するのに適しています。
ビデオ	やや暗い部屋でビデオカメラで撮影した映像の観賞に適しています。
フォト / sRGB	やや暗い部屋で sRGB 対応のデジタルカメラの画像などを投写する場合に適しています。sRGB 規格の色域に対応しています。
ユーザー 1 ～ 5	ユーザー自身が画質の設定の組み合わせを 5 種類までメモリ (ユーザーメモリ) に保存することができます。(P86) 保存した設定は、イメージモードとしてここで選択できます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時はアナログPC-1,2 / デジタルPC / HDMI ([HDMI 入力] が [PC])、LAN、USB の場合は **【スタンダード】**、HDMI （[HDMI 入力] が [オート] ）、コンポーネントのときは **【フォト /sRGB】** です。
- 各イメージモードの画質は、次の各項目が調整できます。
  [明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[ガンマ]、[色調整]、[高度な調整] の各項目、[ランプモード]
- 調整内容は、入力信号とイメージモードの組み合わせごとに記憶されます。
- [ユーザーメモリ作成] で作成したユーザーメモリを選択すると、メニューに [基準イメージモード] が表示されます。これは、そのユーザーメモリを保存する際に基準となったイメージモードを表します。





ユーザーメモリを作成 / 保存する

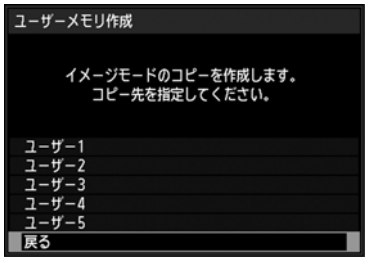
MENU >**[イメージ調整]>[ユーザーメモリ作成]**

○ HDMI	○ コンポーネント	— LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

画質の設定を 5 種類まで保存しておくことができます。保存した画質は、イメージモード設定で選ぶことができます。



【▲】【▼】 ボタンで保存先を選びます (保存済みのメモリにはチェックマークが表示されています)。



保存先が決まったら【OK】ボタンを押して確定し、[戻る] を選択します。

- 保存される設定値は、明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ、色調整、高度な調整、ランプモードです。
- 表示されるユーザーメモリの数は5個ですが、接続機器がコンピューター (アナログ PC、デジタル PC、HDMI ([HDMI 入力] (P101) が [PC] のとき) の場合と AV 機器 (コンポーネント、HDMI ([HDMI 入力] (P101) が [オート] のとき)) の場合とで別々に設定値を保存します。そのため、10 種類の設定値を保存できます。

- ユーザーメモリには、設定変更の元になったイメージモード名も一緒に保存されます。イメージモードでユーザーメモリが選択された場合は、元になったイメージモードが「基準イメージモード」としてメニューに表示されます。

明るさを調整する

MENU >**[イメージ調整]**>**[明るさ]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像の明るさが調整できます。



【▶】	映像が明るくなります。
【◀】	映像が暗くなります。

調整が終わったら【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

コントラストを調整する

MENU >[イメージ調整]>**[コントラスト]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像のコントラストが調整できます。
明るい部分と暗い部分の差を調整し、メリハリのある映像や、目にやさしい映像に調整できます。



【▶】	コントラストを上げます。映像が暗い部分と明るい部分の差がはっきりします。
【◀】	コントラストを下げます。映像が淡くなります。

調整が終わったら【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

シャープネスを調整する

MENU >[イメージ調整]>**[シャープネス]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像の鮮明度を調整できます。



【▶】	映像が鮮明になります。
【◀】	映像がぼやけます。

調整が終わったら【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

ガンマ補正を行う

MENU >[イメージ調整]>**[ガンマ]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像が暗くて見えにくい、または明るくて見えにくい部分が補正できます。
リモコンの【GAMMA】ボタンで補正することもできます。



【▶】	暗くて見えにくい部分が見えるように補正されます。
【◀】	明るくて見えにくい部分が見えるように補正されます。

調整が終わったら【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

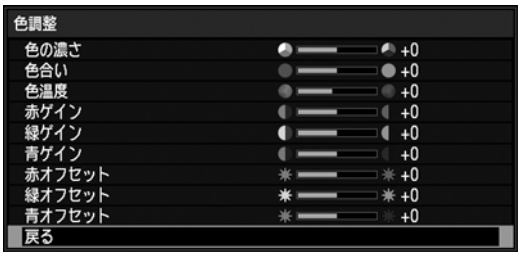
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。
- ガンマ詳細調整 (P93) により、より詳細な調整を行うことができます。

色を調整する

MENU >[イメージ調整]>**[色調整]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像の色の濃さ、色合いなどを赤、緑、青の各色ごとに調整できます。また色温度を調整することができます。



色の濃さ	色の濃さを調整します。 【▶】 色が濃くなります。 【◀】 色が淡くなります。
色合い	紫がかった映像、緑がかった映像の色合いを調整します。 【▶】 紫がかった映像が補正されます。 【◀】 緑がかった映像が補正されます。
色温度	色味を調整します。 【▶】 青味がかった色になります。(寒色系) 【◀】 赤味がかった色になります。(暖色系)
赤 / 緑 / 青ゲイン	赤、緑、青の色味の強さを調整します。 【▶】 色味が強くなります。 【◀】 色味が弱くなります。
赤 / 緑 / 青オフセット	赤、緑、青の色の暗い部分の色再現を調整します。 【▶】 再現性が高くなります。 【◀】 再現性が弱くなります。

調整が終わったら【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

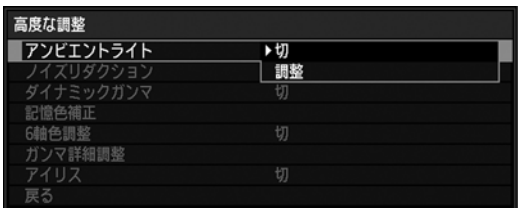
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

環境光に合わせて調整する (アンビエントライト)

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]>
[アンビエントライト]

○ HDMI	○ コンポーネント	— LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

スクリーン上に届く環境光に対し、より好ましく補正した映像を投写します。
[アンビエントライト]は、イメージモード (P85) がフォト /sRGB のときに選ぶことができます。



切		調整せずに投写します。
調整		環境光の種類とレベル (明るさ) を設定します。



種類	電球	環境光が電球、または電球色蛍光灯の場合に選びます。
	蛍光灯	環境光が昼白色蛍光灯の場合に選びます。



レベル	弱	環境光が通常の場合に選びます。
	強	環境光が明るい場合に選びます。



アンビエントライトのレベルの設定例

レベル	場所の目安
弱	映写室、スポーツバーなど
強	会議室、教室

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。

ノイズを低減する (ノイズリダクション)

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]> **[ノイズリダクション]**

○ HDMI	○ コンポーネント	— LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

映像のノイズを低減できます。



切	ノイズリダクションを行いません。
弱 中 強	ノイズリダクションの強度を 3 段階で指定します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

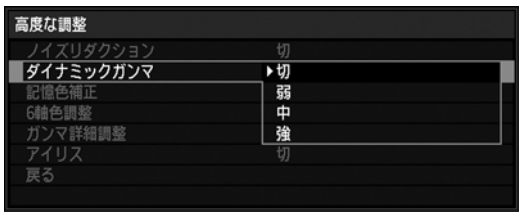
- 工場出荷時は、HDMI ([HDMI 入力] (P101) が [オート] のとき) の場合は **【切】**、コンポーネントの場合は **【弱】** です。
- ノイズリダクションを行うと、解像感の低下が生じることがあります。
- 動きの速い映像のときは [弱] を、動きの遅い映像のときは [強] を選んでください。
- 投写中の入力信号とイメージモードの設定として記憶されます。
- [HDMI 入力] (P101) が [PC] の場合、非表示となります。

ダイナミックガンマを調整する

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]> **[ダイナミックガンマ]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

明るいところと暗いところの階調表現が自動的に改善されます。



切	ダイナミックガンマを使用しません。
弱 中 強	ダイナミックガンマを 3 段階で指定します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

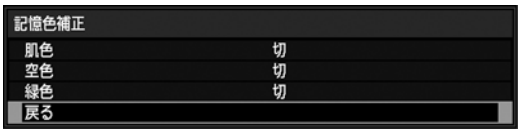
- 工場出荷時は、接続機器がコンピューター (アナログ PC、デジタル PC、HDMI ([HDMI 入力] (P101) が [PC] のとき)) の場合は **【切】**、AV 機器 (コンポーネント、HDMI ([HDMI 入力] (P101) が [オート] のとき)) の場合は **【弱】** です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

記憶色を補正する

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]>
[記憶色補正]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

肌色、空色、緑色を、人の記憶のイメージに合わせて美しく表現します。



肌色
空色 [切]、[弱]、[中]、[強] から補正の強
緑色 度を指定します。[切] の場合は補正を行いません。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は以下の通りです。
  - HDMI ([HDMI 入力] (P101) が [PC] のとき) 、デジタル PC、アナログ PC、USB、LAN の場合は **【切】** です。
  - HDMI ([HDMI 入力] (P101) が [オート] のとき) 、コンポーネントの場合は、イメージモードによらず **【弱】** です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

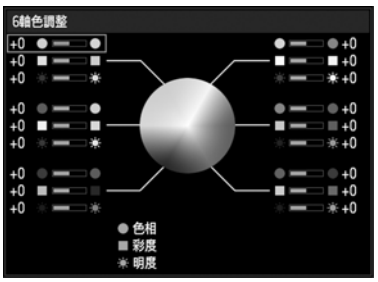
きめ細かい色調整を行う (6 軸色調整)

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]>
[6 軸色調整]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像の色味を RGB (赤、緑、青) および CMY (シアン、マゼンタ、イエロー) できめ細かく調整します。



切	6 軸色調整を行いません。 [調整] を選ぶと、以前の設定内容に戻ります。
調整	6 軸色調整を行います。  【▲】【▼】ボタンで [○色相 (色合い)]、[□彩度 (色の濃さ)]、[✳明度 (色の明るさ)] を選び、【◀】【▶】ボタンで調整します。 色調整が終わったら、【OK】ボタンを押します。
リセット	調整を 0 に戻します。

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

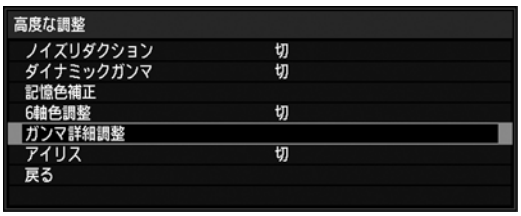
- 工場出荷時は **【切】** です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。
- 表示しているメニュー画面には、調整されません。

ガンマの詳細な調整を行う

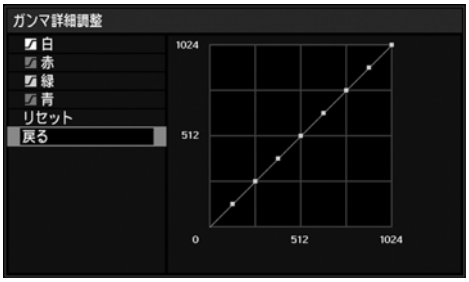
MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]>
[ガンマ詳細調整]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

白、赤、緑、青の4つのガンマ曲線を調整できます。赤、緑、青は個別に調整できます。白を調整すると、他の 3 色に調整量が反映されます。
どちらで調整を行なっても、最後の調整値が上書きされます。



[ガンマ詳細調整] で【OK】ボタンを押すと、下の [ガンマ詳細調整] 画面が表示されます。



【▲】【▼】ボタンで色を選び、【OK】ボタンを押します。次に【◀】【▶】ボタンでガンマ曲線上の点を選び、【▲】【▼】ボタンで点の位置を調整します。調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

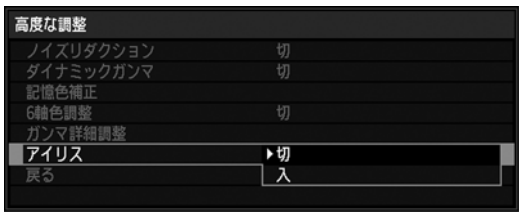
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。
- ガンマ補正については、89 ページを参照してください。
- 「色を調整する」(P89) の赤 / 緑 / 青オフセット機能を使用することで、RGB のオフセット位置 (0 点) を動かすことができます。
- 表示しているメニュー画面には、調整は適用されません。入力信号、または内蔵テストパターンで調整してください。

コントラストの制御を設定する (アイリス)

MENU >[イメージ調整]>[高度な調整]>
[アイリス]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

絞りを開閉させることで、画像のコントラストを制御します。



切	絞りを全開にします。コントラストよりも明るさが優先されます。
入	絞りを半開にします。明るさよりもコントラストが優先されます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの設定として記憶されます。

ランプモードを設定する

MENU >[イメージ調整]>**[ランプモード]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

ランプの光量を落とすことで、消費電力を抑え、冷却ファンの音を静かにすることができます。
リモコンの【ECO】ボタンで[ランプモード]メニューを呼び出すこともできます。



フルパワー	最大の明るさで投写します。
エコ	ランプの光量を落とし、消費電力量を減らします

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

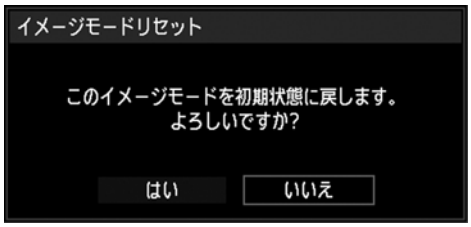
- 工場出荷時は **【フルパワー】** です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの設定として記憶されます。

イメージ調整をリセットする

MENU >[イメージ調整]>**[リセット]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

現在のイメージ調整の設定をリセットし、購入時の状態に戻します。[イメージモード]でユーザー1 ～ 5 を選択しているときにリセットすると、[ユーザー1～5]に保存されている状態に戻ります。



はい	イメージ調整の設定をリセットします。
いいえ	リセットを中止します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの組み合わせの設定内容のみリセットされます。

ユーザー画像を登録する

MENU >[システム設定]>[ユーザー画面設定]>**[ユーザー画像登録]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

現在表示している画面をユーザー画像として登録します。登録したユーザー画像は、無信号時の画面、BLANK 時の画面、起動時の画面として使用することができます。





はい	登録する画像を画面に表示します。赤い枠に読み込む範囲を合わせ、【OK】ボタンを押します。枠の中の画像が登録されます。
いいえ	ユーザー画像の登録を中止します。

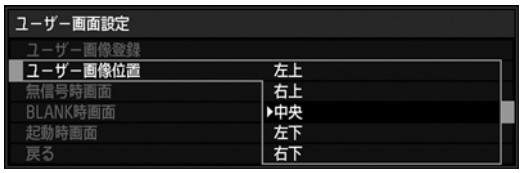
【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

ユーザー画像位置を設定する

MENU >[システム設定]>[ユーザー画面設定]>**[ユーザー画像位置]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

登録したユーザー画像の表示位置を設定します。



左上	ユーザー画像の表示位置が指定した箇所になります。
右上	
中央	
左下	
右下	

- 工場出荷時は **【中央】** です。
- ユーザー画面を登録したときに設定することができます。

無信号時の画面

MENU >[システム設定]>[ユーザー画面設定]>**[無信号時画面]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

入力信号がないときに、画面を黒、青、または登録したユーザー画面にします。



黒	黒画面になります。
青	青画面になります。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【青】**です。

BLANK 時の画面

MENU >[システム設定]>[ユーザー画面設定]>**[BLANK 時画面]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

リモコンの【BLANK】ボタンを押して画像を一時的に消したときに、画面を黒、青、または登録したユーザー画面にします。



黒	黒画面になります。
青	青画面になります。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【黒】**です。

電源を入れたときの画面

MENU >[システム設定]>[ユーザー画面設定]>**[起動時画面]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

電源を入れてから投写準備ができるまでの間の画面を選びます。



表示しない	電源を入れるとすぐに入力信号が投写されます。
Canon ロゴ	あらかじめ登録されているキヤノンのロゴを表示します。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【Canon ロゴ】**です。
- ユーザー画像として登録できるのは、スクリーンアスペクトが 16:10 の場合のみです。

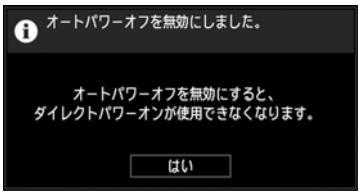
オートパワーオフを設定する

MENU >[システム設定]>**[オートパワーオフ]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

本機を使用しないときに、節電のため自動的にランプを消したり、電源を切ることができます。



5 分～ 60 分	選択した時間、入力信号がなければ、カウントダウンが表示され、カウントダウンが終了すると電源が切れます。
無効	オートパワーオフ機能を使用しません。 

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【15 分】**です。
- ［切］に設定した場合は、次の項目の［ダイレクトパワーオン］は使用できません。

ダイレクトパワーオンを設定する

MENU >[システム設定]>**[ダイレクトパワーオン]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

【POWER】ボタンを押さずに、電源コードの接続だけで電源が入るようにできます。



切	電源を入れるために POWER ボタンの操作が必要です。
入	電源コードの接続だけで電源が入ります。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。

- ダイレクトパワーオンを［入］にするときは、［オートパワーオフ］の設定を［無効］以外に設定してください。［無効］にするとオートパワーオフは使用できません。
- 電源を切った後に再度電源を入れる場合は、5 分以上経ってから電源を入れるようにしてください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因になります。

電子音を設定する

MENU >[システム設定]>**[電子音]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

操作時の電子音の入 / 切を選べます。



切	電子音を鳴らしません。
入	電子音を鳴らします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【入】** です。
- リモコンの【MUTE】ボタンで音を消しているときは、電子音は鳴りません。

キーリピートを設定する

MENU >[システム設定]>**[キーリピート]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

本体やリモコンのボタンを押したままにしたときに、連続して押したのと同じ動作をさせること（キーリピート）ができます。



切	キーリピートを行いません。
入	キーリピートを行います。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【入】**です。

キー操作をロックする

MENU >[システム設定]>**[キーロック]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

本体またはリモコンのいずれかでの本機の操作を禁止できます。



切	キーロックを使用しません。
本体	本体操作部が使用できなくなります。 リモコン側で操作してください。
リモコン（ワイヤレス）	赤外線でのリモコン操作ができなくなります (P26) 。 本体側で操作してください。 別売品のリモコン (RS-RC05) をケーブルに接続して操作することはできます 。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【切】**です。

キーロックは、［本体］もしくは［リモコン (ワイヤレス) ］で操作したくない一方を選び、【OK】ボタンを押すことで選んだほうの操作ができなくなります。

キーロックを強制解除するには

本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。次に、本体の【OK】ボタンを押しながら電源コードを差し込み、そのまま【OK】ボタンを離さないでください。しばらくして電子音が鳴り、キーロックが解除されます。

リモコンのチャンネルを設定する

MENU >[システム設定]>**[リモコンチャンネル]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

複数台 (最大４台) のプロジェクターを同時に使用するときに、使い分けのためリモコンのチャンネル設定を変更します。

本体側のチャンネルを選ぶ



Ch1 Ch2 Ch3 Ch4	このプロジェクターで使用するリモコンのチャンネルを選びます。
オール	全チャンネルのリモコンが使用できるようになります。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は、プロジェクター、リモコンともに **【オール】** に設定されています。
- メニューでのチャンネル切り換え後に、必ずリモコン側のチャンネルも切り換えてください。
- ケーブル接続の場合は、リモコンのチャンネル設定は不要です。

リモコン側のチャンネルを選ぶ

リモコン側のチャンネルは、次の操作で変更します。

Ch1	【OK】ボタンと【▲】ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch2	【OK】ボタンと【▶】ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch3	【OK】ボタンと【▼】ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch4	【OK】ボタンと【◀】ボタンを同時に 3 秒間押します。
オール	【OK】ボタンと MENU ボタンを同時に 3 秒間押します。

MB リダクションを設定する

MENU >[システム設定]>**[MB リダクション]**

○ HDMI	○ コンポーネント	— LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	— USB

MB (モーションブラー) とは、動画の再生時に生じるブレのことです。MBリダクションにより、動画のブレを軽減することができます。イメージモード (P85) がプレゼンテーションまたは、ダイナミックで選ぶことができます。



切	MB リダクションを実行しません。
入	MB リダクションを実行します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。
- [入] にしたときにノイズが気になる場合は、[切] に設定してください。
- メニューを表示しているときは、MB リダクションの効果を確認することはできません。
- CG 画像等の高精細な画像の動きに対し、特に効果があります。

HDMI 入力を設定する

MENU >[システム設定]>**[HDMI 入力]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

HDMI に接続する機器の種類を設定します。



オート	AV 機器を接続する場合に選びます。画像処理やメニュー表示などがビデオ機器に合わせて調整されます。
PC	コンピューターを接続する場合に選びます。画像処理やメニュー表示などがコンピューターに合わせて調整されます。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【オート】** です。

表示言語を選択する

MENU >[システム設定]>**[言語]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

メニューに表示する言語を選べます。



【▲】【▼】【▶】【◀】ボタンで表示する言語を選び、【OK】ボタンを押します。

英語	English
ドイツ語	Deutsch
フランス語	Français
イタリア語	Italiano
スペイン語	Español
ポルトガル語	Português
スウェーデン語	Svenska
ロシア語	Русский
オランダ語	Nederlands
フィンランド語	Suomi
ノルウェー語	Norsk
トルコ語	Türkçe
ポーランド語	Polski
ハンガリー語	Magyar
チェコ語	Čeština
デンマーク語	Dansk
アラビア語	انجليزي
中国語 (簡体)	中文简体
中国語 (繁体)	中文繁體
韓国語	한국어
日本語	日本語

設定が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

パスワード機能を設定する

MENU >[システム設定]>[その他の設定]>**[パスワード設定]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

パスワードを入力しないと投写ができないようにします。



切	パスワードを入力しなくても投写できます。
入	パスワードを入力しないと投写できません。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【切】**です。
- ［パスワード登録］を行わないとパスワード設定を［入］にできません。

パスワード機能を使用すると、電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されます。
パスワードは４桁で入力します。
【▲】、【▶】、【▼】、【◀】ボタンの組み合わせで設定します。
パスワードが一致すれば投写が始まります。パスワードを 3 回間違えると、電源が切れます。

- パスワードの入力画面のまま 3 分間放置した場合も電源が切れます。

パスワードを強制解除するには

本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。

次に、本体の【MENU】ボタンを押しながら電源コードを差し込みます。電子音が鳴るまで【MENU】ボタンを押し続けてください。電子音が鳴るとパスワードの解除は完了です。(登録したパスワードもリセットされます)

リモコンからパスワードを強制解除するには、スタンバイ状態で【MENU】ボタンを３回押し、【POWER】ボタンを押してください。

パスワードを登録する

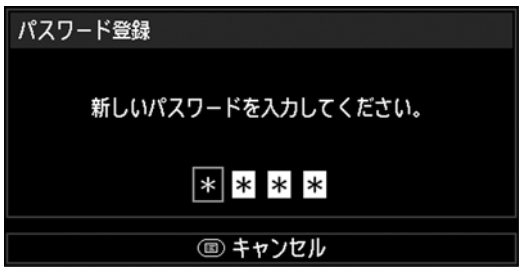
MENU >[システム設定]>[その他の設定]>
[パスワード登録]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

投写を始めるためのパスワードを登録します。



［パスワード登録］で【OK】ボタンを押すと下のパスワード登録画面が表示されます。



パスワードは４桁で入力します。

【▲】、【▶】、【▼】、【◀】はボタンの組み合わせで設定します。

左の桁から順番に入力し、入力が終わると自動的に登録されます。

パスワードの登録を中止するときは【MENU】ボタンを押してください。

ガンマリストアを調整する

MENU >[システム設定]>[その他の設定]>
[ガンマリストア]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

長期使用によって、階調特性の変化や無彩色の色づきが気になった時に使用します。ガンマリストアはランプ点灯後、約30分以上経過しないと使用可能となりません。



切	ガンマリストアを実行せず、工場出荷時の設定に戻します。
調整	ガンマリストアを実行し、結果を適用します。



はい	ガンマリストアを実行します。
いいえ	ガンマリストアを実行しません。

- ガンマリストアを実行すると、約 150 秒間、画面調整が投写されます。
- ガンマリストアを中断するには、【POWER】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押してください。

ガンマリストアを実行すると、階調特性や無彩色の色づきを購入時の状態に近づけられますが、完全に元の状態に戻すことはできません。そのため色づきを完全には取り除けないことがあります。

ランプカウンターをリセットする

MENU >[システム設定]>[その他の設定]>
[ランプカウンター]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

ランプの交換時期を知らせるカウンターをリセットします。

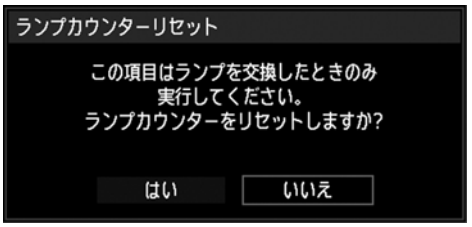
注 意 **ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。ランプの交換時期を正しく知らせることができなくなります。ランプの交換方法については 181 ページを参照してください。**



[ランプカウンター] で【OK】ボタンを押すと、ランプカウンターが表示されます。



[リセット] を選んで【OK】ボタンを押します。



確認画面で [はい] を選び、【OK】ボタンを押すとランプカウンターがリセットされます。
【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

■　ランプカウンターの表示について

ランプカウンターの表示は次の通りです。

2,700時間未満

緑色のバーで表示します。

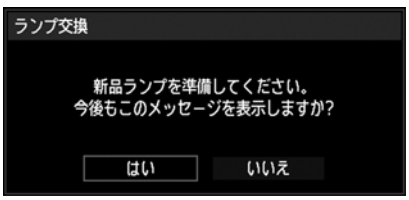


2,700時間以上3,000時間未満

緑色・黄色のバーで表示します。



2,700時間以上3,000時間未満では、電源を入れたときに「新品ランプを準備してください」というメッセージ画面が表示されます。



3,000時間を超えたとき

緑色・黄色・赤色のバーで表示します。



電源を入れたときに「新品ランプに交換してください」というメッセージ画面が表示されます。



- ランプカウンターはランプの交換時期の目安を知らせる機能です。ここに表示している時間（H）は、使用時間と点灯中のランプの負荷状態から算出しています。
- ランプカウンターに表示される時間（H）は [直立投写]（136 ページ) が [切] で、[ランプモード]（94 ページ）が [フルパワー] のときのランプ使用時間として換算値を表示しています。

エアフィルターカウンターをリセットする

MENU >[システム設定]>[その他の設定]>
[エアフィルターカウンター]

○ HDMI ○ コンポーネント ○ LAN
○ デジタル PC ○ アナログ PC ○ USB

エアフィルターの掃除および交換時期を知らせるカウンターをリセットします。

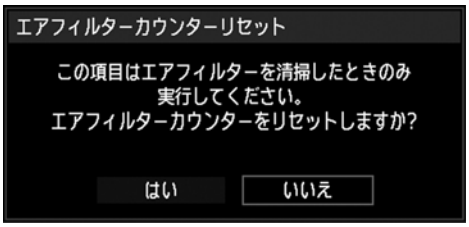
フィルターの交換および掃除については 179 ページを参照してください。



[エアフィルターカウンター] で【OK】ボタンを押すと、エアフィルターカウンターが表示されます。



[リセット] を選んで【OK】ボタンを押します。



確認画面で［はい］を選び、【OK】ボタンを押すと、エアフィルターのカウンターがリセットされます。
【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

ファームウェアのバージョンを更新する

MENU >[システム設定]>[その他の設定]>
[ファームウェアバージョン]

○ HDMI ○ コンポーネント ○ LAN
○ デジタル PC ○ アナログ PC ○ USB

USB メモリに保存したアップデートプログラムによりファームウェア (本機の内蔵プログラム) のバージョンを更新します。

アップデートプログラムは弊社ウェブサイトからダウンロードし、USB メモリのルートディレクトリに保存してください。



[ファームウエアバージョン] で【OK】ボタンを押し、表示されるバージョンを確認してください。[はい] を押すと、バージョンアップの確認画面が表示されます。［はい］を押すと、バージョンアップが実行されます。
更新処理には約 3 分かかります。ファームウェアの更新中は、赤いLEDが点滅します。LED 点滅中は電源を切らないでください。



更新完了後は、自動的に本機の電源が切れ、スタンバイ状態になります。

- アップデートプログラムがダウンロードできない場合があります。その場合はキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- ここに記載されているバージョンは実際のものとは異なります。

購入時の状態に戻す

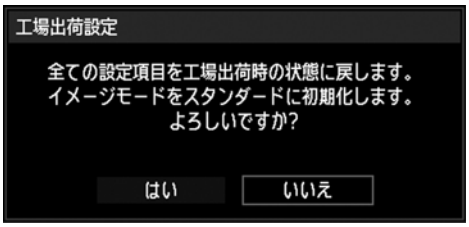
MENU >[システム設定]>[その他の設定]>
[工場出荷設定]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

メニューで設定した内容を購入時 (工場出荷時) の状態に戻します。



[工場出荷設定] で【OK】ボタンを押すと、下の確認画面が表示されます。



はい	工場出荷時の状態に戻します。
いいえ	工場出荷時の状態に戻しません。

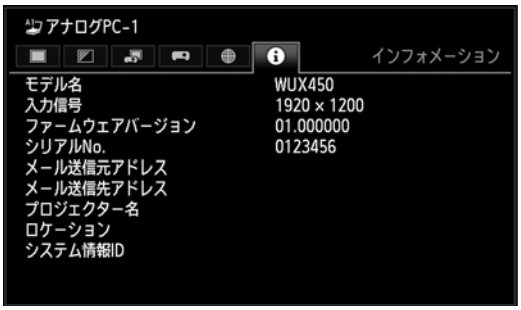
- **[ランプカウンター]**、**[言語]**、**[リモコン]**、**[入力信号]**、**[ネットワーク設定]**、**[フィルターカウンター]**、**[プロフェッショナル設定]** ([マイクロデジタルイメージシフト]、[レジストレーション]、[ファンモード]、[直立投写設定]、[エッジブレンディング])、**[ユーザーメモリ]** の内容は**戻りません。**
- 工場出荷時の状態についてはP283～P290を参照してください。
- ユーザーメモリの内容は、ユーザーメモリを保存したときの状態に戻ります。(P86)

情報を確認する (インフォメーション)

MENU >**[インフォメーション]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

投写中の映像の信号形式や、本機固有の情報を確認できます。



表示される情報

項目	内容
モデル名	WUX450 / WX520 / WUX400ST / WX450ST
入力信号	選択中の入力信号の詳細です。 「信号種別」「信号解像度」「周波数」 などの情報が表示されます。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアのバージョンです。
シリアルNo.	本機固有のシリアルナンバーです。
メール送信元アドレス*	エラーメールの送信元メールアドレスです。(P167)
メール送信先アドレス*	エラーメールの送信先メールアドレスが設定されているかを、 「未設定」または「設定済み」で表示します。(P167)
プロジェクター名*	ネットワーク上での本機の識別名です。
ロケーション*	本機の設置場所です。
システム情報ID	システムの情報です。通常は表示されません。

*ネットワーク機能が［切］のときは、表示されません。

POWER
PROJECTOR

WUX450
WX520
WUX400ST
WX450ST

設置とメンテナンス編



設置は専門の技術者または販売店に依頼することをお勧めします。また、天吊り金具を使用して設置する場合は必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。

設置する

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

操作編

投写する

プレゼンテーションで使える便利な機能

メニューによる機能設定

設置とメンテナンス編

設置する

ネットワークに接続して使用する

メンテナンス

NMPJ編

ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要

各モードでの操作

共通の機能

付録

その他の情報

索引

持ち運び時 / 輸送時のご注意

本機を以下の状態にしてから持ち運んでください。

注 意

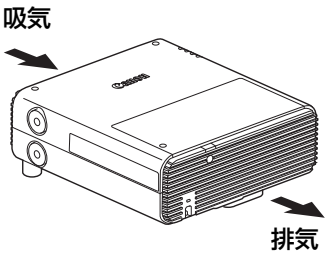
- **本機の接続ケーブルを外します。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因となります。**
- **調整脚をおさめてください。**
- **ご購入時の梱包材や緩衝材を本機の運搬、輸送に再利用しないでください。使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因となることがあります。**

設置のときのご注意

16～22ページの「安全にお使いいただくために」および「正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。また、設置するときは次のことに注意してください。

注 意

- **本機をたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因になります。**
- **本機を立てかけたり、立てて置かないでください。転倒により故障の原因となります。**
- **冷却ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口、排気口をふさぐと内部に熱がこもり、故障の原因となります。**



■こんな場所には設置しないでください

- 湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。
- 高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。正しく動作しないことがあります。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。
- 高温、低温、高湿度になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。なお、使用温度・湿度、保管温度の範囲は以下のとおりです。

使用温度範囲	使用湿度範囲	保管温度範囲
0℃～40℃	85%まで	-20℃～60℃

■レンズを素手で触らないでください

レンズを素手で触らないでください。画質を損なう原因になることがあります。

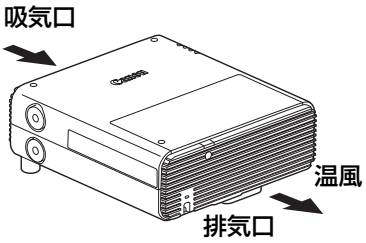
■ピントを合わせる (P49) ときは、30 分以上点灯させてから行うことを推奨します。

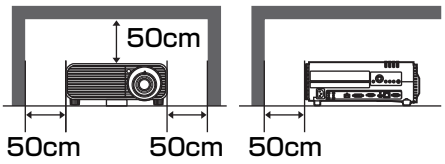
電源を入れた直後はランプの熱の影響でピント位置が安定しない場合があります。また、ピントを合わせる際はテストパターン (P269) の⑩の画像を使用することをお勧めします。

■壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください

注 意

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、本機の寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに設置しないで、風通しのよい場所に設置してください。(上方・側面50cm、後面50cm以上離して設置してください。)





■結露にご注意ください

部屋の温度を急に上げたときなど、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

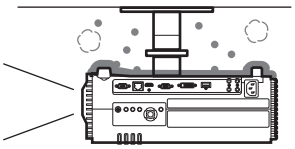
■海抜 2,300m 以上の高地で使用するときは設定を変更してください

海抜2,300m 以上の高地でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。詳しくは、設置設定メニューの［ファンモード］(P136) を参照してください。

■ 天井から吊り下げてご使用になる場合

⚠注 意

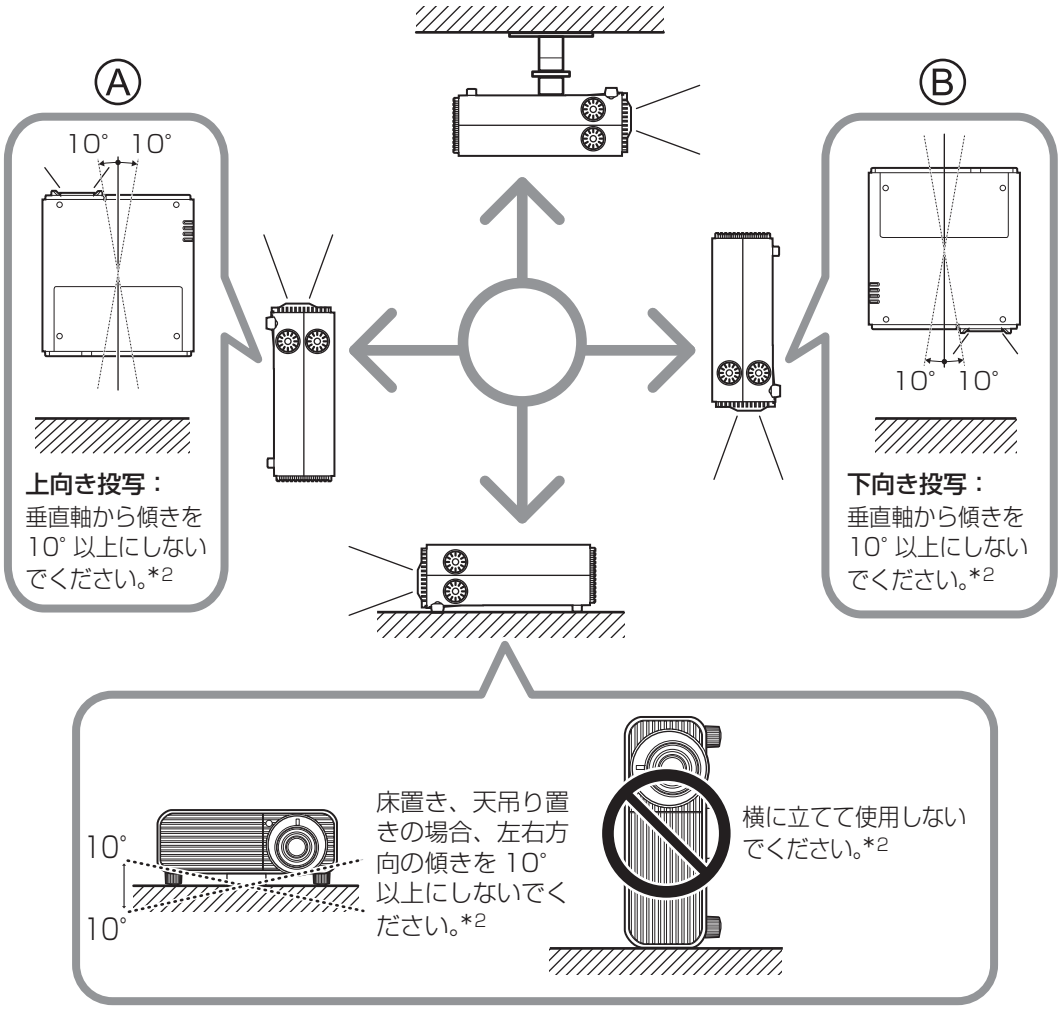
天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行ってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。



■ 正しい方向に設置してください

注 意

本機は、下図に示す 360° *1 の方向に設置することができますが、上向き投写Ⓐ、または下向き投写Ⓑで使用する場合、ランプの寿命が縮まる可能性があります。また、プロジェクターの設定を変更する必要があります。上向き投写、または下向き投写で使用する場合は、設置設定メニューの［直立投写］(P136) を参照してください。



***1 本機は天吊り金具 (P29、P117、P282) 以外の設置のためのオプションは用意されていません。**

***2 ランプ故障の原因となることがあります。**

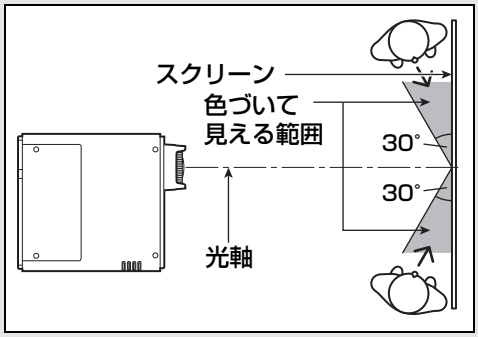
本機を上向き、下向きで投写する場合、メニューの［設置設定］>［プロフェッショナル設定］>［直立投写］でプロジェクターの投写方向を設定してください。(P136)

プロジェクターを設置する

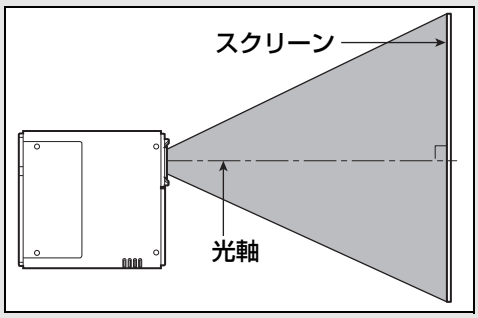
■ スクリーンの正面に置く

本機をスクリーンの正面に置いてください。

- 使用するスクリーンの特性によっては、斜めから見た場合に投写画面の一部が色づいて見えることがありますが、故障ではありません。広視野角タイプ (マットタイプ) のスクリーンの使用を推奨します。(WUX400ST / WX450ST)



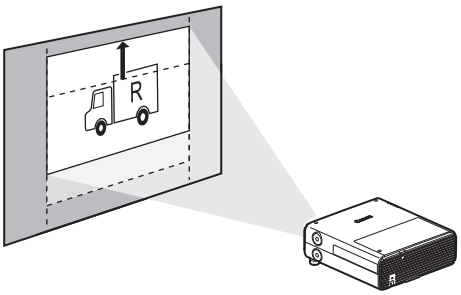
- 真っすぐに投写しないと画面がひずみます。
- スクリーンには、太陽光線や照明が直接当たらないようにしてください。明るい部屋では、照明を消す、カーテンを引くなどすると、画面が見やすくなります。



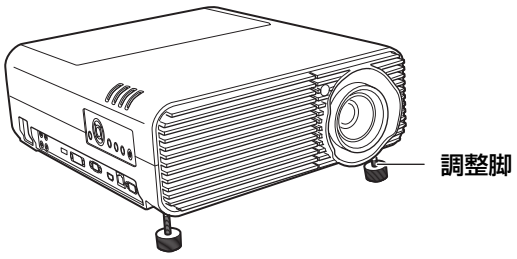
■ 床に置く

床置きのとき、スクリーンへの投写位置を調整するには、レンズシフト機能 (P48、P119) を使用して上下左右に調整することができます。また、調整脚を使って最大 6° まで上に向けることができます。

画面サイズと投写距離の関係については 118 ページを参照してください。



レンズシフト

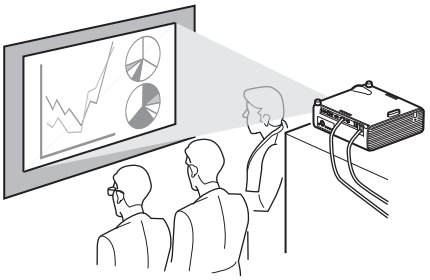


■ 上向きで置く

調整脚などを使い、傾けて設置すると投写画面が台形にひずみますが、キーストーン補正 (P133) や 4 点補正 (P133) の操作により補正できます。

■ 高い位置に設定して投写するには

本機を高い棚などの上において投写する場合、本機を逆さにして下向きに投写する方法があります。逆さにして設置するときは、プロジェクター上面にオプション脚を取り付けてください。



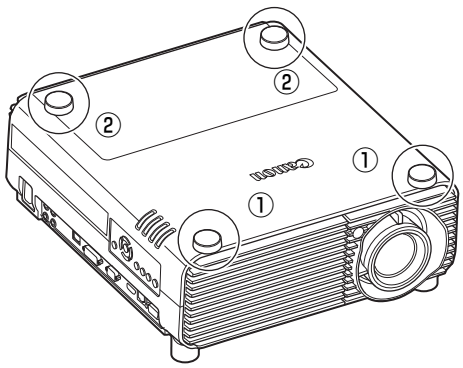
⚠警告

本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。本機が落下して事故やけがの原因になることがあります。

別売品のオプション脚（RS-FTO1）を取り付ける

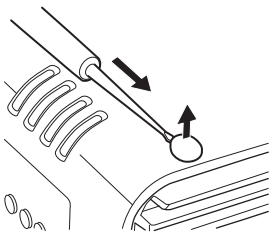
ホールキャップを取り外し、ネジ穴に取り付けます。
ホールキャップは、上面に 4 箇所あります。ホールキャップの場所によって取り外しかたが異なります。

上面



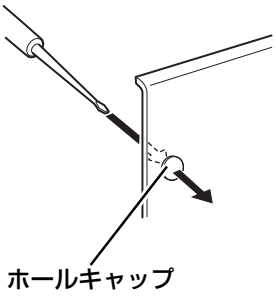
①のホールキャップの外しかた

先端の細いマイナスドライバーなどをくぼみに差し込み、ホールキャップを持ち上げます。



②のホールキャップの外しかた

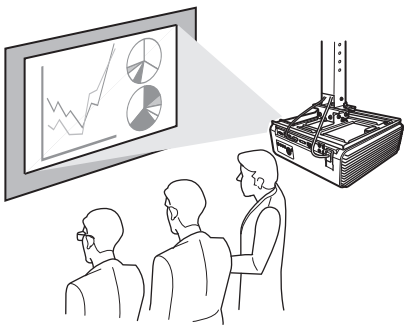
ランプカバーを開け、ホールキャップの後ろからドライバーなどで押します。



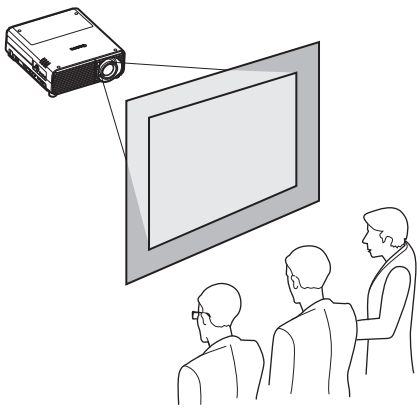
- 取り外したホールキャップはなくさないよう保管してください。
- 調整脚と併用して使用することができます。調整脚で投写位置を調整する場合、底面後方の取り付け穴２箇所にオプション脚を取り付けると、安定して投写することができます。

■ 天吊り / リア投写について

本機は、天井から逆さに吊り下げ (天吊り) て投写したり、透過型スクリーンを使用してスクリーン裏側から投写 (リア投写) することもできます。



天吊り投写

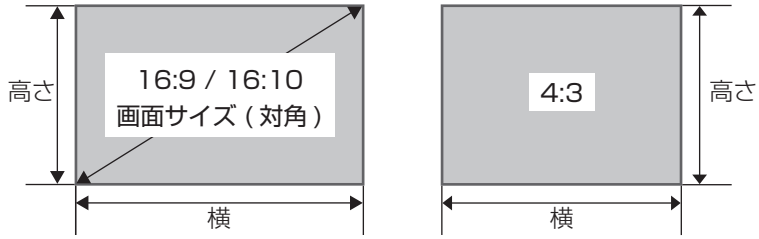


リア投写

天吊りには、専用の天吊り金具を使用します。天吊り金具については、282ページの「別売品」を参照してください。詳しくは、天吊り金具に付属の組立・設置説明書を参照してください。

投写距離と画面サイズの関係

投写画面のサイズは、本機からスクリーンまでの距離（投写距離）とズーム（WUX450 / WX520は光学的なズーム、WUX400ST / WX450STは電子的なズーム）で決まります。次の表を参考に、本機のスクリーンからの距離を決めてください。



WUX450 / WX520

投写距離 [m]

画面サイズ（型）	WUX450						WX520					
	16:10		16:9		4:3		16:10		16:9		4:3	
	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端
40	1.2	2.2	1.2	2.2	1.4	2.4	1.2	2.2	1.3	2.3	1.4	2.5
50	1.5	2.7	1.5	2.8	1.7	3.1	1.5	2.8	1.6	2.8	1.7	3.1
60	1.8	3.2	1.9	3.3	2.0	3.7	1.8	3.3	1.9	3.4	2.1	3.8
80	2.4	4.3	2.5	4.4	2.7	4.9	2.5	4.4	2.5	4.6	2.8	5.0
100	3.0	5.4	3.1	5.5	3.4	6.1	3.1	5.5	3.2	5.7	3.5	6.3
150	4.5	8.1	4.6	8.3	5.1	9.2	4.6	8.3	4.7	8.5	5.2	9.4
200	6.0	10.8	6.2	11.1	6.8	12.2	6.2	11.1	6.3	11.4	7.0	12.6
250	7.5	13.5	7.7	13.9	8.5	15.3	7.7	13.9	7.9	14.2	8.7	15.7
300	9.0	16.2	9.3	16.6	10.2	18.3	9.2	16.6	9.5	17.1	10.5	18.8

WUX400ST / WX450ST

投写距離 [m]

画面サイズ（型）	WUX400ST			WX450ST		
	16:10	16:9	4:3	16:10	16:9	4:3
30	0.35	0.36	0.40	0.36	0.37	0.41
40	0.47	0.49	0.54	0.49	0.50	0.55
50	0.60	0.61	0.68	0.61	0.63	0.69
60	0.72	0.74	0.81	0.74	0.76	0.83
80	0.96	0.99	1.09	0.98	1.01	1.12
100	1.20	1.24	1.36	1.23	1.27	1.40
150	1.81	1.86	2.05	1.86	1.91	2.10
200	2.42	2.49	2.74	2.48	2.55	2.81
250	3.03	3.11	3.43	3.10	3.19	3.52
300	3.64	—	—	3.73	—	—

WUX400ST / WX450ST の画面サイズの性能保証範囲は、50 型～ 200 型です。

■ レンズシフト機能について

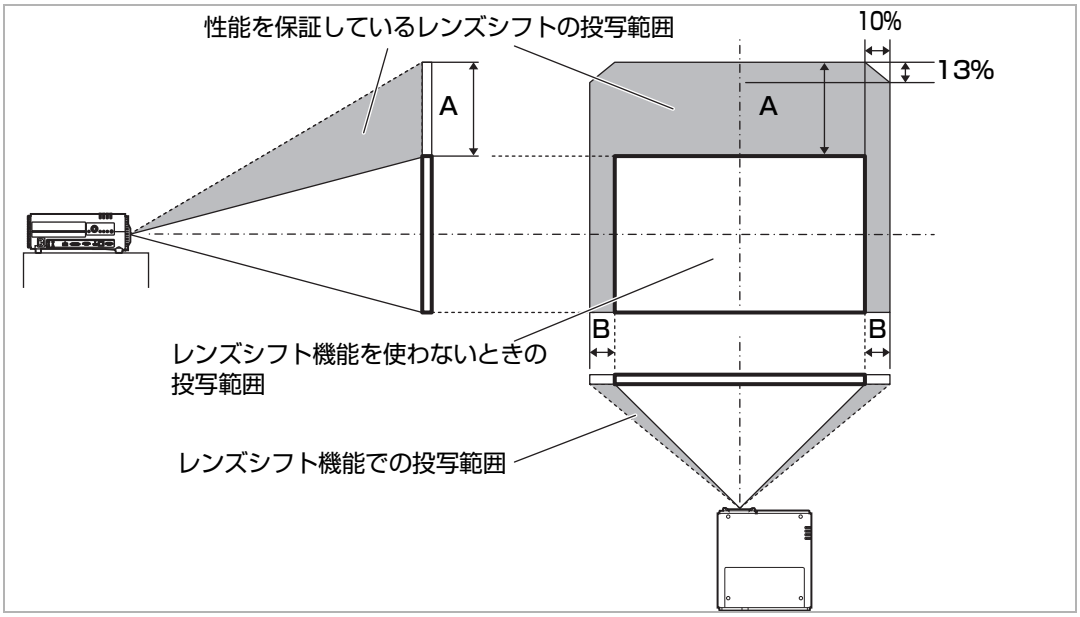
本機の側面についているレンズシフトダイヤルを回して投写レンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動することができます。操作のしかたについては、「レンズシフト操作部」（P35）を参照してください。

■ レンズシフト移動量について

レンズシフト量は、画面の高さおよび幅に対する移動量をパーセンテージで表したものです。各機種におけるレンズシフト量は、次の通りです。

	WUX450	WX520	WUX400ST	WX450ST
A 上方向のシフト量	+ 60%	+ 62%	+ 75%	+ 77%
B 左右方向のシフト量	± 10%	± 10%	± 10%	± 10%

本機では、上下左右方向のレンズシフト操作が可能です。以下は、本機のレンズシフト操作の性能を保証している範囲です。この範囲を外れた場合、周辺光量が低下したり、解像感が劣化する場合がございます。この場合、許容範囲内まで、レンズシフト位置をずらしてご使用ください。



各機種におけるレンズシフトによる上方向 (A) と左右方向 (B) の最大移動量 (参考値) [cm]

WUX450 / WX520

画面サイズ (型)	WUX450						WX520					
	16:10		16 : 9		4 : 3		16:10		16 : 9		4 : 3	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
40	32	9	30	9	37	8	33	9	31	9	38	8
60	48	13	45	13	55	12	48	13	45	13	55	12
80	65	17	60	18	73	16	65	17	60	18	73	16
100	81	22	75	22	91	20	81	22	75	22	91	20
150	121	32	112	33	137	30	121	32	112	33	137	30
200	162	43	149	44	183	41	162	43	149	44	183	41
250	202	54	187	55	229	51	202	54	187	55	229	51
300	242	65	224	66	274	61	242	65	224	66	274	61

WUX400ST / WX450ST

画面サイズ (型)	WUX400ST						WX450ST					
	16:10		16 : 9		4 : 3		16:10		16 : 9		4 : 3	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
30	30	6	28	7	34	6	31	6	29	7	35	6
40	40	9	37	9	46	8	41	9	38	9	47	8
50	50	11	47	11	57	10	52	11	48	11	59	10
60	61	13	56	13	69	12	62	13	58	13	70	12
80	81	17	75	18	91	16	83	17	77	18	94	16
100	101	22	93	22	114	20	104	22	96	22	117	20
150	151	32	140	33	171	30	155	32	144	33	176	30
200	202	43	187	44	229	41	207	43	192	44	235	41
250	252	54	233	55	286	51	259	54	240	55	293	51
300	303	65	280	66	343	61	311	65	288	66	352	61

- A の数値は、レンズシフト機能でスクリーンに対し垂直方向に移動したとき、映像が一番下になったときからのおおよその移動量です。
- B の数値は、レンズシフト機能でスクリーンに対し水平方向に移動したとき、映像が移動できる範囲の中心の位置からのおおよその移動量です。

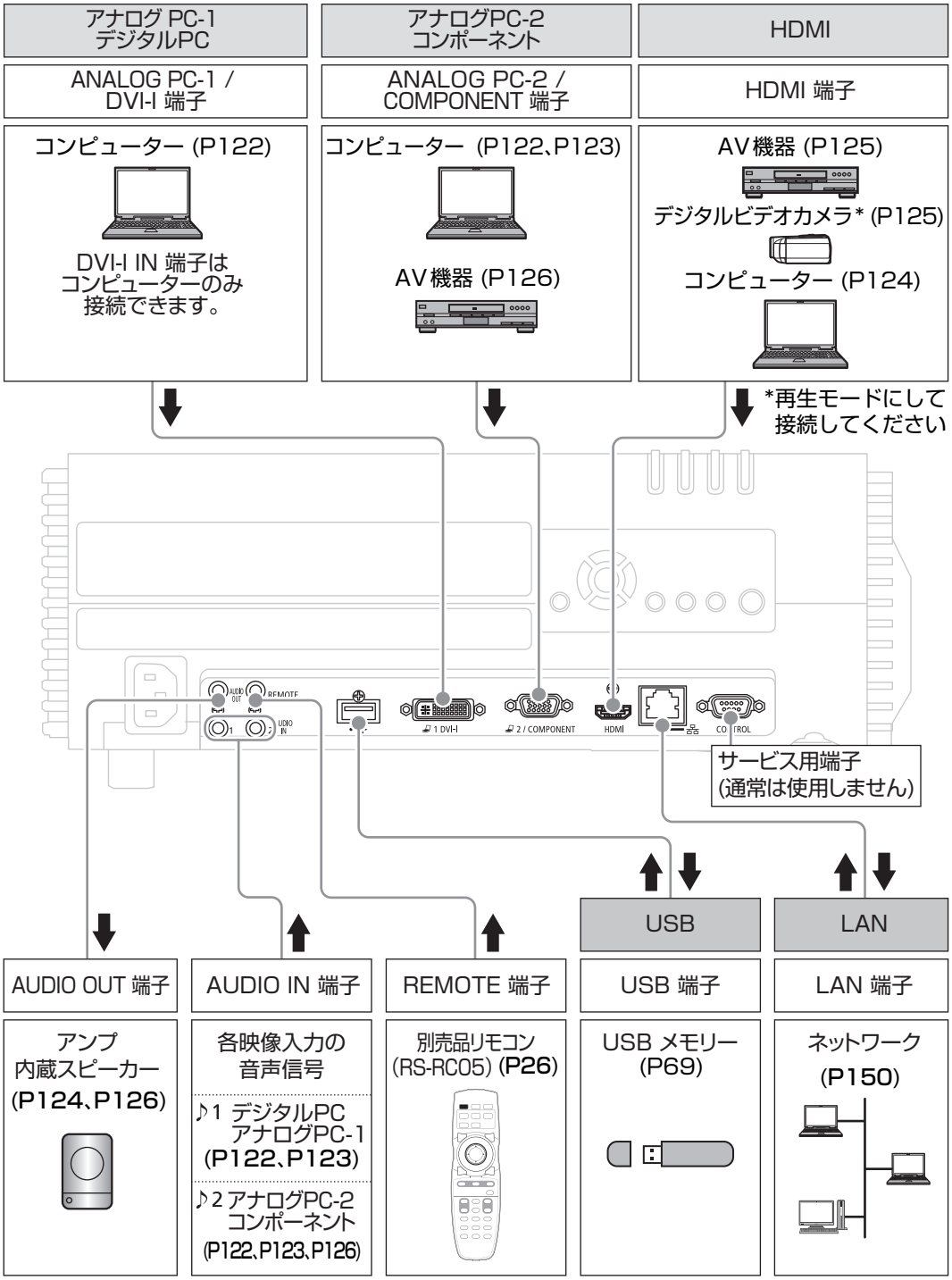
- レンズシフトの操作は映像を投写し、見ながら行ってください。
- レンズシフトの操作中、映像が移動しなくなったら移動範囲のリミットです。同じ方向にレンズシフトダイヤルを無理に回さないでください。故障の原因になります。

接続できる機器と接続端子

HDMI	この名称で映像を選びます。
HDMI 端子	機器を接続する端子の名称です。

信号やデータが流れる方向です。

(Pxxx) 解説ページです。



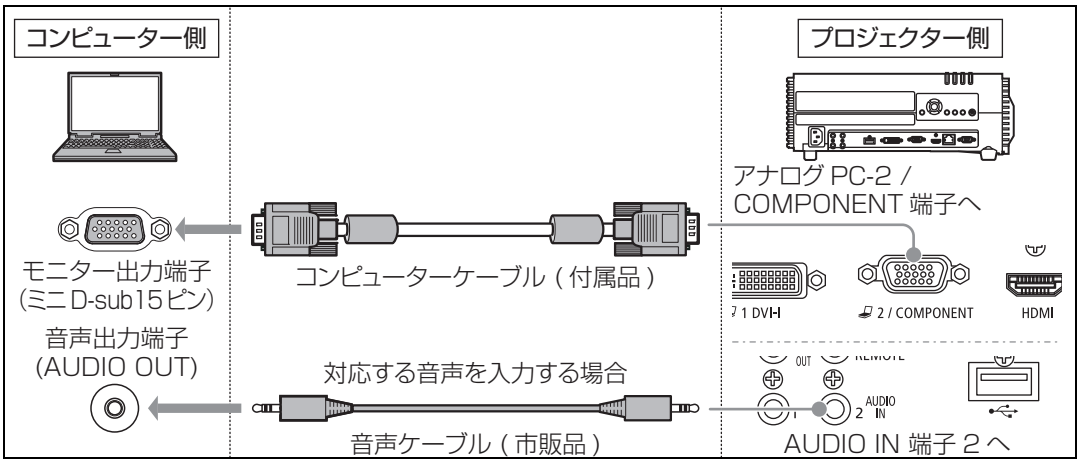
コンピューターを接続する

プロジェクターとコンピューターを接続します。
高画質で投写するときは、デジタル接続 (P123) をおすすめします。
HDMI 出力端子付きのコンピューターの場合は、HDMI ケーブルを使ったデジタル接続 (P124) も可能です。

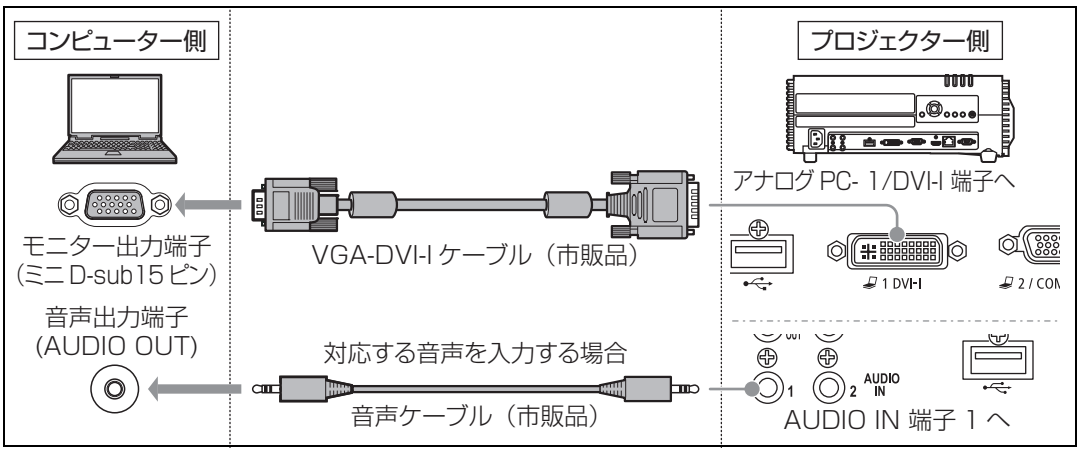
プロジェクターとコンピューターの両方の電源を切ってから接続してください。
注 意

■ RGB モニター出力端子と接続 (アナログ接続)

コンピューターケーブル接続 (入力信号の種類 [アナログPC-2] P43)

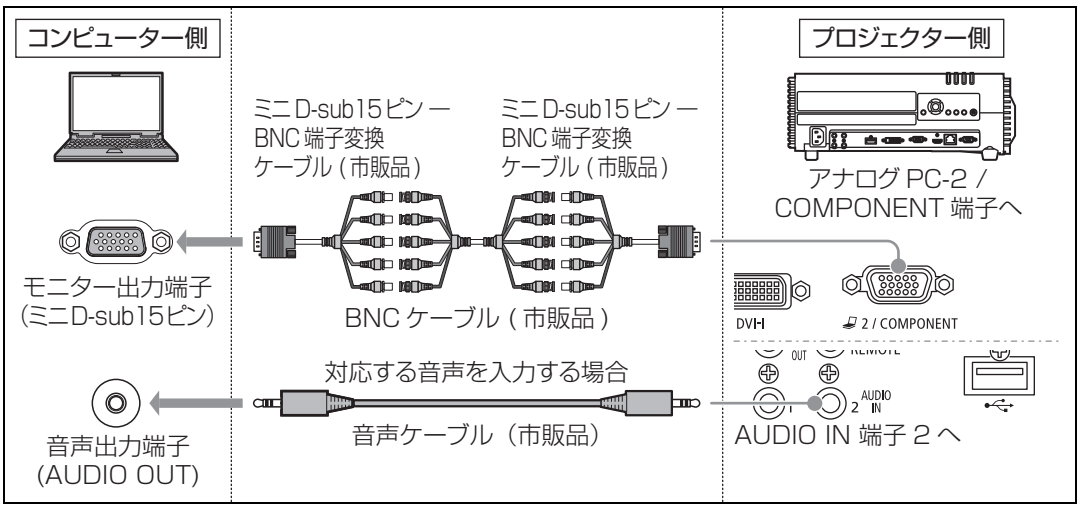


VGA-DVIケーブルで接続 (入力信号の種類 [アナログPC-1] P43)



- 全てのピンが結線された (全結線) VGA-DVI-I ケーブルを使用してください。全結線でないタイプでは、映像が正しく表示されない場合があります。
- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- 音声入力端子を音声入力端子選択画面 (P137) で切り換えることができます。

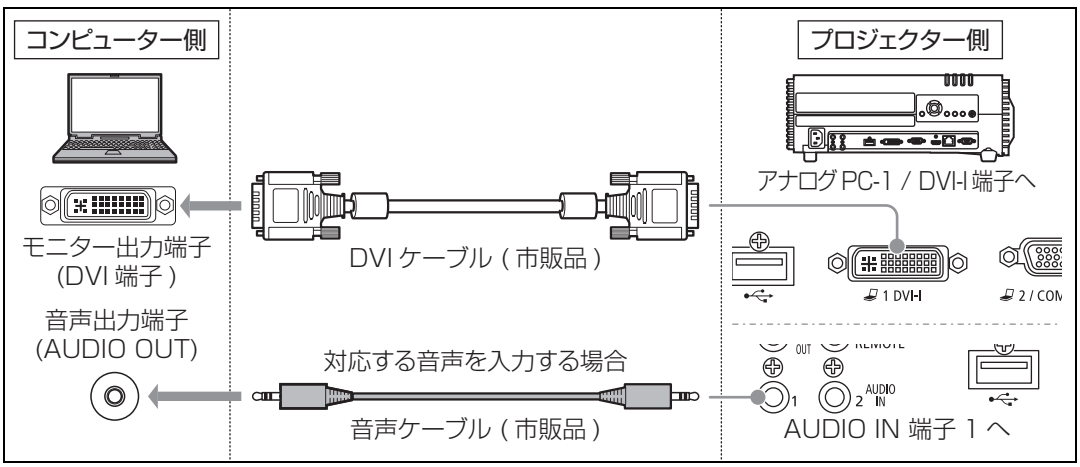
BNCケーブルで接続（入力信号の種類 ［アナログPC-2］P43）



- ドットクロックが 162MHz を越える信号は投写できません。
- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- 音声入力端子を音声入力端子選択画面 (P137) で切り換えることができます。

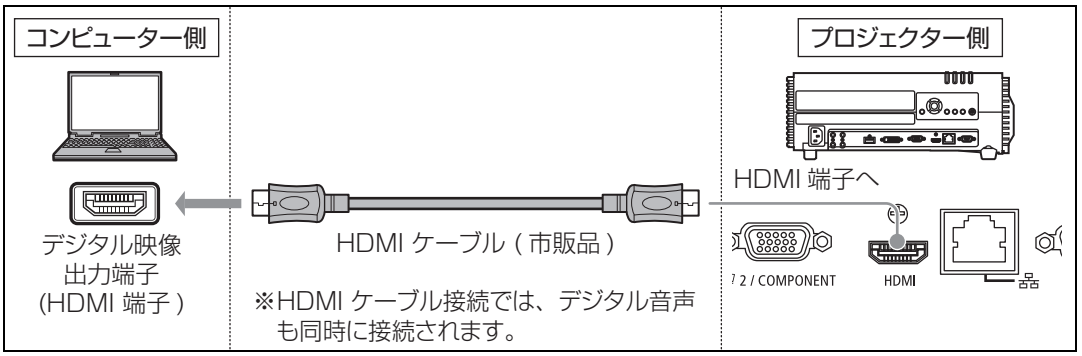
■ DVI モニター出力端子と接続（デジタル接続）

DVIケーブルで接続（入力信号の種類 ［デジタルPC］P43）



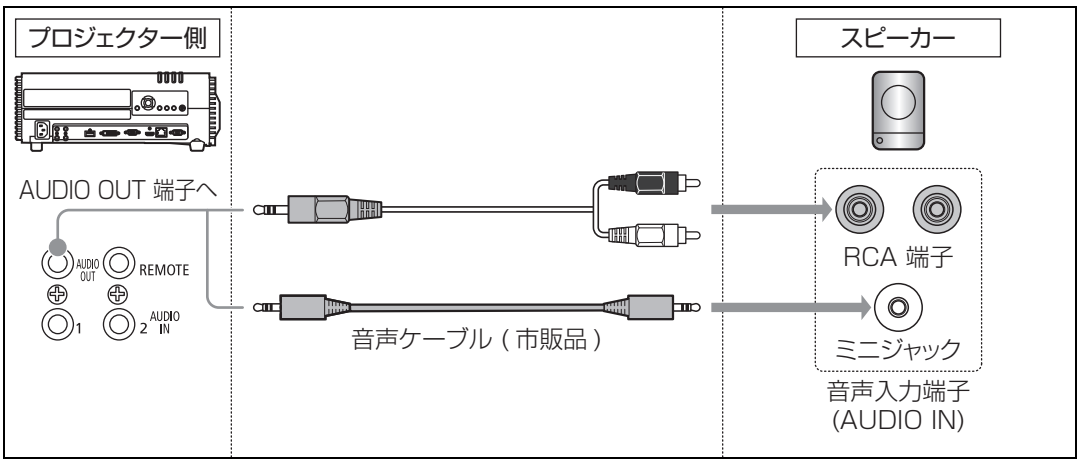
- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- 音声入力端子を音声入力端子選択画面 (P137) で切り換えることができます。

■ HDMI ケーブルで接続 (入力信号の種類［HDMI］P43)



■ 音声を外部に出力する

投写中の映像の音声をアンプ内蔵スピーカーに出力できます。



- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。

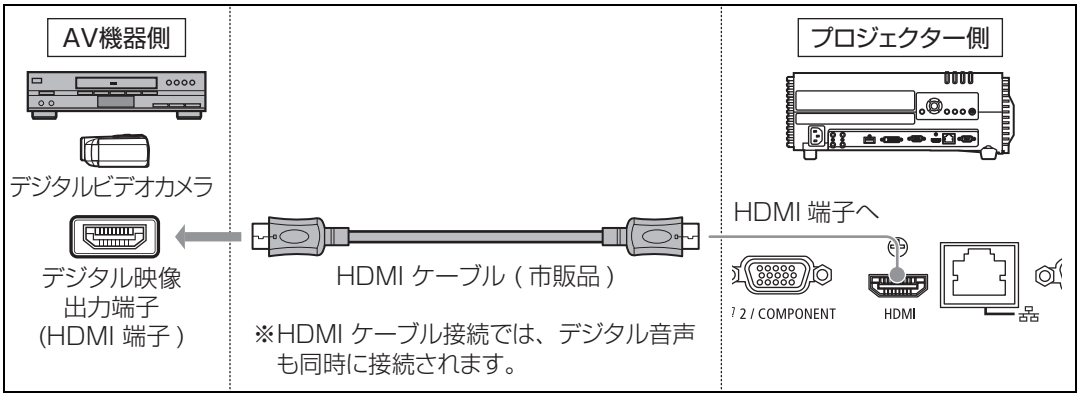
AV 機器を接続する

プロジェクターと、各種AV機器を接続します。
ここで説明する接続方法は一例です。詳しくは各 AV 機器の取扱説明書を参照してください。

注 意 **プロジェクターとAV機器の両方の電源を切ってから接続してください。**

■ デジタル映像出力端子と接続 （ デジタル接続 ）

HDMI ケーブルで接続 (入力信号の種類［HDMI］P43)

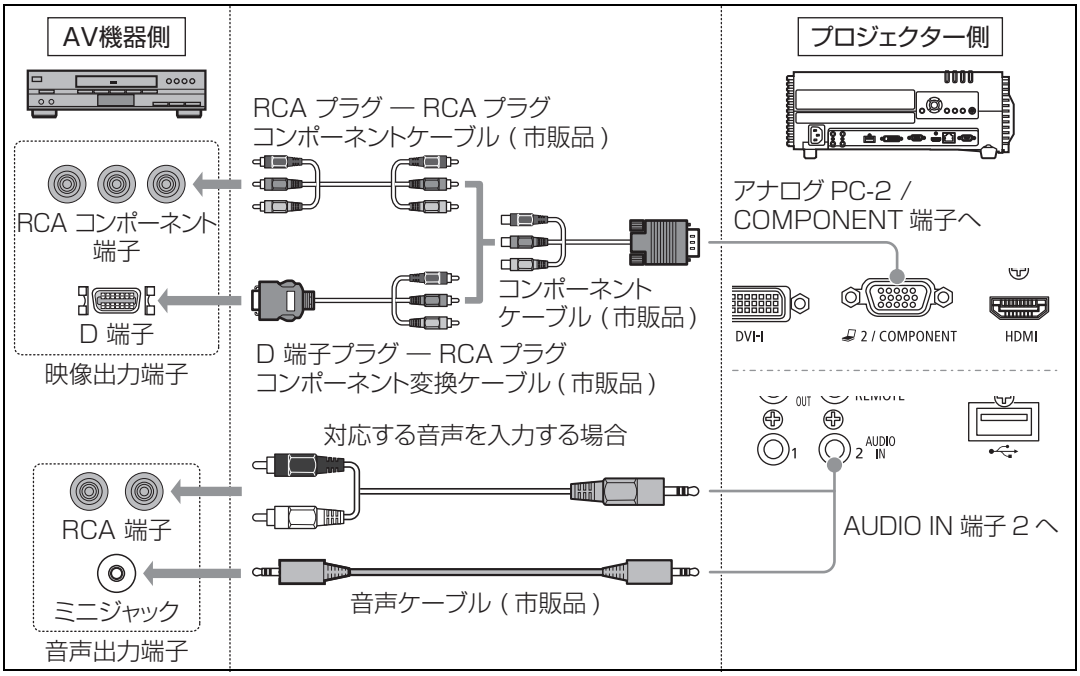


■ アナログ映像出力端子と接続 (アナログ接続)

コンポーネントケーブルで接続 (入力信号の種類 [コンポーネント] P43)

コンポーネントケーブルをプロジェクターの「COMPONENT 端子」に接続することで、AV機器のコンポーネント映像信号を入力することができます。

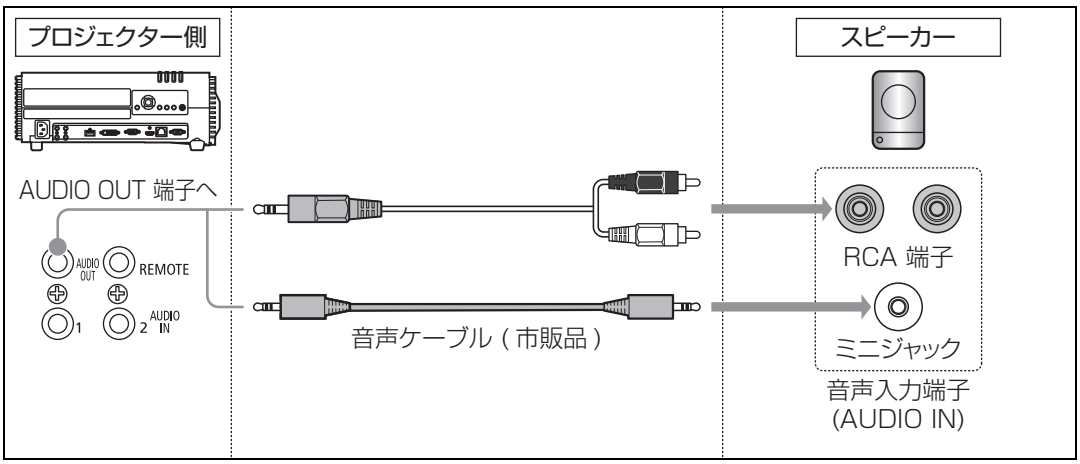
AV機器側の端子形状に合ったコンポーネントケーブル (市販品) で中継接続してください。



- 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- 音声入力端子を音声入力端子選択画面 (P137) で切り換えることができます。

■ 音声を外部に出力する

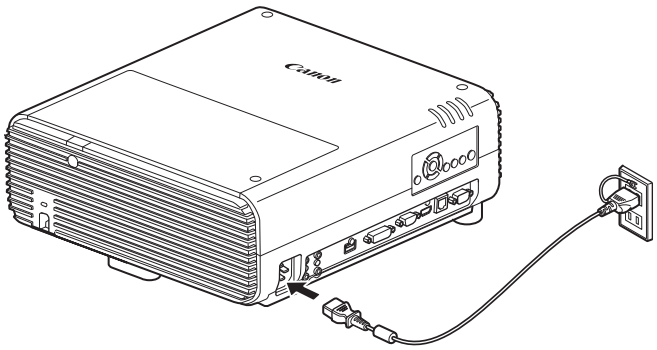
投写中の映像の音声をAV機器やアンプ内蔵スピーカーに出力できます。



音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。

電源コードを接続する

プロジェクターに電源コードを接続します。



警告 **電源プラグのアース端子を接続してください。アース端子を接続しないと、感電の原因となります。また、コンピューターの電波障害やテレビ・ラジオの受信障害となることがあります。**

- コネクターは奥までしっかりと差し込んでください。
- 電源を切った後に再度電源を入れる場合は、5 分以上経ってから電源を入れるようにしてください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因になります。

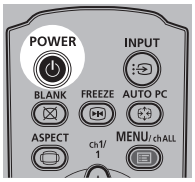
長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜いてください。

電源を入れる / 切る

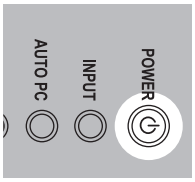
■ 電源を入れる

リモコンまたは本体の【POWER】ボタンを押します。
［POWER ON］インジケーター（緑）が点滅し、点灯に変わります。

リモコン



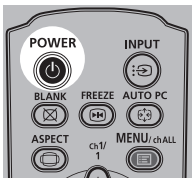
本体



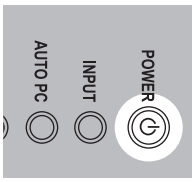
■ 電源を切る

リモコンまたは本体の【POWER】ボタンを２回押します。

リモコン



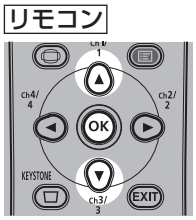
本体



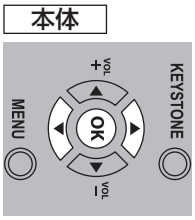
■ 言語を選ぶ画面が表示されたとき

ご購入後に初めて電源を入れたときは、メッセージやメニューの言語を選ぶ画面が表示されます。方向ボタンで言語を選び、【OK】ボタンを押してください。
なお、言語は後からメニューを使って変更することもできます。(P102)
ピントがずれていて言語を選ぶ画面が読めないときは、ピントを調整してください。(P49)

リモコン



本体





オレンジの項目が選ばれます

■ パスワード入力画面が表示されたとき

パスワードを設定しているときは、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力してください。(P102)

■「入力信号がありません」と表示されたとき

ノート型コンピューターの場合は、出力切り換えが必要です。(P129)
【INPUT】ボタンを押して入力信号を選びます。(P44)

■ ノート型コンピューターの画面が表示できないとき

ノート型コンピューターの画面を、外部モニターに出力できるよう切り換えます。詳しくは、次の「ノート型コンピューターの画面出力を切り換える」を参照してください。

■ 画面を調整するとき

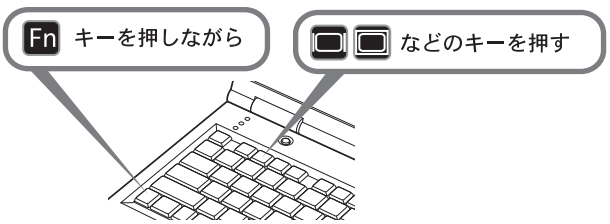
- コンピューター側の表示解像度を最大解像度、または最も近い解像度に設定してください。(P45)
- コンピューターの映像の表示のずれや画面のちらつきは、オートPC で調整してください。(P47)
- 投写画面のサイズはWUX450 / WX520では光学的なズーム (P47) 、WUX400ST / WX450STでは電子的なズーム (P133) で調整してください。
- ピント調整が不十分なときはフォーカスリングで調整してください。(P49)
- 台形ひずみの補正が不十分なときは【KEYSTONE】ボタンで調整してください。(P57)
- スクリーンの横縦比、入力信号の種類などに合わせて、スクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。(P50～56)
- 投写する映像の内容に合わせてイメージモード (画質) を選んでください。(P60)

ノート型コンピューターの画面出力を切り換える

ノート型コンピューターを使用する場合は、コンピューター側で画面出力の切り換えが必要です。
デスクトップ型コンピューターではこの操作は不要です。

■ 外部モニター切り換え操作

ノート型コンピューターの画面出力は、キーボード操作で外部モニターへ切り換えることができます。
一般的には、［Fn］キーを押しながら、外部モニターを表すアイコンや文字が表記されているファンクションキー (［F1］～［F12］) を押すと、外部モニターへ切り換わります。



- 機種により使用するファンクションキーや切り換え方法が異なります。ご使用のノート型コンピューターの取扱説明書を参照してください。
- Windows 7 では Windows ロゴキーを押しながら［P］キーを押すと、画面出力を切り換えることができます。

設置ロック機能を設定する

MENU >[設置設定]>**[設置ロック]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

設置に関連する機能の操作を禁止することができます。



切	設置ロックを使用しません。
入	設置関連の機能が使用できなくなります。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時設定は **【切】** です。
- 設置ロックの対象は、スクリーンアスペクト設定、キーストーン調整、デジタルイメージシフト調整、反転表示、プロフェッショナル設定です。

反転表示を設定する

MENU >[設置設定]>**[反転表示]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

天井から吊り下げて投写するときや、スクリーンの反対側から投写するときに選びます。

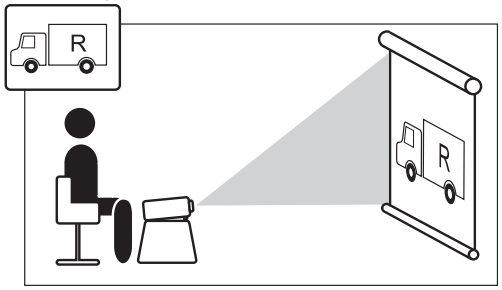


なし	通常の投写です。
天吊り	天井から逆さに吊り下げるときに選びます。 上下左右が反転します。
リア	スクリーンの裏から投写するときに選びます。 左右が反転します。
リア･天吊り	天井から逆さに吊り下げてリア投写するときに選びます。 上下が反転します。

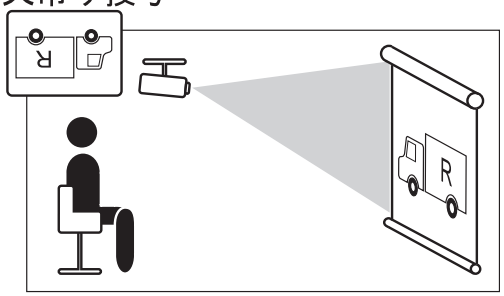
【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【なし】** です。

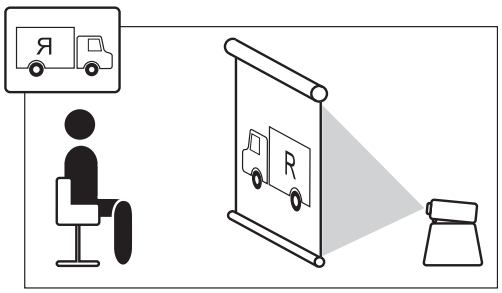
通常の投写（なし）



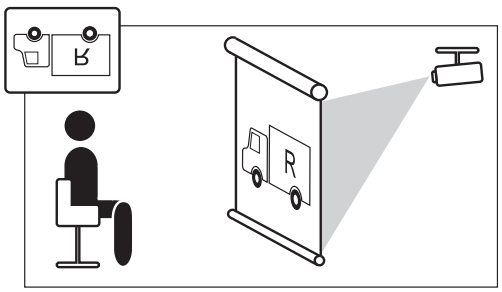
天吊り投写



リア投写



リア天吊り投写



- 天井から吊り下げるときは、オプションの天吊り金具を使用します。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- 映像の反転操作を行うと、台形ひずみの補正はリセットされます。

スクリーンアスペクトを設定する

MENU >[設置設定]>**[スクリーンアスペクト]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

投写するスクリーンの横縦比に応じて選びます。(P50)



16：10	スクリーンの横縦比が 16:10 のときに選びます。
16：9	スクリーンの横縦比が 16：9 のときに選びます。
4：3	スクリーンの横縦比が 4：3 のときに選びます。
16：9 Dイメージシフト	スクリーンの横縦比が 16：9 のときに選びます。 このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を上下方向に移動できます。 映像の移動方法は 52 ページを参照してください。
4：3 Dイメージシフト	スクリーンの横縦比が 4：3 のときに選びます。 このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を左右方向に移動できます。 映像の移動方法は 53 ページを参照してください。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

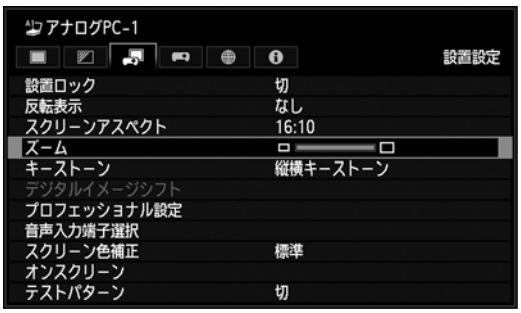
- 工場出荷時は、**【16：10】**です。
- スクリーンアスペクトを変更すると、キーストーン補正とデジタルイメージシフトはリセットされます。
- スクリーンアスペクトの種類によっては、アスペクトが自動的に［オート］に切り換わることがあります。

投写サイズを調整する (WUX400ST / WX450ST)

MENU >[設置設定]>**[ズーム]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

投写画面がスクリーンに入りきらない時に、映像を電子的に小さく表示することが出来ます。



リモコンの【◀】ボタンを押すと映像が縮小して投写され、【▶】ボタンを押すと拡大して投写します。100%～ 75%の間で投写することができます。

- 工場出荷時は、**100%**での投写です。

リモコンの D.ZOOM ボタンでは［ズーム］は使用できません。

- 以下の操作をしているときは、［ズーム］が使えません。
  - 縦横キーストーン（P57）で設定している
  - 2 画面表示時（P71）
- 4 点補正 (P58) 後に［ズーム］を使うと 4 点補正値が解除され、［ズーム］の設定値になります。［ズーム］で設定した後に、4 点補正で微調整してください。
- ［ズーム］で投写画面がスクリーンに入りきらない時は、4 点補正 (P58) を行なうと画角の微調整ができ、スクリーン内への投写ができます。

キーストーンを設定する

MENU >[設置設定]>**[キーストーン]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

キーストーン補正として、縦横キーストーンと 4 点補正のどちらを使用するかを設定します。また、キーストーン補正のリセットも行えます。キーストーン補正は、【KEYSTONE】ボタンを押すと実行できます。(P57)



縦横キーストーン	【KEYSTONE】ボタンを押したときに縦横キーストーン補正が実行されます。
4 点補正	【KEYSTONE】ボタンを押したときに 4 点補正が実行されます。
リセット	設定したキーストーンの値をリセットします。

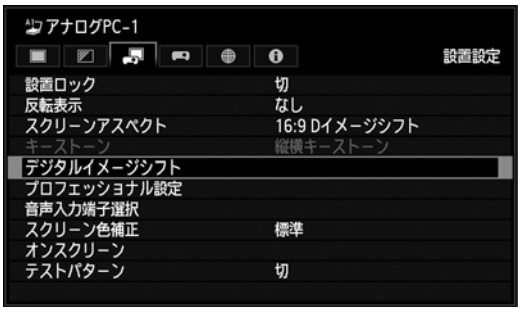
スクリーンアスペクトが 16:9 D イメージシフト、4:3 Dイメージシフトの場合、【KEYSTONE】ボタンを押してもキーストーン補正は実行されません。

デジタルイメージシフトを設定する

MENU >[設置設定]>[デジタルイメージシフト]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

表示している映像の位置を移動します。



【OK】ボタンか【▶】ボタンを押すと、Dイメージシフト調整画面が表示されます。



16:9 D イメージシフト時は【▲】【▼】ボタン、4:3 D イメージシフト時は【◀】【▶】ボタンで補正します。
補正が終わったら【OK】ボタンを押します。

- スクリーンアスペクトが 16:9、16:10、4:3 のときは選べません。
- スクリーンアスペクトが 16:9 D イメージシフトのときは垂直方向、4:3 D イメージシフトのときは水平方向の調整ができます。

マイクロデジタルイメージシフトを設定する

MENU >[設置設定]>[プロフェッショナル設定]>**[マイクロデジタルイメージシフト]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

デジタルイメージシフトの微調整を行います。



切	マイクロデジタルイメージシフトを行いません。
調整	マイクロデジタルイメージシフトを行います。  【▲】【▼】ボタンで垂直方向のシフトを行います。 【◀】【▶】ボタンで水平方向のシフトを行います。補正が終わったら【OK】ボタンを押します。

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【切】**です。
- [調整]を選ぶと、マイクロデジタルイメージシフトを調整できます。

レジストレーションを調整する

MENU >[設置設定]>[プロフェッショナル設定]>**[レジストレーション]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

色ずれを調整します。緑を基準とし、赤と青の色ずれを別々に調整できます。



切	レジストレーションを行いません。
調整	レジストレーションを行います。  設定が終わったら【OK】ボタンを押します。

設定が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【切】**です。
- [赤]または[青]を選ぶと、レジストレーションを調整できます。

ファンモードを設定する

MENU >[設置設定]>[プロフェッショナル設定]>**[ファンモード]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

冷却用のファンの動作を、低地の場合と、標高2,300mを超える高地の場合とで切り換え、適切に冷却できるようにします。



標準	標高 2,300m 未満で使用する場合の設定です。
高地	標高 2,300m 以上で使用する場合の設定です。

設定が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【標準】**です。

⚠ 設定をまちがえると、ランプの寿命や他の部品の寿命が縮まる可能性があります。

直立投写を設定する

MENU >[設置設定]>[プロフェッショナル設定]>**[直立投写]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

冷却用のファンの動作を、上向きで使用する場合と、下向きで使用する場合とで切り換え、適切に冷却できるようにします。



切	ファンの動作を変更しません。
上向き	本機を上向きにして使用する場合の設定です。
下向き	本機を下向きで使用する場合の設定です。

設定が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【切】**です。

⚠ この設定を行っても、水平投写に比較してランプの寿命や他の部品の寿命が縮まります。

音声入力端子を選択する

MENU >[設置設定]>**[音声入力端子選択]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

HDMI、デジタル PC、アナログ PC-1、アナログ PC-2、コンポーネントの各入力信号ごとに使用する音声入力端子を選択することができます。



切	音声出力を行いません。
オーディオ イン 1	AUDIO IN 端子♪ 1 から入力される音声信号を出力します。
オーディオ イン 2	AUDIO IN 端子♪ 2 から入力される音声信号を出力します。
HDMI	HDMI の音声信号を出力します。(HDMI の場合のみ)

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時設定は以下のとおりです。
  HDMI **[HDMI]**
  デジタル PC **[オーディオ イン 1]**
  アナログ PC-1 **[オーディオ イン 1]**
  アナログ PC-2 **[オーディオ イン 2]**
  コンポーネント **[オーディオ イン 2]**

スクリーンを色補正する

MENU >[設置設定]>**[スクリーン色補正]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

投写するスクリーンの色に応じて、投写する映像の色味を調整できます。



標準	標準的なスクリーンのときに選びます。自然光に近い色調で投写します。
黒板	黒板 (濃緑色) をスクリーンにするときに選びます。黒板上でも［標準］に近い色味になります。
調整	細かく調整するときに選びます。 下の別画面が表示されます。  【▲】【▼】ボタンで色を選びます。 【▶】選んだ色を濃くします。 【◀】選んだ色を薄くします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **[標準]** です。

メニューの表示位置を設定する

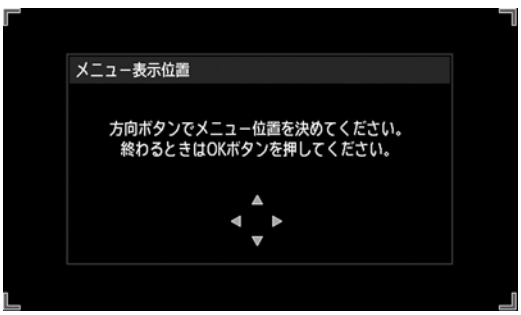
MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>**[メニュー表示位置]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

メニュー表示位置を変えることができます。



【▲】【◀】【▼】【▶】ボタンでメニューの位置を移動します。



位置が決まったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

ガイド画面の表示 / 非表示を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>**[ガイド]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

操作を説明するガイド画面の表示 / 非表示が選べます。



切	ガイド画面を表示しません。
入	ガイド画面を表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【入】**です。
- ガイド画面は次のときに表示されます。
  - 入力信号が確認できないとき。(P129)
  - [BLANK]、[FREEZE]、[D.ZOOM] 時に無効なボタンが押されたとき。 (P66、P68)
  - 設置ロック (P130) が［入］に設定されているとき
  - 電源が ON のときに、再度【POWER】ボタンを押したとき

入力状態の表示 / 非表示を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>**[入力状態表示]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

無信号時や信号設定時に入力信号の状態を画面に表示するかどうかを選べます。



切	入力状態を表示しません。
入	入力状態を表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【入】**です。

高温注意の表示 / 非表示を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>**[高温注意表示]**

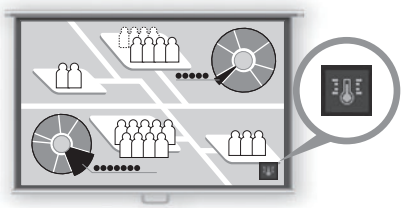
○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

本機内部の温度が上がって異常温度に近づいたときに、「高温注意」アイコンを表示するかどうかを設定できます。



切	「高温注意」アイコンを表示しません。
入	「高温注意」アイコンを表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。
［入］に設定し、本機の内部の温度が異常になると、以下の「高温注意」アイコンが表示されます。



スクリーン

- 工場出荷時は**【切】**です。

メニューの表示時間を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>
[メニュー表示時間]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

通常は10秒または30秒のメニュー表示時間を3 分に延長できます。



標準	表示時間は 10 秒または 30 秒です。
延長	表示時間は 3 分です。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【標準】** です。
- 次の表示や動作も変わります。

項目	[標準]	[延長]
次の画面の表示時間 -MENU 画面	30 秒	3 分
-インプット (P44) -キーストーン調整 (P57) -キーストーンリセット (P59) -D イメージシフト調整 (P52、P53) -D イメージシフトリセット (P54) -アスペクト (P56) -イメージモード (P60) -音量の調整 (P67) -ガンマ補正 (P89)	10 秒	3 分

ランプ交換警告の表示 / 非表示を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>
[ランプ交換警告表示]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

ランプの使用時間が所定の時間に達した場合に、交換を促す警告を表示させることができます。



入	ランプ準備のメッセージとランプ交換警告を画面に表示します。
切	ランプ準備のメッセージとランプ交換警告を画面に表示しません。 **ランプ交換時期に達したときは本体の LAMP インジケータが点滅します。この時はランプ交換（182 ページ）をお勧めします。**

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【入】** です。

フィルター清掃警告の表示 / 非表示を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>
[エアフィルター清掃警告表示]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

エアフィルターの清掃が必要な場合に、清掃を促す警告を表示させることができます。



切	エアフィルター清掃警告を表示しません。
入	エアフィルター清掃警告を表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【入】**です。

2 画面 ID の表示 / 非表示を設定する

MENU >[設置設定]>[オンスクリーン]>
[二画面 ID 表示]

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

2 画面表示時に、「1」または「2」の数字 (2 画面 ID) を表示するかどうかを設定します。画面IDの表示を[切]にした場合でも、操作権を表す四隅のマーカーは表示されます。



切	画面 ID を表示しません。
入	画面 ID を表示します。

調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【入】**です。

テストパターンの表示 / 非表示を設定する

MENU >[設置設定]>**[テストパターン]**

○ HDMI	○ コンポーネント	○ LAN
○ デジタル PC	○ アナログ PC	○ USB

映像信号入力を接続しなくてもテストパターン (P269) を投写することができます。本機の設置時に解像度や色の確認をすることができます。



切	テストパターンを表示しません。
入	テストパターンを表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

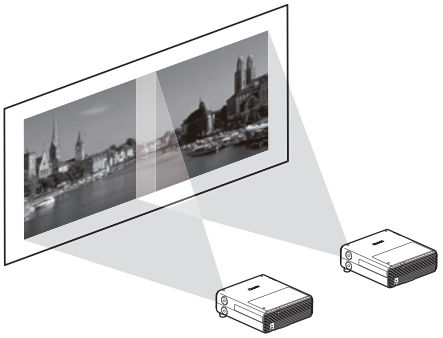
- 工場出荷時は**【切】**です。
- テストパターン表示中は、【▲】【▼】ボタンで他のテストパターンに切り換えることができます。また、テストパターンにオプションの設定がある場合は、【◀】【▶】ボタンで設定を変更できます。(P269)
- リモコンの【TEST PATTERN】ボタンでもテストパターンの表示、終了が行えます。

複数台のプロジェクターを並べて投写する (エッジブレンディング)

MENU >[設置設定]>[プロフェッショナル設定]>
[エッジブレンディング]

○ HDMI ○ コンポーネント ○ LAN
○ デジタル PC ○ アナログ PC ○ USB

複数台のプロジェクターを並べて投写するとき、各プロジェクターから投写される映像の重なった部分の明るさを調整して目立たなくし、投写します。



■ 基本的な使いかた

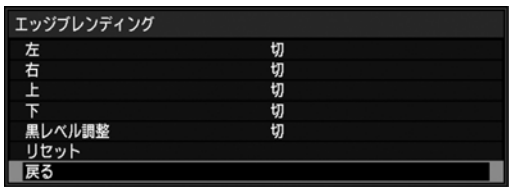
2台のプロジェクターを左右に並べて投写する場合について説明します。

1 **[設置設定] メニューから [プロフェッショナル設定]、[エッジブレンディング] の順に選びます。**

2 **[調整] を選びます。**



エッジブレンディング画面が表示されます。



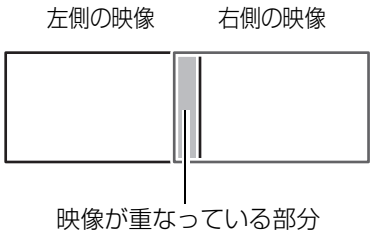
ここでは、エッジブレンディングメニューの以下の項目を使用します。

切				重なり部分の調整を行いません。
調整				重なり部分の調整を行うメニューを表示します。
	左、右、上、下			
		切		調整せずに投写します。
		調整 マーカー	切	マーカーを表示しません。
			入	調整する範囲のマーカー (開始 (赤線) と終端 (緑線)) を表示します。
		開始位置		開始マーカーを移動させます。
		幅		開始マーカーから終端マーカーまでの幅を指定します。
		リセット		マーカーの設定をリセットする。
	黒レベル調整			重なっていない部分の黒レベルを調整します。(P145)
	リセット			調整結果をリセットします。

- すでにエッジブレンディングの設定を行っている場合、[調整] を選んだときに機能します。
- 調整を初めから行う場合は、[リセット] を選んでください。

3 映像が重なっている位置を選びます。

左側の映像を調整する場合、映像が重なっている部分は右側となります。エッジブレンディング画面の［右］から［調整］を選びます。





4 ［マーカー］を［入］にします。

映像に赤 (調整の開始位置を示す開始マーカー) と緑 (調整の終端位置を示す終端マーカー) の線 (マーカー) が表示されます。



初期状態では緑と赤のマーカーが重なり、赤の線しか見えません。

5 ［開始位置］を選び、リモコンの【◀】【▶】ボタンで映像が重なっている右端にマーカーを移動します。

6 ［幅］を選び、リモコンの【◀】【▶】ボタンで映像が重なっている部分にマーカーを移動します。

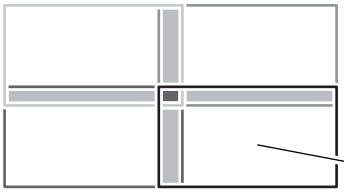
開始マーカーと終端マーカーの間をブレンディング領域と呼びます。この領域が他の部分と自動的に同じ明るさに調整されます。左側の映像の設定が終わったら、右側の映像も同様に映像の左側にブレンディング領域を設定してください。その際、左右の映像のブレンディング領域が同じになるよう調整してください。

重なり部分を大きく設定すると、入力信号選択ダイアログや入力状態表示ダイアログなどが隠れてしまう場合があります。このような場合は、一時的にエッジブレンディングを［調整］から［切］に設定して表示を確認後、再度［調整］へ戻してください。

開始マーカーは通常、映像の端部に合わせますが、内側に動かすこともできます。そのとき、開始マーカーの外側は黒映像と同じになります。

7 ［マーカー］を［切］にします。

4台のプロジェクターの映像をつなげて投写する場合

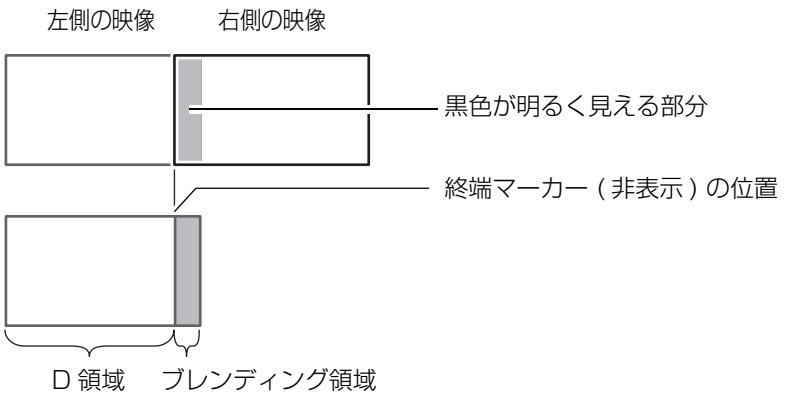


左図のように 4 台のプロジェクターで投写した映像をつなげることもできます。
それぞれの映像で重なっている部分をブレンディング領域に設定してください。

例）右下の映像にブレンディング領域を設定する場合、映像が重なる「上」と「左」にブレンディング領域を設定します。
同様に他の 3 つの映像も設定してください。

■ 高度な使いかた (黒レベルを合わせる)

映像を重ねて投写すると、重なった部分の黒色が他の部分よりも明るく投写されます。そのため、暗い映像を投写したときなどは、目立つことがあります。重なっていない部分の黒レベルを調整することで、重なり部分を目立たなくすることができます。



映像の重なっていない終端マーカーの内側部分をD領域と呼び、調整します。
本来は終端マーカーから順にA、B、Cの領域があります。
ここでは、A、B、Cの幅を初期値の0にしたまま、D領域のみを調整する場合について説明します。

- 調整を行う前に［無信号時画面］を［黒］に設定し、入力信号のない映像を投写した状態で照明を消すなどして、黒色の画像が確認できるようにしてください。(P96)
- ［マーカー］は［切］にしてください。

1 「基本的な使いかた」(P143) の手順2のエッジブレンディング画面で、［黒レベル調整］、［調整］の順に選びます。

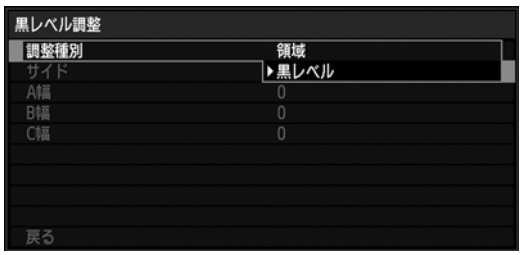


黒レベル調整画面が表示されます。

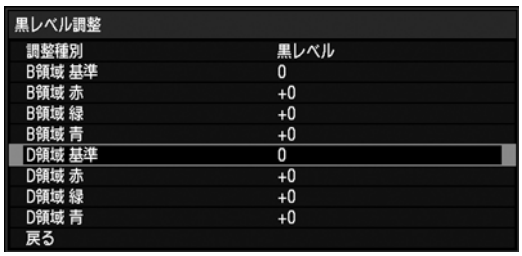
ここでは、エッジブレンディングメニューの以下の項目を使用します。

黒レベル調整	映像が重なっていない部分の黒色の調整をします。		
	切		
	調整		
		調整種別　黒レベル	
			D 領域基準D 領域の黒レベルを調整します。
			D 領域赤　D 領域の黒レベル (赤) を調整します。
			D 領域緑　D 領域の黒レベル (緑) を調整します。
			D 領域青　D 領域の黒レベル (青) を調整します。

2 [調整種別]、[黒レベル] の順に選びます。



3 [D領域 基準] を選び、リモコンの【◀】【▶】ボタンでD領域の値を調整します。

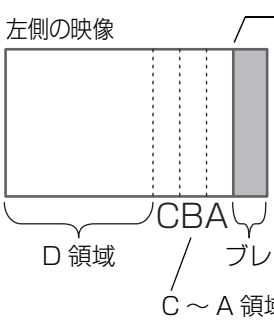


投写映像を見ながらブレンディング領域と D 領域の明るさと色が同じになるように調整します。[D 領域 基準] で黒レベルの明るさ、[赤]、[緑]、[青] で黒レベルの色味を調整します。

4 すべてのプロジェクターについて同様の調整を行います。

■ 高度な使いかた（つなぎ目をよりなめらかにする）

A、B、Cの領域を調整することでD領域の右端（ブレンディング領域に接する部分）の黒レベルが周囲と違って見えることがあります。
各領域では、以下のような調整をします。

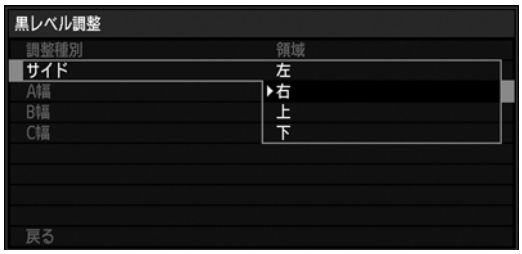


A 領域：黒レベルの調整はできません。
B 領域：D 領域とは別に黒レベルを調整します。
C 領域：B 領域と D 領域の黒レベルを滑らかにつなげます。

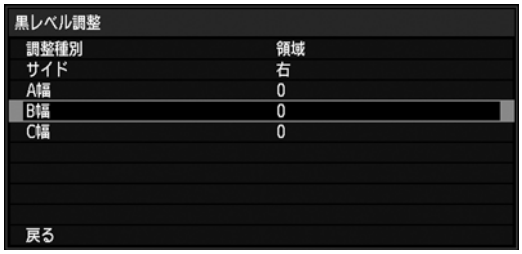
黒レベル調整	投写が重なっていない部分の黒色の調整をします。				
	切				
	調整				
		調整種別			
			領域		
				サイド	調整の対象となる画面位置（左右上下）を選びます。
				A 幅	A 領域の幅を調整します。
				B 幅	B 領域の幅を調整します。
				C 幅	C 領域の幅を調整します。

ブレンディング領域が投写映像に対して複数（上下左右方向）表示される場合、A、B、Cの領域の幅をそれぞれに設定する必要があります。
ここでは、B領域を調整する方法を説明します。

1 **「高度な使いかた（黒レベルを合わせる）」（P145）の手順2の画面で、［調整種別］の［領域］を選び、［サイド］、［右］の順に選びます。**



2 **[B 幅] を選び、リモコンの【◀】【▶】ボタンで B 領域の幅を設定します。**
D 領域の幅が狭くなります。



3 **B領域の幅を黒レベルが違って見える部分に大まかにあわせ、エッジブレンディングメニューの以下の項目を使用してB領域の幅の黒レベルを調整します。**
B 領域の黒レベルの調整方法は D 領域の調整方法と同じです。

黒レベル		
	B 領域基準	B 領域の黒レベルを調整します。
	B 領域赤	B 領域の黒レベル (赤) を調整します。
	B 領域緑	B 領域の黒レベル (緑) を調整します。
	B 領域青	B 領域の黒レベル (青) を調整します。

調整の方法については、「高度な使いかた (黒レベルを合わせる)」（P145）の手順 3 をご覧ください。

B 領域の黒レベル調整の結果は上下左右、すべてのサイドに反映されます。

4 **B領域の位置と幅を微調整します。**

5 **A、B、Cの領域の幅を映像を見ながら調整してください。**

6 **必要に応じてB領域の黒レベルを再調整します。**

7 **調整が終わったら【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。**

- 工場出荷時は **【切】** です。

［コントラスト］や［スクリーン色補正］などの調整を行っても、画像の重なり部分に色つきや輝度差が残る場合があります。

- 各プロジェクターのレンズシフトの位置、イメージモード (最適なイメージモードは[sRGB]) をそろえると、調整がしやすくなります。
- 以下の調整を行うと、重なり部分の調整の効果を高めることができます。
  ①赤 / 緑 / 青ゲイン、赤 / 緑 / 青オフセットによる黒レベル、白レベル、白色度調整 (P89)
  ②詳細なガンマを用いたガンマ調整 (P93)
  ③ 6 軸色調整を用いた色調整 (P92)
- 画像の重なり部分の色つきや輝度差が目立つ場合、［コントラスト］などの画質調整メニューや［スクリーン色補正］で、映像を暗く調整することで、色つきや輝度差を軽減できる場合があります。

ネットワークに接続して使用する

目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
NMPJ編
ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要
各モードでの操作
共通の機能
付録
その他の情報
索引

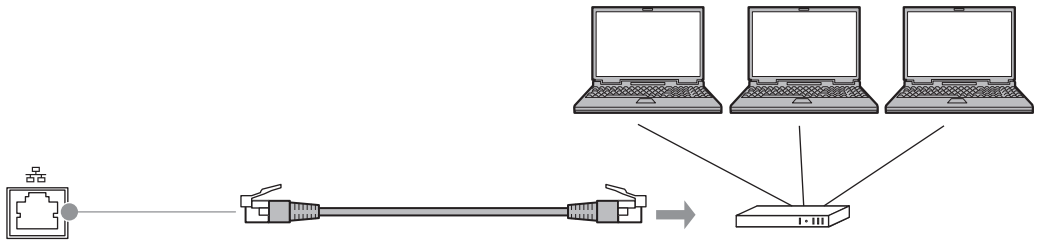
ネットワーク接続の概要

本機 (プロジェクター) をネットワークに接続することで、プロジェクターのエラー通知メールをコンピューターで受信したり、コンピューターからプロジェクターを制御したりすることができます。ネットワーク接続に関する設定は、プロジェクター側 (P151) とコンピューター側 (P159) のどちらからでも行えます。
ネットワークへの接続方法により、コンピューター側で準備が必要になる場合があります。以下では、コンピューター側の準備について説明します。

1 台または複数のコンピューターの映像をネットワーク経由で本機 (1 台または複数) で投写する、ネットワーク・マルチ・プロジェクション機能については「ネットワーク・マルチ・プロジェクション編」を参照してください。

接続方法について

LANを経由して、プロジェクターとコンピューターを接続します。



- プロジェクターの[ネットワーク機能]の設定が[切] (ネットワーク接続が無効) になっている場合は、[入]に変更して有効にしてください (P153) 。
- 「情報を確認する (インフォメーション)」 (P108) を参照して、プロジェクターのIPアドレスが、LAN上にある他のコンピューターなどと重複していないことを確認してください。プロジェクターのIPアドレスを設定する場合は、「コンピューターでの設定」 (P159) の手順に従ってウェブ画面で行うか、プロジェクターのTCP / IP設定機能 (P156) を使用して行います。
- 新しくネットワークにコンピューターを接続する場合は、コンピューターの設定も行う必要があります。この場合は、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

接続するネットワーク環境で DHCP サーバーが稼動している場合は、プロジェクターの [DHCP] 画面で [入] を選択し、DHCP 機能を有効にして接続することができます (P155) 。

プロジェクターのメニュー画面の［ネットワーク設定］タブでネットワークの設定を行うことができます。メニューの操作については「メニューの使いかた」(P74) を参照してください。

ネットワーク設定変更のロック/ロック解除を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワーク設定変更]**

ネットワーク設定が変更できないようロックしたり、ロックを解除したりします。



ロック解除	ロックを解除し、他のネットワーク設定項目を変更できるようにします。ロック解除にはパスワードの入力が必要です。 ［ロック解除］を選択すると、次の画面が表示されるので、**【▲】【▼】【◀】【▶】**ボタンを使い、4桁のネットワークパスワードを入力します。



ロック	ロックします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押して画面を閉じると、再びロックされます。ネットワーク設定を行う場合は、画面を閉じずに操作を続けてください。

- 工場出荷時は**【ロック】**です。
- ネットワークパスワードの工場出荷時は**【▲】【▲】【▲】【▲】**です。

ネットワークのロックを強制解除するには

「ネットワークパスワード入力」画面で**【▲】【OK】【▶】【OK】【▼】【OK】**の順にボタンを押すと、ロックが解除されます。これによりネットワークパスワードは**【▲】【▲】【▲】【▲】**に初期化されます。

ネットワークパスワードの入 / 切を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワークパスワード設定]**

プロジェクターのネットワーク設定を変更する際にパスワードを必要とするかどうかを切り換えます。



切	ネットワークパスワードを使用しません。
入	ネットワークパスワードを使用します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【入】**です。

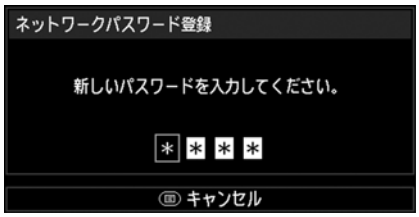
ネットワークパスワードを登録する

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワークパスワード登録]**

プロジェクターのネットワークパスワードを登録します。



選択すると、次の画面が表示されます。
パスワードは４桁で入力します。
リモコンの【▼】【▲】【◀】【▶】ボタンの組み合わせで設定します。



【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- パスワードを忘れた場合は、【▲】【OK】【▶】【OK】【▼】【OK】を押すとパスワードを工場出荷時の設定に戻すことができます。

ネットワーク機能 (有線) の入 / 切を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワーク機能 (有線)]**

プロジェクターのネットワーク機能の入 / 切を切り換えます。[切]にすると、消費電力を抑えることができます。



切	ネットワーク機能を無効にします。
入	ネットワーク機能を有効にします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【切】** です。

待機時の電力を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワーク待機設定]**

スタンバイ時のネットワーク機能の動作状態を設定します。



通常	スタンバイ時も、ウェブ設定、LAN 経由の操作、PJLink などすべてのネットワーク機能が動作します。
省電力	スタンバイ時も、すべてのネットワーク機能が動作します。 ただし、機能によっては、最初に使用したときの反応時間が、通常と比べて長くなるものがあります。

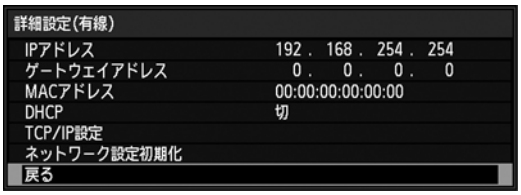
【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【省電力】** です。
- ［省電力］を選んだ場合、機能によってはネットワークでのアクセスに時間がかかるものがあります。アクセスを速くしたい場合は、［通常］を選択してください。
- ネットワーク機能［入］のを選んだ場合、ネットワーク待機設定の通常 / 省電力で消費電力が変わります。

IP アドレスを表示する

MENU >[ネットワーク設定]>[詳細設定（有線）]
>**[IP アドレス]**

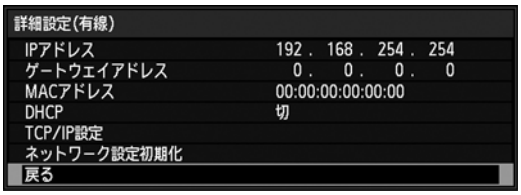
本機のIP アドレスを表示します。
表示のみ可能で、設定の変更はできません。
設定の変更はDHCPもしくはTCP/IP設定から行います。



ゲートウェイアドレスを表示する

MENU >[ネットワーク設定]>[詳細設定（有線）]
>**[ゲートウェイアドレス]**

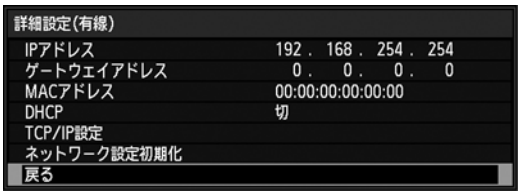
本機のゲートウェイアドレスを表示します。
表示のみ可能で、設定の変更はできません。



MACアドレスを表示する

MENU >[ネットワーク設定]>[詳細設定（有線）]>**[MACアドレス]**

本機のMACアドレスを表示します。
表示のみ可能で、設定の変更はできません。



DHCPの入 / 切を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>[詳細設定（有線）]>**[DHCP]**

プロジェクターのDHCP機能の入 / 切を切り換えます。



切	DHCP機能を無効にします。TCP / IPの設定が可能になります。
入	DHCP機能を有効にします。DHCPサーバーが探索されます。IPアドレスはDHCPサーバーから取得されるため、TCP / IP設定の各項目（IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の入力は不要になります。

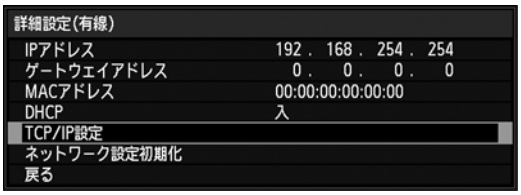
【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は**【切】**です。

TCP / IP を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>[詳細設定 (有線)]
>**[TCP/IP 設定]**

プロジェクターの TCP/IP の設定を行います。



選択すると、次の画面が表示されるので、【▲】【▼】ボタンで IP アドレスを選択し、【OK】ボタンを押します。次に【◀】【▶】ボタンで桁を選択し、【▲】【▼】ボタンで値を変更してください。
【OK】ボタンを押し、同様にサブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値を変更します。最後に［確定］を選択します。



- 工場出荷時は以下の通りです。
  IP アドレス 192.168.254.254
  サブネットマスク 255.255.255.0
  ゲートウェイアドレス 0.0.0.0
- ［DHCP］(P155) が［入］の場合は設定できません。
- 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。

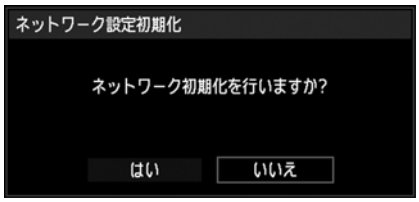
ネットワーク設定を初期化する

MENU >[ネットワーク設定]>[詳細設定 (有線)]
>**[ネットワーク設定初期化]**

プロジェクターのネットワーク設定を初期化します。



選択すると、次の画面が表示されるので、［はい］を選択し、【OK】ボタンを押します。



- 初期化されるのは以下の項目です。
  - ウェブログイン時のネットワーク設定画面のユーザー名、パスワードを含む各種設定
  - ネットワークパスワード設定
  - ネットワーク機能 (有線)
  - ネットワーク待機設定
  - ネットワークパスワード登録
  - PJLink
  - DHCP
  - IP アドレス
  - サブネットマスク
  - ゲートウェイアドレス
  - メール送信元アドレス
  - メール送信先アドレス
  - プロジェクター名
  - ロケーション
  - AMX Device Discovery 設定
  - Crestron RoomView 設定

PJLink を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[PJLink]**

プロジェクターの PJLink 機能の入 / 切を切り換えます。[入]にすると、LAN 経由で PJLink 規格にそったコマンドによる制御が行えます。



切	PJLink 機能を無効にします。
入	PJLink 機能を有効にします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。

- 工場出荷時は **【入】** です。
- このプロジェクターは JBMIA (Japan Business Machine and Information System Industries Association：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会) の PJLink 標準定義の Class1 に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を検証しています。
- PJLink の利用については「PJLink を設定する」(P171) を参照してください。

PJLink とは

2003 年 9 月、データプロジェクター部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第 1 期の活動において、プロジェクターの新たなインターフェース仕様として PJLink が規定されました。
PJLink はプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。
メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラーからの操作を実現します。
今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザーの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1：プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化
基本的なプロジェクター制御：電源制御、入力切り換えなど
プロジェクターの各種情報・状態を取得：電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMIA：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
1960 年に発足した日本事務機械工業会が、2002 年 4 月 1 日より改称した団体です。

PJLink サイト URL
http://pjlink.jbmia.or.jp

PJLink™
PJLink は JBMIA の登録商標です。

AMX Device Discoveryの使用を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[AMX Device Discovery]**

ネットワーク環境で、AMX 社の AMX Device Discovery による検出をするときに設定します。ネットワーク環境に AMX Device Discovery がないときは、[切]を選びます。



切	AMX Device Discovery を無効にします。
入	AMX Device Discovery を有効にします。ネットワーク経由で定期的に AMX ビーコンパケットがプロジェクターから発行されます。

- 工場出荷時は **【切】** です。

AMX Device Discovery の詳細については AMX 社の Web ページを参照してください。
http://www.amx.com/

Crestron RoomViewの使用を設定する

MENU >[ネットワーク設定]>**[Crestron RoomView]**

Crestron RoomView とは、ネットワークに接続している複数のプロジェクターを遠隔から操作してシステムの診断や、ランプ寿命の把握、電源ON / OFFなどを、一括に管理できるシステムです。Crestron RoomView を使用するかどうかを設定します。



切	Crestron RoomView を使用しません。
入	Crestron RoomView を使用します。RoomView 用ポートが開き、CIP パケット応答を行います。これにより RoomView Express/Server アプリケーション、または Crestron Controller 経由での通信が可能になります。(P171)

- 工場出荷時は **【切】** です。

Crestron RoomView の詳細については Crestron® 社の Web ページを参照してください。
http://www.crestron.com/

IP アドレスを設定する

コンピューターのIPアドレスを設定する方法をOSごとに説明します。

■ Windows 7 の場合

1 コンピューターの［スタート］メニューで［コントロールパネル］を開きます。

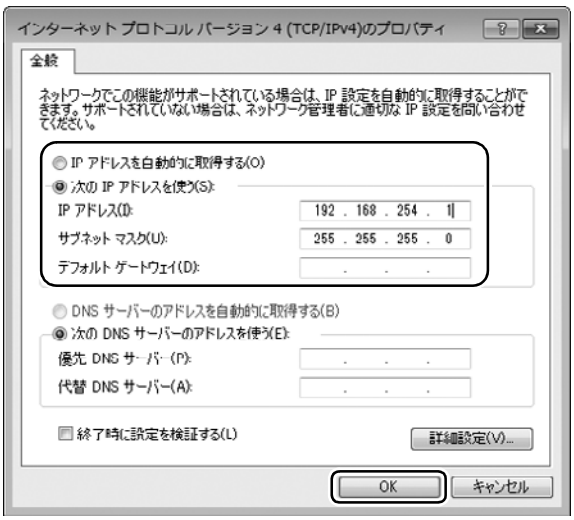
2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

3 ウィンドウの左側のメニューにある［アダプターの設定の変更］をクリックします。

4 ［ローカルエリア接続］を右クリックして［プロパティ］を開きます。

5 ［インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) ］を選んで［プロパティ］ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定 (IPアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイ等) をメモしておきます。

6 ［次のIP アドレスを使う］を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
<例>
IPアドレス：192.168.254.1
サブネットマスク：255.255.255.0



7 設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし、［ローカルエリア接続］のプロパティ画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。

■ Windows Vista の場合

1 コンピューターの［スタート］メニューで［コントロールパネル］を開きます。

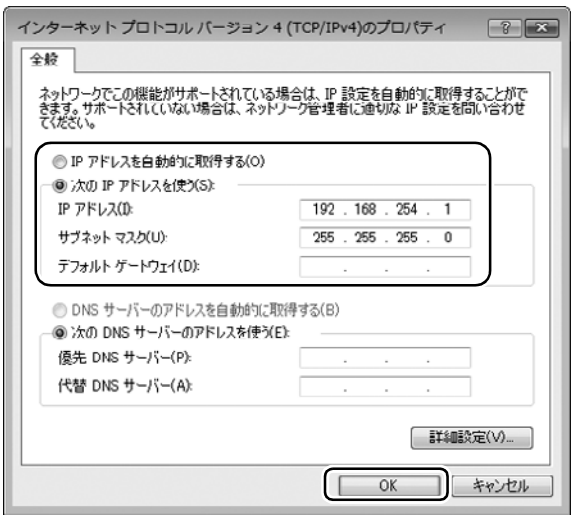
2 ［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

3 ウィンドウの左側のメニューにある［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

4 ［ローカルエリア接続］を右クリックして［プロパティ］を開きます。

5 ［インターネット プロトコル バージョン　4 (TCP/IPv4) ］を選んで［プロパティ］ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定 (IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイ等) をメモしておきます。

6 ［次のIPアドレスを使う］を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
＜例＞
IPアドレス：192.168.254.1
サブネットマスク：255.255.255.0



7 設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし、［ローカルエリア接続］のプロパティ画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。

■ Windows XP の場合

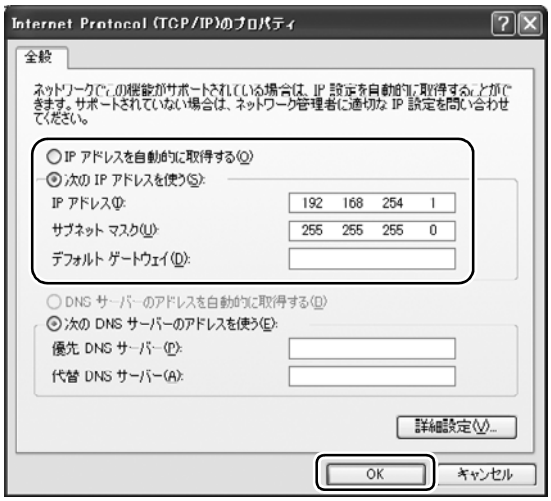
1 コンピューターの［スタート］メニューで［コントロールパネル］を開きます。

2 ［ネットワークとインターネット接続］を選んで［ネットワーク接続］を開きます。

3 ［ローカルエリア接続］を右クリックして［プロパティ］を開きます。

4 **［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選んで［プロパティ］ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定（IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ等）をメモしておきます。**

5 **［次の IP アドレスを使う］を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。**
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
＜例＞
IPアドレス：192.168.254.1
サブネットマスク：255.255.255.0



6 **設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし、［ローカルエリア接続］のプロパティ画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。**

■ Mac OS X の場合

1 **アップルメニューを開き、［システム環境設定］を選びます。**

2 **システム環境設定ウィンドウの［ネットワーク］をクリックし、ネットワーク画面を表示します。**

3 **［内蔵 Ethernet］を選び、［TCP/IP］タブをクリックして、表示される変更前のネットワーク設定（IP アドレスやサブネットマスク、ルーター、DNS サーバーなど）をメモします。**

4 **新しいネットワーク環境を作成し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。**
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
＜例＞
IP アドレス：192.168.254.1
サブネットマスク：255.255.255.0



5 **［適用］をクリックして、ネットワーク画面を閉じます。**

■ コンピューターの IP アドレスの設定を戻すとき

変更時と同じ手順で、メモしておいた内容に従って変更前の値を設定してください。

ネットワークを設定する

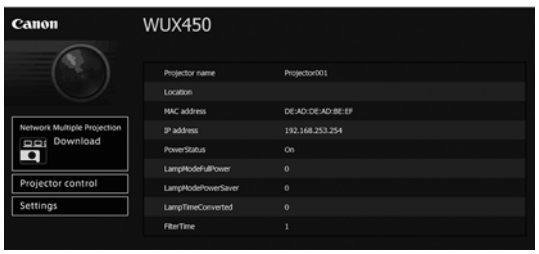
■ ネットワーク設定画面の表示

1 **コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。**

プロジェクターの電源を入れた後、約 40 秒間はネットワーク機能が使えません。

2 **ウェブブラウザを起動し、アドレスに「http:// (プロジェクターのIPアドレス) 」を入力して［Enter］キーを押します。**

プロジェクターのウェブ画面が表示されます。



表示される情報は次の通りです。

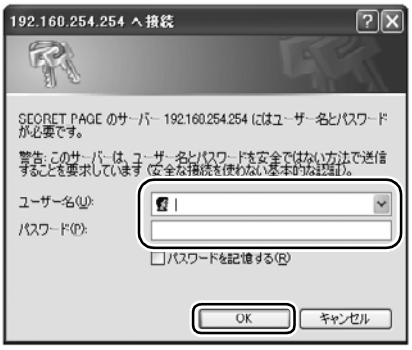
Network Multiple Projection Download	ネットワーク・マルチ・プロジェクション (NMPJ) のアプリケーションをダウンロードします。(P191)
Projector control	Projector control 画面を表示します。
Settings	セッティング画面を表示します。
Projector name	ネットワーク上でのプロジェクター名
Location	プロジェクターの設置場所

MAC address	プロジェクターの MAC アドレス
IP address	プロジェクターの IP アドレス
PowerStatus	プロジェクターの電源の状態
LampModeFullPower	ランプモード［フルパワー］でのランプの使用時間
LampModePowerSaver	ランプモード［エコ］でのランプの使用時間
LampTimeConverted	ランプの使用時間 (換算値)
FilterTime	エアフィルターの使用時間
Alert	エラーメッセージ (エラーが発生した場合) Temperature abnormality：温度エラー Faulty lamp：ランプエラー Faulty cooling fan：ファンエラー Faulty air filter unit：エアフィルターエラー Faulty power supply：電源エラー

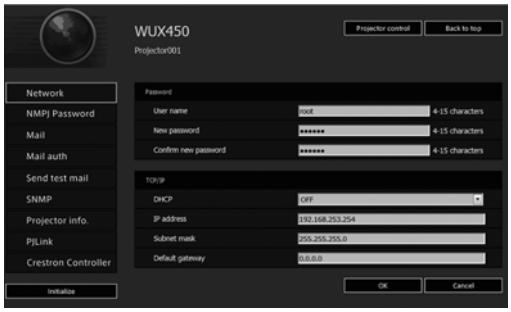
工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」です。DHCP 設定の場合はネットワーク管理者にプロジェクターの IP アドレスをお問い合わせください。プロジェクターのメニューから、IP アドレスを確認することができます。

3 **ウェブ画面の [Settings] をクリックします。**
パスワードの入力画面が表示されます。

4 **パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**
工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワードは「system」です。



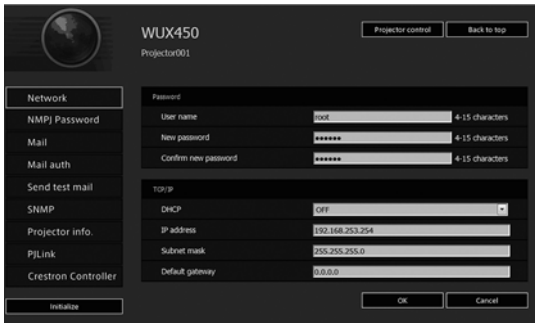
ウェブブラウザにプロジェクターの設定画面が表示されます。



コンピューターからプロジェクターを操作する場合は［Projector control］をクリックします (P175) 。

■ ネットワークの設定

1 「ネットワーク設定画面の表示」の手順３のウェブ画面で［Settings］ をクリックし、セッティング画面を表示します。



2 メニューから設定したい機能を選択し（①）、表示された各欄に設定内容を入力し（②）、［OK］をクリックします（③）。

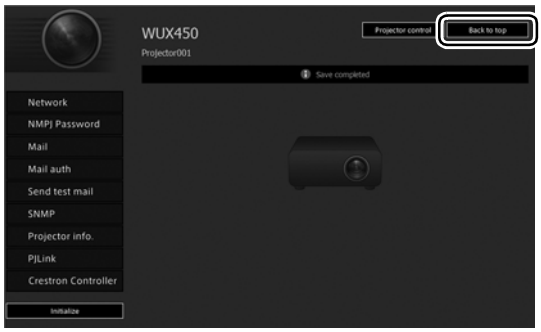


3 確認画面が表示されるので内容を確認し、問題がなければ［Apply］をクリックします。



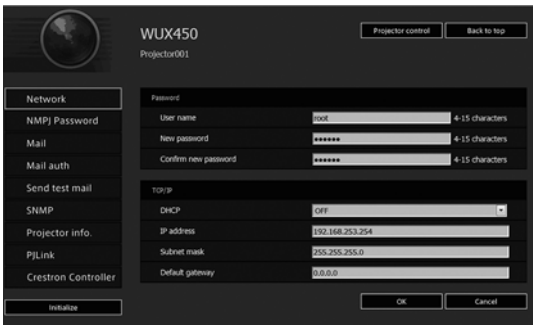
設定内容がプロジェクターに反映されます。
メニューで「Network」を選んでいる場合、「Save completed. Please change setting and reconnect.」と表示されます。

それ以外の機能を選択している場合は、「Save completed」と表示されます。[Back to top] をクリックし、ウェブ画面のトップ画面に戻ります。



基本情報の設定［Network］

セッティング画面の［Network］では、ウェブ画面へのログインとネットワークの基本情報についての設定をします。設定の手順については「ネットワーク設定画面の表示」(P162) を参照してください。



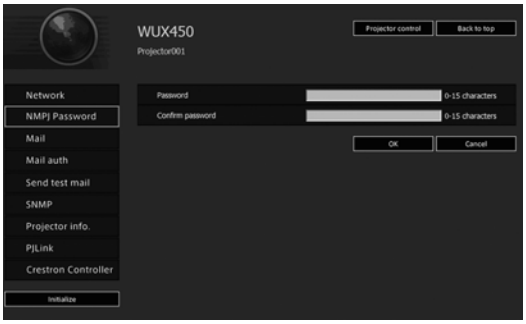
項目	説明	工場出荷時の設定
Password		
User name	ウェブ画面にログインする際のユーザー名を半角の英数字・記号 (4 ～ 15 文字) で入力します。	root
New password	ウェブ画面にログインする際のパスワードを半角の英数字・記号 (4 ～ 15 文字) で入力します。	system
Confirm new password	確認のため、[New password] と同じパスワードを入力します。	system
TCP/IP		
DHCP	DHCP 機能の ON / OFF を選択します。ON の場合、IP アドレスはサーバーから取得されるため、[IP address]、[Subnet mask]、[Default gateway] は入力できなくなります。	OFF
IP address	プロジェクターの IP アドレスを半角数字で入力します。	192.168.254.254

項目	説明	工場出荷時の設定
Subnet mask	サブネットマスクを半角数字で入力します。	255.255.255.0
Default gateway	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0

TCP / IP に関する設定を変更した場合は、ネットワークに接続しなおす必要があります。ネットワークのサブネットマスクを変更した場合は、上記の画面で［Subnet mask］を選び、新しいサブネットマスクを設定してください。

ネットワーク・マルチ・プロジェクションの設定［NMPJ Password］

セッティング画面の［NMPJ Password］では、ネットワーク・マルチ・プロジェクションの認証に必要な項目を設定します。設定の手順については「ネットワーク設定画面の表示」(P162) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
Password	ネットワーク･マルチ・プロジェクションの使用時に、認証をえるためのパスワードを半角の英数字 (0 ～ 15 文字) で入力します。	＜空欄＞
Confirm password	確認のため、［Password］と同じパスワードを入力します。	＜空欄＞

メールを設定する［Mail］

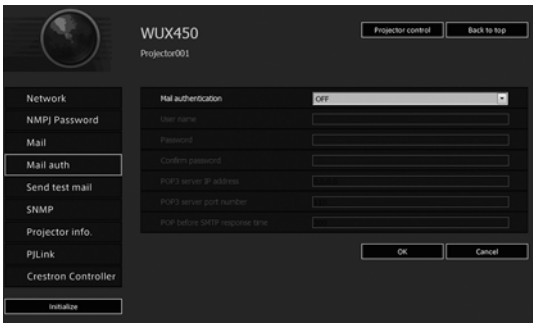
セッティング画面の［Mail］では、エラーメール送信およびテストメール送信を行うために必要な項目を設定します。設定の手順については「ネットワーク設定画面の表示」(P162) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
To:	エラーメールの送信先メールアドレスを半角の英数字・記号 (1 ～ 63 文字) で入力します。	MailUserAccount
Cc:	エラーメールの Cc 送信先メールアドレスを半角の英数字・記号 (1 ～ 63 文字) で入力します。	＜空欄＞
From:	エラーメールの送信元メールアドレスを半角の英数字・記号 (1 ～ 63 文字) で入力します。	Projector@canon.co.jp
SMTP server IP address	SMTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
SMTP server port number	SMTP サーバーのポート番号を半角数字 (1 ～ 65535) で入力します。	25
SNTP server IP address	SNTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
Time zone	プロジェクターを使用する場所のタイムゾーンを選択します。	(GMT) Dublin, Lisbon, London
Mail resend interval	エラーメール再送間隔 (秒単位) を 0 ～ 59 秒の範囲で半角の数字で入力します。	10
Mail resend times	エラーメール再送回数を 0 ～ 255 回の範囲で半角の数字で入力します。	3
Error report	エラーメール送信機能の ON / OFF を選択します。	OFF

メール認証を設定する［Mail auth］

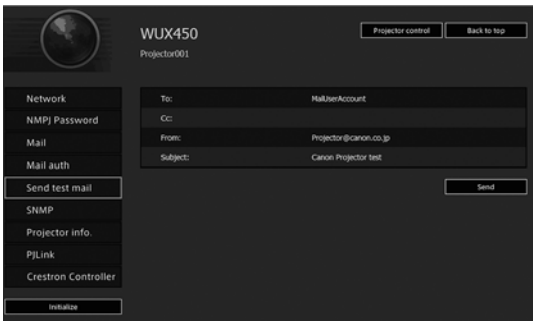
セッティング画面の［Mail auth］では、エラーが発生したときに送信されるメールの認証について設定します。設定の手順については「ネットワーク設定画面の表示」(P162)を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
Mail authentication	メール認証方式を選択します。OFF の場合は、メール認証の他の項目は変更できません。	OFF
User name	メール認証を行うためのユーザー名を半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	＜空欄＞
Password	メール認証を行うためのパスワードを半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	＜空欄＞
Confirm password	確認のため［Password］と同じパスワードを入力します。	＜空欄＞
POP3 server IP address	POP3 サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
POP3 server port number	POP3 サーバーのポート番号を半角数字 (1 ～ 65535) で入力します。	110
POP before SMTP response time	POP3 認証終了から SMTP 認証までの待機時間（ミリ秒単位）を半角数値 (0 ～ 9999 ミリ秒) で入力します。	300

テストメールを送信する［Send test mail］

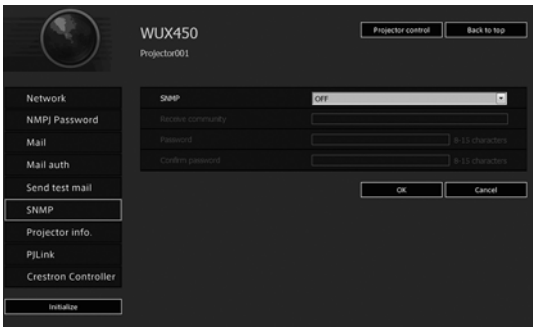
セッティング画面の［Send test mail］では、［Mail］で設定したメールアドレスに対し、テストメールを送信することができます。この画面では各項目の内容を変更することはできません。



項目	説明
To:	セッティング画面の［Mail］(P166) で設定した送信先メールアドレスが表示されます。
Cc:	セッティング画面の［Mail］(P166) で設定した Cc 送信先メールアドレスが表示されます。
From:	セッティング画面の［Mail］(P166) で設定した送信元メールアドレスが表示されます。
Subject:	固定のメールタイトル「Canon Projector test」が表示されます。

SNMPを設定する［SNMP］

セッティング画面の［SNMP］では、SNMP (Simple Network Management Protocol) を利用したプロジェクターの管理について設定します。設定の手順については「ネットワーク設定画面の表示」(P162) を参照してください。

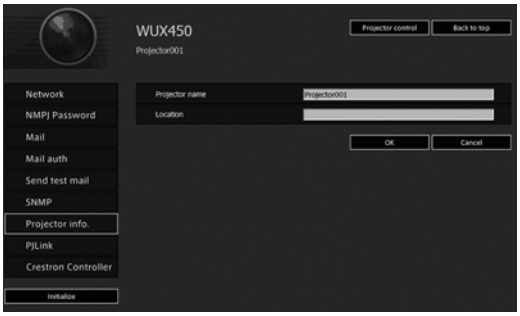


項目	説明	工場出荷時の設定
SNMP	SNMP 機能のバージョンを選択します。OFF の場合、SNMP 機能はオフになり、この画面の他の項目は変更できなくなります。	OFF
Receive community	プロジェクター情報を受信するコミュニティ名を半角の英数字・記号 (1 ～ 15 文字) で入力します。	＜空欄＞

項目	説明	工場出荷時の設定
Password	コミュニティ設定のパスワードを半角の英数字・記号 (8 ～ 15 文字) で入力します。SNMP のバージョンが V3 の場合のみ設定できます。	＜空欄＞
Confirm password	確認のため、［Password］と同じパスワードを入力します。	＜空欄＞

プロジェクター情報を設定する［Projector info.］

セッティング画面の［Projector info.］では、複数のプロジェクターがネットワーク上にある場合の識別を行うための名前と場所名を設定します。設定の手順については「ネットワーク設定画面の表示」(P162) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
Projector name	プロジェクター名を半角の英数字・記号 (1 ～ 63 文字) で入力します。	Canon Projector001
Location	プロジェクターの設置場所を半角の英数字・記号 (0 ～ 63 文字) で入力します。	＜空欄＞

［Projector name］と［Location］には，＃など使用できない文字があります。

PJLinkを設定する［PJLink］

セッティング画面の［PJLink］では、ネットワークでのプロジェクター管理の規格であるPJLink 機能について設定します。設定の手順については「ネットワーク設定画面の表示」(P162) を参照してください。また、PJ Linkについては「PJLinkとは」(P157) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
PJLink	PJLink 機能の ON / OFF を選択します。OFF の場合、PJLink 機能はオフになり、この画面の他の項目は変更できなくなります。	ON
PJLink authentication	PJLink 認証機能の ON / OFF を選択します。OFF の場合、［Password］と［Confirm password］は変更できません。	ON
Password	PJLink 認証パスワードを半角の英数字 (1 ～ 32 文字) で入力します。	system
Confirm password	確認のため [Password] と同じパスワードを入力します。	system

クレストロン社製のコントローラーの設定をする［Crestron Controller］

セッティング画面の [Crestron Controller] では、クレストロン社製のコントローラー経由で通信をする場合のパラメータを設定します。

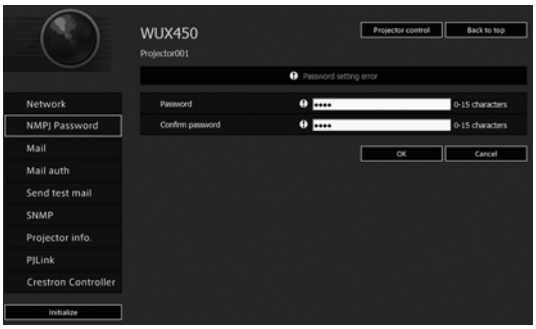


項目	説明	工場出荷時の設定
IP ID	使用するコントローラーの IPID の設定をします。	3
IP address	使用するコントローラーの IP アドレスの設定をします。	127.0.0.1

項目	説明	工場出荷時の設定
Port number	使用するコントローラーのポート番号の設定をします。	41794

設定時のエラーについて

設定に関してエラーが発生した場合は、画面にエラー名が表示され、エラーの原因となっている入力欄に「！」マークが表示されます。



エラーの意味は以下の通りです。

エラー	意味
Input error	各設定画面で有効範囲外の設定がされた。
Password setting error	設定したパスワードと確認パスワードが一致しない。
Invalid SMTP	SMTP サーバーの IP アドレスが設定されていない。
System failed to connect SMTP server.	テストメール送信時に SMTP サーバーとの接続に失敗した。
System failed to connect POP3 server.	テストメール送信時に POP3 サーバーとの接続に失敗した。
System doesn't support this auth type.	サーバー側でサポートしていない認証タイプを設定した。
System failed to authenticate.	テストメール送信時に認証が失敗した。
The system failed to send the test mail.	SMTP サーバーとの接続または通常発生しないエラーによりテストメール送信が失敗した。
Unknown error	原因不明のエラー

ネットワークの設定を工場出荷時の設定に戻すとき

1 「ネットワーク設定画面の表示」(P162) の手順１～３を行い、セッティング画面を表示します。

2 [Initialize] をクリックします。



3 確認画面が表示されるので、[OK] をクリックします。

■ エラー通知メール

プロジェクターにエラーが発生したときは、次のエラー表のメッセージが英文で送信されます。

エラー表

温度に関するエラー	件名	Temperature abnormality
	本文	The temperature inside the projector is too high for some reason or the outside air temperature is higher than the specified one. If the problem is inside the projector, check whether the projector is installed and operated normally, turn off the projector to cool its inside, and retry projection. If the same warning occurs again, the projector may be defective. Contact your dealer.
	内容	プロジェクター内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。プロジェクター側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、プロジェクターの内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。再度、同じワーニングが出る場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

ランプに関するエラー	件名	Faulty lamp
	本文	The lamp has burnt out. Replace the lamp with a new one. If the same warning occurs again, the lamp drive circuit may be defective. Contact your dealer.
	内容	ランプが切れました。新しいランプに交換してください。ランプを交換しても同じワーニングが表示される場合は、ランプの駆動回路などの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ファンに関するエラー	件名	Faulty cooling fan
	本文	The cooling fan or another component may be defective. Contact your dealer.
	内容	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
エアフィルターに関するエラー	件名	Faulty air filter unit
	本文	The air filter unit is not installed properly. Check whether the air filter unit is installed properly. If it is installed properly, the air filter unit detection switch may be defective. Contact your dealer.
	内容	エアフィルターの装着異常です。エアフィルターを正しく装着し電源を入れなおしてください。再度、同じワーニングが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
電源に関するエラー	件名	Faulty power supply
	本文	The voltage of part of the power supply is abnormally high or any other problem has occurred in the power supply. Contact your dealer.
	内容	電源異常です。パワーサプライユニットの電圧異常か、Main MPU・RGB 基板の起動エラーが考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

ウェブ画面による操作

本機をネットワークに接続することで、ネットワーク経由でコンピューターから本機の制御が行えます。

1 **コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。**

2 **ウェブブラウザを起動し、アドレスに「http://（プロジェクターのIPアドレス）」を入力して［Enter］キーを押します。**
プロジェクターのウェブ画面が表示されます。

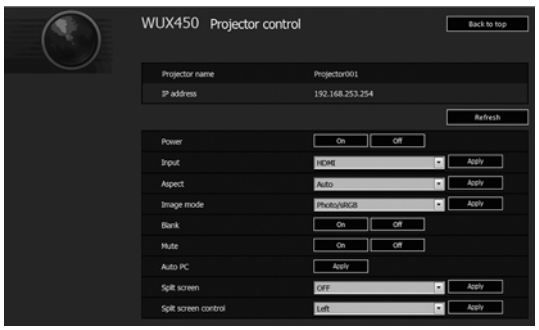
工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」です。DHCP 設定の場合はネットワーク管理者にプロジェクターの IP アドレスをお問い合わせください。プロジェクターのメニューから、IP アドレスを確認することができます。

3 **ウェブ画面の [Projector control] をクリックします。**
パスワードの入力画面が表示されます。

4 **パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**
工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワード「system」です。



Projector control 画面が表示されます。



プロジェクター制御画面が表示されます。この画面でプロジェクターの制御を行います。

項目	説明
Projector name	接続しているプロジェクター名が表示されます。(P170)
IP address	接続しているプロジェクターの IP アドレスが表示されます。(P175)
Refresh	表示内容を最新の情報に更新します。
Power	プロジェクターの電源を ON / OFF します。
Input	入力信号を選択し、［Apply］をクリックすると、入力信号が切り換わります。(P43)
Aspect	アスペクトを選択し、［Apply］をクリックすると、アスペクトが切り換わります。(P55)
Image mode	イメージモードを選択し、［Apply］をクリックすると、イメージモードが切り換わります。(P60)
Blank	ブランク設定のオン・オフを切り換えます。(P66)
Mute	ミュート設定のオン・オフを切り換えます。(P67)
Auto PC	［Apply］をクリックすると、オート PC が実行されます。(P47)
Split screen	2 画面機能の設定を選び、［Apply］をクリックすると、2 画面表示に切り換わります。
Split screen control	2 画面の操作権設定を選び、［Apply］をクリックすると、操作権の対象が切り換わります。
Information	画面上部に制御結果や制御エラーの情報が表示されます。

5 **作業が終わったら、［Back to top］をクリックし、最初のウェブ画面に戻ります。**



メンテナンス

目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
NMPJ編
ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要
各モードでの操作
共通の機能
付録
その他の情報
索引

本体を清掃する

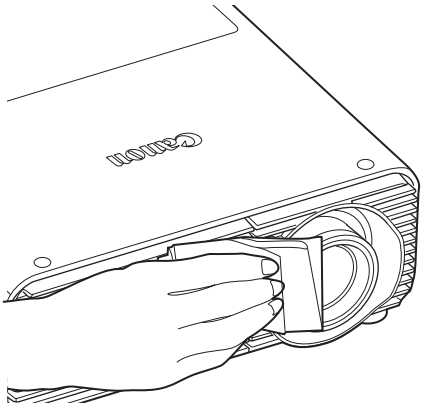
本機に、ホコリなどがたまらないようにこまめに清掃してください。
レンズ表面が汚れると、投写する映像に影響が出る場合があります。

⚠注意

本体を清掃するときは、必ず本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、1 時間以上放置してから行ってください。電源を切った直後は、本体が大変高温になっているため、やけどやけがをする原因となることがあります。

本体や本体操作部の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布を浸してよく絞り、ふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

- ベンジンや揮発性の清掃液を使用すると、変質したり塗装がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書きをよくお読みください。
- レンズの清掃は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナーを使用してください。レンズの表面は傷が付きやすいので、固い布やティッシュペーパーなどは使用しないでください。



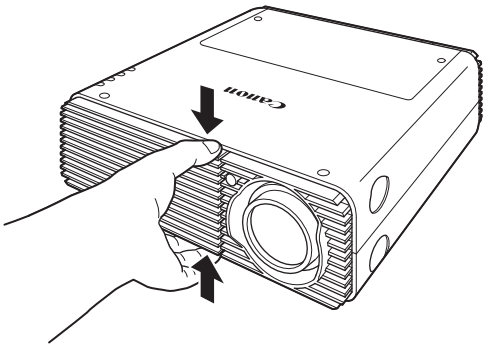
エアフィルターを交換・清掃する

エアフィルターの交換

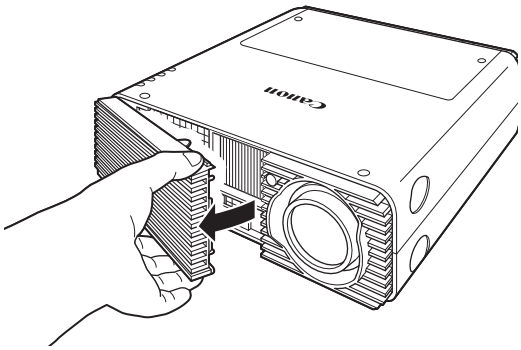
エアフィルターの交換は次の手順で行ってください。

1 **本機の電源を切り、電源プラグを抜きます。**

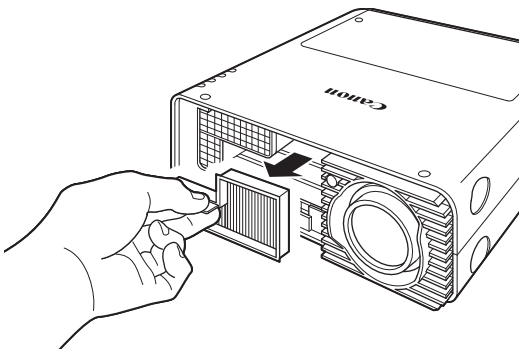
2 **フィルターカバーの上下を押してロックを解除しながら引き出し、取り外します。**



3 **フィルターカバーを開いて外します。**



4 **エアフィルターを取り外します。**

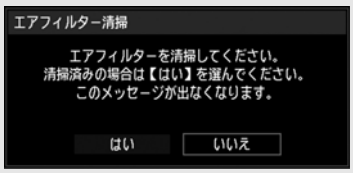


5 逆の手順で新しいエアフィルターを取り付けます。

- エアフィルターはていねいに扱ってください。破損するとエアフィルターの効果が損なわれます。
- ランプの交換時にエアフィルター清掃または交換をお薦めします。
- エアフィルターのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 交換エアフィルター　品番：RS-FL02
- キヤノンのホームページ (http://store.canon.jp/user/ListProducts/list?svid=2&sc=LMPPR&jsp=/jsp/search/search_item_acc.jsp) からも購入できます。

エアフィルターの清掃

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると、空気の流れが悪くなり、内部の温度が上昇して故障の原因となります。エアフィルターの清掃が必要な時間 (約300時間) になると、本機の電源を入れたときに次の画面が表示されますので、エアフィルターを清掃してください。



- この画面の表示中は【◀】、【▶】、【OK】、【POWER】ボタンのみ反応します。(【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。)
- 10 秒後にこの画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。

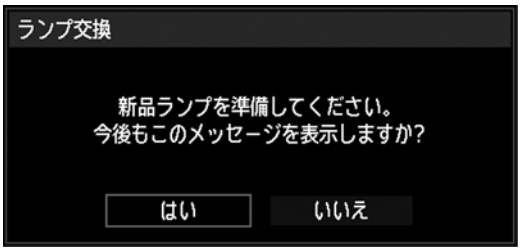
- 本機の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- エアフィルターは、本体前面のエアフィルターの取っ手に指をかけてエアフィルターを取り外し、掃除機でホコリを吸い取ってください。
- エアフィルターの清掃後、本機の電源を入れたときにエアフィルター清掃の画面が表示されたら「はい」を選んで【OK】を押してください。エアフィルター清掃の画面が表示されなくなります。
- [エアフィルター清掃警告表示] を [切] に設定した場合は、この画面は表示されません。(P141)

エアフィルターは水洗いしないでください。エアフィルターの破損およびプロジェクターの故障の原因になります。

ランプを交換する

ランプの使用時間が一定の時間を越えると、本機の電源を入れるたびに、次の画面 (2 種類) が 10 秒間表示されます。

2,700時間以上3,000時間未満



この画面が表示されたら、交換ランプを用意してください。

- この画面の表示中は【◀】、【▶】、【OK】、【POWER】ボタンのみ使用できます。
- 【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。
- 10 秒後に上の画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。
- 「今後もこのメッセージを表示しますか？」で［いいえ］を選ぶと、この画面は表示されなくなります。

3,000時間以上



この画面が表示されたら、182 ページの手順でランプを交換してください。

- この画面の表示中は、【POWER】ボタンのみ使用できます。
- 【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。
- 10 秒後に上の画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。
- ランプの使用時間はシステム設定メニューの［ランプカウンター］で確認してください。(P104)
- ［ランプ交換警告表示］を［切］に設定した場合は、これらの画面は表示されません。(P140)

交換用のランプについて

本機では、次のランプを使用しています。

ランプの品番：RS-LP08

ご購入の際は、販売店にご相談ください。

ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意

電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。また、本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたり、ランプを交換するなどのときは、ランプが落下する可能性があります。ランプの交換作業時は、ランプカバーの真下に立たず、横から作業してください。万一、ランプが破裂し破片などを吸い込んだり目や口に入ったときは、すみやかに医師にご相談ください。

⚠警告

ランプを交換するときは、本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、1 時間以上放置してから行ってください。電源を切った直後は、本体が大変高温になっているため、やけどやけがをする原因となることがあります。

⚠注意

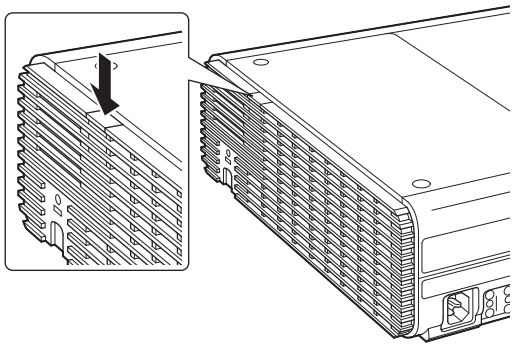
- **ランプは、必ず指定のものを使用してください。**
- **ランプのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。キヤノンのホームページ (http://store.canon.jp/user/ListProducts/list?svid=2&sc=LMPPR&jsp=/jsp/search/search_item_acc.jsp) からも購入できます。**
- **ランプ交換の際は、内部のガラス面などに触れないでください。投写の性能が下がるなどの原因になります。**
- **ランプに衝撃を加えたり傷つけたりすると、使用中に破裂する場合がありますので、取り扱いにご注意ください。万が一ランプが破裂した場合は、販売店に連絡し、「ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意」(P20) の指示に従ってください。**
- **ランプを交換の際は、指定のねじ以外ははずさないでください。**

注 意

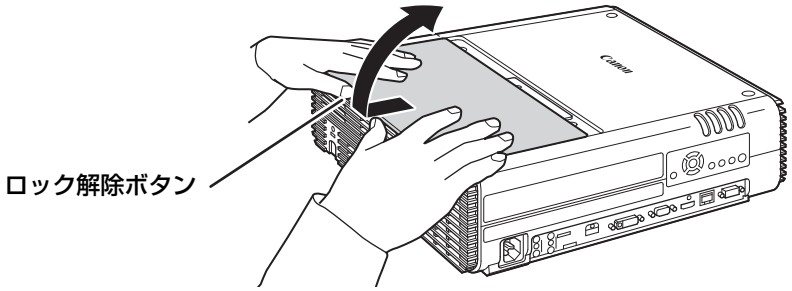
ランプ交換手順

1 本機の電源を切り、電源プラグを抜きます。

2 ランプカバーロック解除ボタンを押してロックを解除します。

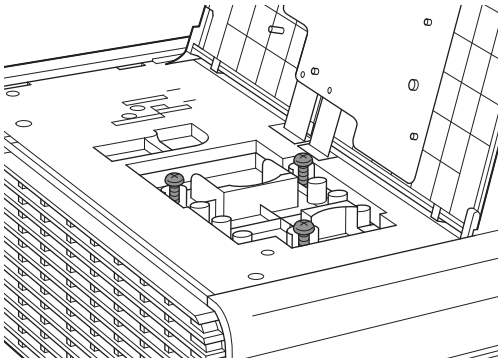


3 ランプカバーロック解除ボタンを押しながらランプカバーを後方へスライドさせ、開きます。

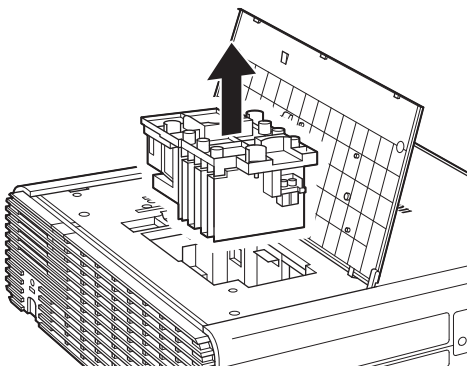


⚠注意 **ランプカバーを後方へスライドさせるときに、ランプカバーで指をはさまないようにしてください。図のように両手でスライドさせることをお勧めします。**

4 ランプユニットにとめてあるネジ3ヵ所をゆるめます。



5 ランプユニットを取り外します。

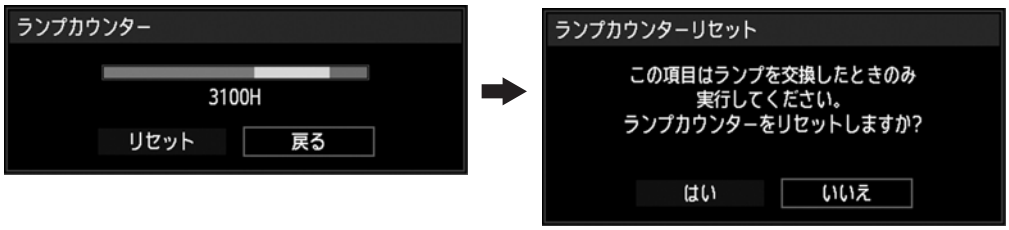


6 逆の手順で新しいランプユニットを取り付けます。

7 電源を入れ、メニューを表示し、[システム設定] - [その他の設定] の [ランプカウンター] を選びます。



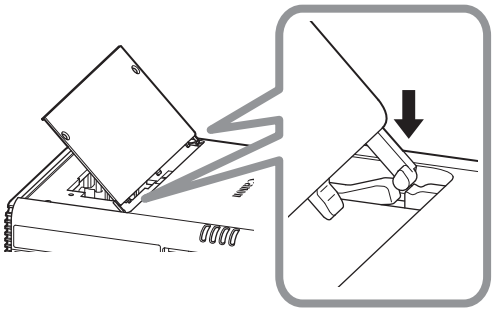
8 [リセット] を選び、[はい] を選んで、ランプカウンターをリセットします。



- ランプの交換時にエアフィルター (品番：RS-FL02) の清掃または交換をお薦めします。
- エアフィルターのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ ランプカバーが外れたときは

ランプカバーの取り付け部を、本体の溝に合わせ、ゆっくり押し込んでください。



POWER
PROJECTOR

WUX450
WX520
WUX400ST
WX450ST

ネットワーク・マルチ・プロジェクション (NMPJ) 編



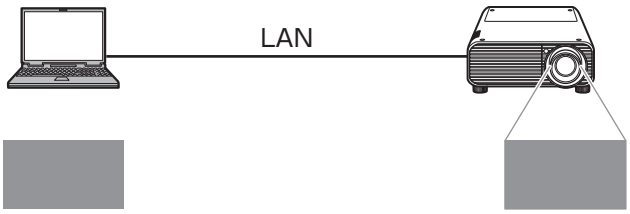
ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要

目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
NMPJ編
ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要
各モードでの操作
共通の機能
付録
その他の情報
索引

ネットワーク・マルチ・プロジェクションとは

■ ネットワークを介した投写

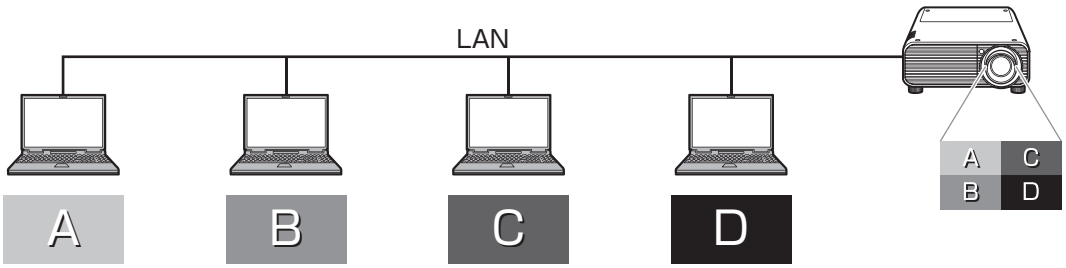
ネットワーク・マルチ・プロジェクション (以下、NMPJ) は、コンピューターの画面をLANを介して本機で投写する機能です。複数のコンピューターと複数のプロジェクターを接続し、様々な形式で投写することができます。



ネットワーク経由でコンピューターとプロジェクターを接続

■ 画面分割による複数画像の投写

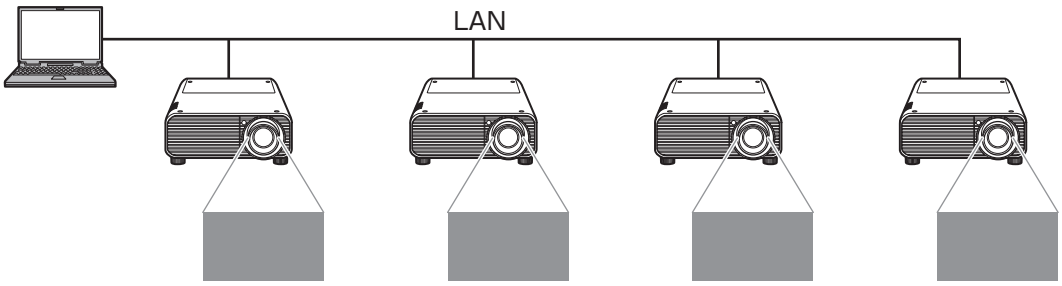
複数台のコンピューターの映像を分割して、プロジェクターから投写することができます。



画面を分割することで複数のコンピューターの画面を投写

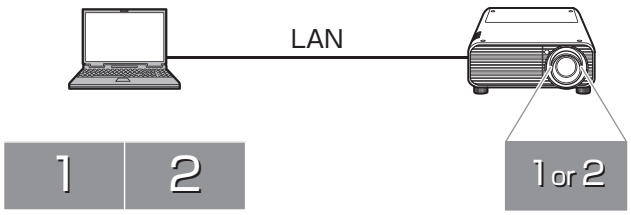
■ 複数のプロジェクターへの同時投写

1 台のコンピューターで複数台のプロジェクターから投写することができます。



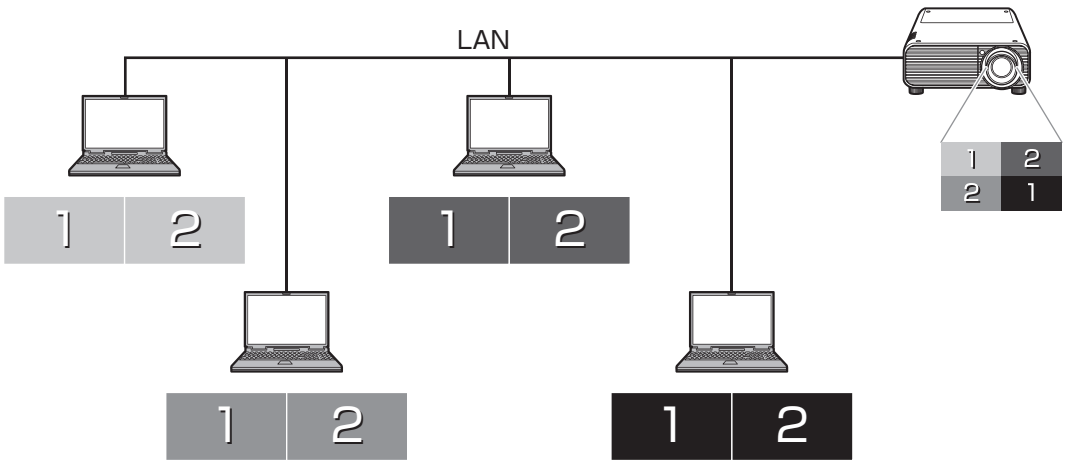
■ 投写するモニターを選択する

コンピューターに複数台のモニターが接続されている場合、プライマリモニターとセカンダリモニターのどちらかを選んで投写することができます。



プライマリモニターとセカンダリモニターのどちらかを選択

投写するモニターはコンピューターごとに選択が可能です。



コンピューターごとにプライマリモニター/ セカンダリモニターを選択

- コンピューターの種類によってはプライマリモニター / セカンダリモニターの切り換え機能が使用できないものもあります。
- ネットワークで接続するコンピューターやプロジェクターの台数が多い場合、本アプリケーションの反応が遅くなることがあります。
- 3 台以上のモニターに出力できるコンピューターの場合、どのモニターの画面が投写されるかは、コンピューターの種類に依存します。

インストールする

NMPJ機能を使用するには、使用するコンピューターにNMPJアプリケーション（以下、本アプリケーション）をインストールする必要があります。
本書ではWindows7環境でのインストール方法を記載しています。

動作環境

本アプリケーションの動作環境は以下のとおりです。

CPU Core 2 Duo P8600 2.4GHz以上 (32bitまたは64bit)
メモリ 1GByte以上
HDD 32GByte以上
モニター 解像度1024×768ドット以上

> ⚠ モニターの解像度が、1024 × 768 ドット未満のコンピューターにはインストールできません。また、インストール後にモニターの解像度を1024 × 768 ドット未満に変更した場合、動作は保証されません。

対応OS Winodws XP(Professional)　SP3
Windows Vista(Business) SP2
Windows 7(Home/Professional/Ultimate) SP1
※WindowsXP, WindowsVistaは32bitのみ対応
※Windows7は32bit/64bitに対応

> ⚠
> - 上記以外のOS、エディションについての動作は保証されません。
> - 日本語、中国語（簡体字）以外の言語のメニューについてはすべて英語で表示されます。
> - 日本語、英語、中国語（簡体字）以外のOS言語についての動作は保証されません。
> - Windows8の動作は保証されません。

ネットワーク TCP/IPプロトコルをサポートしたネットワーク環境で、コンピューターとプロジェクターが、以下のLANで接続されていること。
有線LAN (1000BASE-T、100BASE-TX)

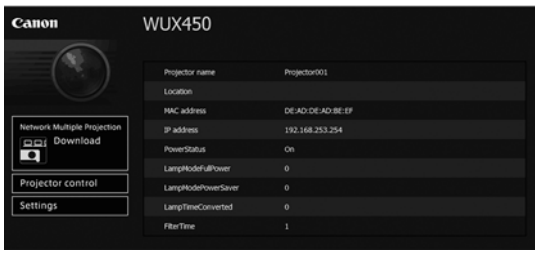
> ⚠
> - 本アプリケーションは、コンピューターとプロジェクターの間にルーターが設置されても通信可能ですが、動作を保証するルーターホップ数は 1 です。また、サブネット外のプロジェクターの場合、ブロードキャストモード (P229) を使用する場合は、ルーターが IPv4 マルチキャストルーティングに対応している必要があります。また、ルーターに本アプリケーションで使用するマルチキャストアドレスをルーティングする設定を行う必要があります。
> - Aero 使用時には、「パフォーマンスをあげるため画面の配色を変更しますか？」という内容のメッセージが通知されることがあります。

インストールする

本アプリケーションはプロジェクター本体のメモリに、あらかじめ格納されています。コンピューターにインストールするには、コンピューターのウェブブラウザからプロジェクターにアクセスし、ダウンロードする必要があります。

- プロジェクターをネットワークに接続する方法については「ネットワークに接続して使用する」(P149) を参照してください。
- インストーラーをダブルクリックするとインストール開始のメッセージから「使用許諾契約」に続き、ファイアウォールの登録を確認するメッセージが表示されます。
  - 「はい」をクリックすると Windows ファイアウォールが自動的に設定され NMPJ がインストールされます。
  - 「いいえ」をクリックしても NMPJ はインストールされますが警告画面が表示され、ファイアウォールの手動設定が必要です。手動設定については「Windows ファイアウォールについて」(P195) を参照してください。ファイアウォールの設定によってはプロジェクターを自動的に検出することができないことがあります。

1 **コンピューター上で、ウェブブラウザ画面を起動し、プロジェクターに接続します。**
ウェブブラウザ画面の起動方法については、「コンピューターでの設定」(P159) をご覧ください。



プロジェクターの IP アドレスは、プロジェクターの [ネットワーク設定] タブを確認するか、入力信号で [LAN] を選んで確認できます。

2 **[Network Multiple Projection Download] をクリックします。**

3 **[Download] をクリックします。**



4 確認画面で、[実行] をクリックします。



5 [ユーザーアカウント制御] の確認画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。



6 以降、画面の指示にしたがって操作します。

- Windows 7、Windows Vista では、ソフトウェアを起動したり、インストールやアンインストールを行ったりした場合、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。管理者の権限を持つユーザーでログオンした場合は、[はい] (または [続行] 、[許可]) をクリックして、操作を続けてください。
- ソフトウェアによっては、管理者の権限を持つユーザー以外で操作が続行できない場合があります。標準ユーザーでログオンした場合は、管理者に切り換え、操作をやり直してください。
- インストールを完了するには、再起動が必要な場合があります。再起動を促された場合は、必ずコンピューターを再起動してください。

アンインストールする

1 ［スタート］メニューを開き、［すべてのプログラム］＞［Canon NMPJ］＞［NMPJ アンインストール］を選択します。



2 ［ユーザーアカウント制御］確認画面が表示された場合は、［はい］をクリックします。



3 確認画面で［OK］をクリックします。



4 アンインストールの完了後、確認画面で［OK］をクリックします。



アンインストールを完了するには、再起動が必要な場合があります。再起動を促された場合は、必ずコンピューターを再起動してください。

5 **以下のフォルダを手動で削除します。**

WindowsXP

C:\Documents and Settings\< ユーザー名 >\Local Settings\Application Data\Canon\NMPJ

WindowsVista

C:\Users\< ユーザー名 >\AppData\Local\Canon\NMPJ

Windows7

C:\Users\< ユーザー名 >\AppData\Local\Canon\NMPJ

上記ファイルは隠しファイルとなっています。表示させるにはエクスプローラーの [フォルダオプション] > [表示] > [すべてのファイルとフォルダを表示する] にチェックを入れてください。

起動から終了まで

本アプリケーションの起動から終了までの手順は以下のとおりです。画面例は、ダイレクトモードの場合です。

アプリケーションを起動したとき、「NMPJSystem.dll が見つかりません」というメッセージが表示され、アプリケーションが起動できない場合は、一旦アプリケーションをアンインストールしてください (再起動を促された場合は、必ずコンピュータを再起動してください) 。その後、再度アプリケーションをインストールしてください (上書きインストールではなく、必ずアンインストールを実行してください) 。

1 **[スタート] メニューを開き、[すべてのプログラム] > [Canon NMPJ] > [ネットワークマルチプロジェクション] を選択します。**



Windows ファイアウォールについて

本アプリケーションの初回起動時、Windows ファイアウォールの設定により、以下のようなアラートが表示される場合があります。

プロジェクターとの通信に必要な設定のため、すべてのチェックボックスにチェックを入れ、[アクセスを許可する] をクリックしてください。



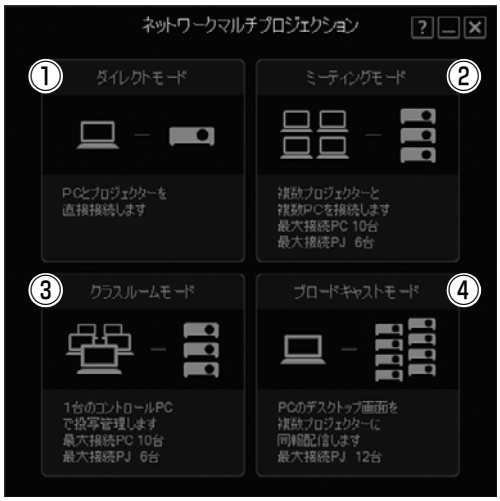
(画面は Windows7)

2 コンピューターに複数のネットワークアダプターが装着されている場合、ネットワークアダプターの選択画面が表示されるので、使用するネットワークアダプターの [OK] をクリックします。



画面右上の 3 つのボタンは、以降の各画面に共通する機能です。(画面によってはボタンが増える場合もあります)
[?] 本アプリケーションのヘルプを表示します。
[_] 画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。
[×] 画面を閉じます。

3 モード選択画面で、使用するモードをクリックします。



①ダイレクトモード
1 台のコンピューターと 1 台のプロジェクターを接続します。(P204)

②ミーティングモード
複数のコンピューターと複数のプロジェクターを接続します。複数のコンピューターの画面を見ながらの会議などに適しています。(P214)

③クラスルームモード

複数のコンピューターと複数のプロジェクターを接続します。1 人が司会者役となり、どのコンピューターの画面をどのプロジェクターで投写するかなどをコントロールできます。(P225)

④ブロードキャストモード

1 台のコンピューターを複数のプロジェクターに接続します。大ホールで複数箇所に設置したプロジェクターから同じ画像を投写する場合などに適しています。(P232)

4 **モードに応じ「セッションの作成」、「セッションへの参加」、「プロジェクターの選択」を行います。**

5 **［投写］をクリックします。**

画面の［投写］をクリックすると、投写が開始されます。



6 **投写を終了するには、［投写停止］をクリックします。**



7 モード選択画面に戻るには、画面右上の ⊞ または ✕ をクリックします。



8 確認画面が表示されるので、[メニューに戻る] をクリックします。



9 本アプリケーションを終了するには、モード選択画面右上の ✕ をクリックします。



■ セッションについて

「セッション」とは、本機能を使ったコンピューターとプロジェクターのグループのことです。
ミーティングモードとクラスルームモードでは、参加する最初のユーザーは、そのグループ用のセッションを作成する必要があります。他の参加者は、参加するセッションをセッションリストから選択して参加します。
なお、ブロードキャストモードでは、接続対象のプロジェクターを選択することで、自動的にセッションが作成されます。

各モードでの操作

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

操作編
- 投写する
- プレゼンテーションで使える便利な機能
- メニューによる機能設定

設置とメンテナンス編
- 設置する
- ネットワークに接続して使用する
- メンテナンス

NMPJ編
- ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要
- 各モードでの操作
- 共通の機能

付録
- その他の情報
- 索引

ダイレクトモードで使用する

本モードでは、1 台のコンピューターと 1 台のプロジェクターをネットワーク経由で接続します

操作手順

1 **モード選択画面で［ダイレクトモード］を選択します。**



2 **ダイレクトモード画面が表示されます。 をクリックします。**



サブネット外のプロジェクターに接続する場合は、［プロジェクター IP アドレス］欄にプロジェクターの IP アドレスを入力して をクリックします。

3 プロジェクター選択画面が表示されます。接続するプロジェクターをクリックします。



プロジェクター選択画面については、「プロジェクター選択画面を活用する」(P238) を参照してください。

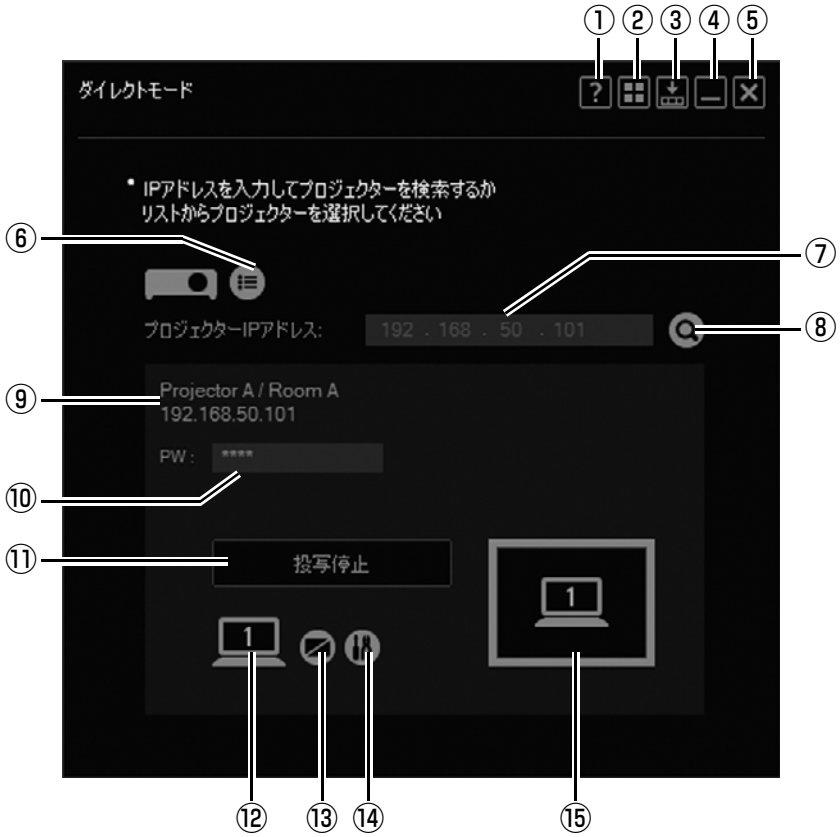
4 再びダイレクトモード画面が表示されます。[投写] をクリックします。



コンピューターの画面が投写されます。

- プロジェクターの設定画面で、NMPJ Password (P166) が設定されている場合は、パスワードの入力を求められるので、パスワードを入力してください。
- 投写を停止するには、[投写停止] をクリックします。
- 他のコンピューターが使用中、または、電源が OFF など、現在使用できないプロジェクターの場合、BUSY アイコン (Busy) が表示されます。BUSY アイコン (Busy) は自動的には更新されません。再度、プロジェクターを選択、または検索することで、最新のプロジェクターの状態が表示されます。

ダイレクトモード画面について



①ヘルプ
本アプリケーションのヘルプを表示します。

②モード選択画面に戻る
モード選択画面に戻ります。

③小型化
画面を小型化します。(P254)

④最小化
画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

⑤終了
モード選択画面に戻ります。

⑥プロジェクターリスト
プロジェクターリストを表示します

⑦IPアドレス
サブネット外のプロジェクターに接続する場合は、ここにプロジェクターのIPアドレスを入力し、⑧をクリックします。

⑧プロジェクター検索
⑦に入力したIPアドレスのプロジェクターを検索します。検索結果は⑨に表示されます。

⑨プロジェクター情報
プロジェクターリストで選択したプロジェクター、もしくは、IP アドレスで検索したプロジェクターの名前、設置場所、IP アドレスが表示されます。

⑩パスワード
プロジェクターの設定画面で、NMPJ Password (P166) が設定されているプロジェクターの場合、投写するにはここにパスワードを入力する必要があります。

⑪投写
プロジェクターでの投写を開始します。投写中は、ボタンが［投写停止］になり、クリックすることで投写が停止します。

⑫プライマリモニター / セカンダリモニター切り換え
お使いのコンピューターで、セカンダリモニターが有効な場合のみ、数字が表示されます。クリックすることで、プライマリモニター / セカンダリモニターを切り換えることができます。

⑬プロジェクターブランク
プロジェクターの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

⑭設定
設定画面を表示します。(P252)

⑮投写状況
投写状態を表示します。

ミーティングモードで使用する

ミーティングモードでは、複数のコンピューターと複数のプロジェクターを接続します。多人数で複数のコンピューターを持ち込んで会議を行う場合などに用いるモードです。接続できるコンピューターは最大10台で、プロジェクターは最大6台です。

操作手順 (セッションを作成する場合)

1 モード選択画面で［ミーティングモード］を選択します。



2 セッション選択画面が表示されます。［New］をクリックします。



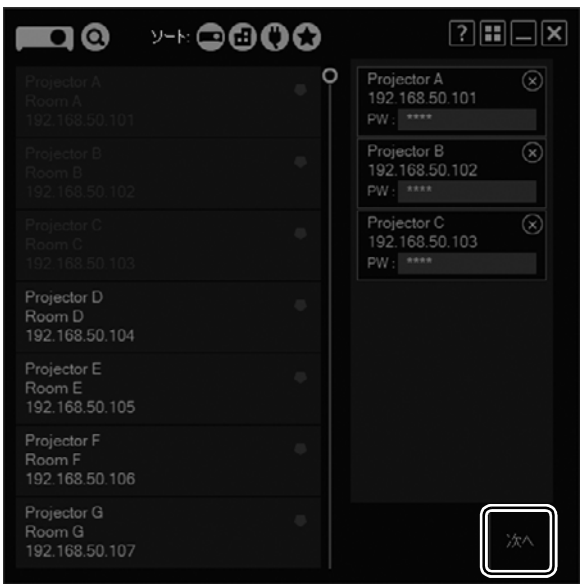
3 **プロジェクター選択画面が表示されます。左のプロジェクター一覧から、接続するプロジェクターをクリックします。**

プロジェクターは最大 6 台まで選択できます。選択されたプロジェクターは右の一覧に表示されます。

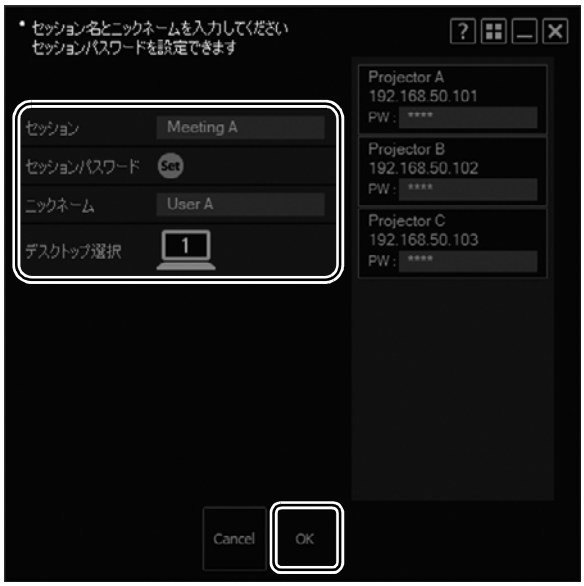


- プロジェクターの設定画面で、NMPJ Password (P166) が設定されている場合は、パスワードの入力を求められるので、パスワードを入力してください。
- プロジェクターの選択を解除するには、プロジェクターの右上の ⊗ をクリックしてください。
- プロジェクター選択画面については、「プロジェクター選択画面を活用する」(P238) を参照してください。

4 **[次へ] をクリックします。**



5 セッション作成画面が表示されます。セッションの名称、セッションパスワード、ニックネーム、デスクトップ選択（プライマリモニター / セカンダリモニターのどちらを投写するか）を設定し、[OK] をクリックします。



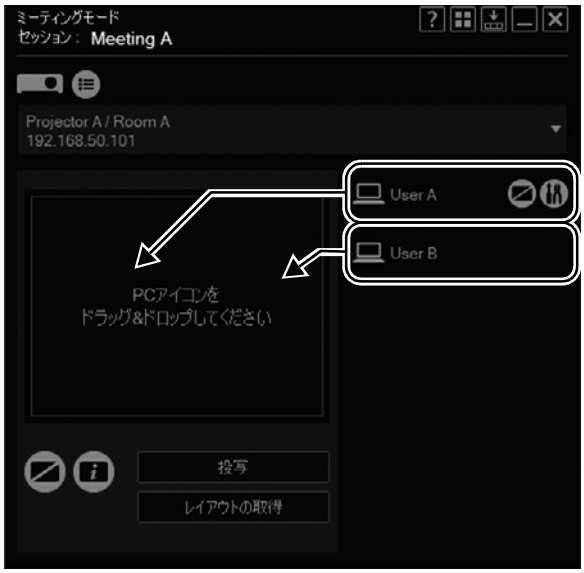
- 「セッションパスワード」を設定すると、他のユーザーがセッションに参加する場合にそのパスワードの入力が必要になります。設定する場合は［Set］をクリックし、パスワードを設定してください。
- デスクトップ選択機能が有効になるのは、コンピューターがデュアルモニターをサポートしている場合だけです。

6 ミーティングモード画面が表示されます。投写を制御するプロジェクターをプルダウンリストから選択します。



7 **選択したプロジェクターで投写したいコンピューターを右の一覧から選択し、レイアウトエリアにドラッグ& ドロップします。**

最大 4 台までのコンピューターをレイアウトエリアに配置できます。



8 **必要に応じ、レイアウトエリア内で投写したいコンピューターのレイアウトをドラッグ& ドロップにより変更します。**

投写時には、レイアウトエリアでの配置に合わせて各コンピューターの画面が投写されます。



9 **［投写］をクリックします。**



レイアウトしたコンピューターの画面が投写されます。

- 投写を停止するには、［投写停止］をクリックします。
- 投写中にレイアウトを変更した場合は、改めて［投写］をクリックしてください。レイアウトを変更しただけでは、変更内容は投写に反映されません。

10 **セッションを終了する場合は、画面右上の ▦ または ✕ をクリックします。**



11 確認画面が表示されます。セッション自体を終了する場合は［閉じる］、自分だけが退出する場合は［退出］をクリックします。

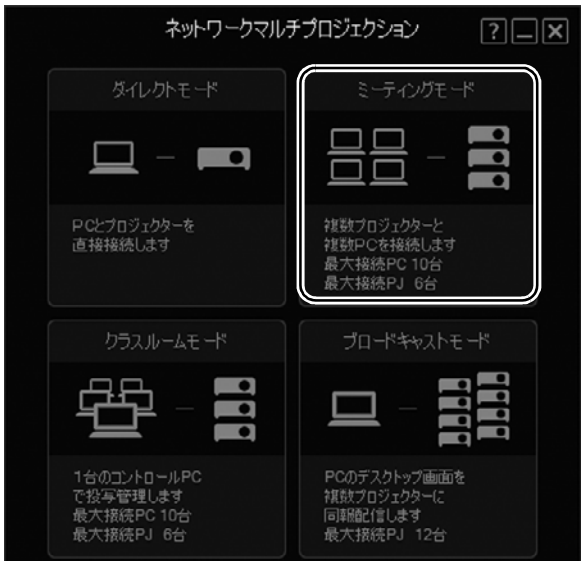


モード選択画面に戻ります。

他のコンピューターが接続していない場合は、［退出］は表示されません。

操作手順 (セッションに参加する場合)

1 モード選択画面で［ミーティングモード］を選択します。



2 セッション選択画面が表示されます。参加するセッションの［Enter］をクリックします。



サブネット外のセッションに参加する場合は、 をクリックし、プロジェクターの IP アドレスを入力して検索を行ってください。サブネット外のセッションが検索されます。詳しくは「セッション選択画面を活用する」(P236) を参照してください。

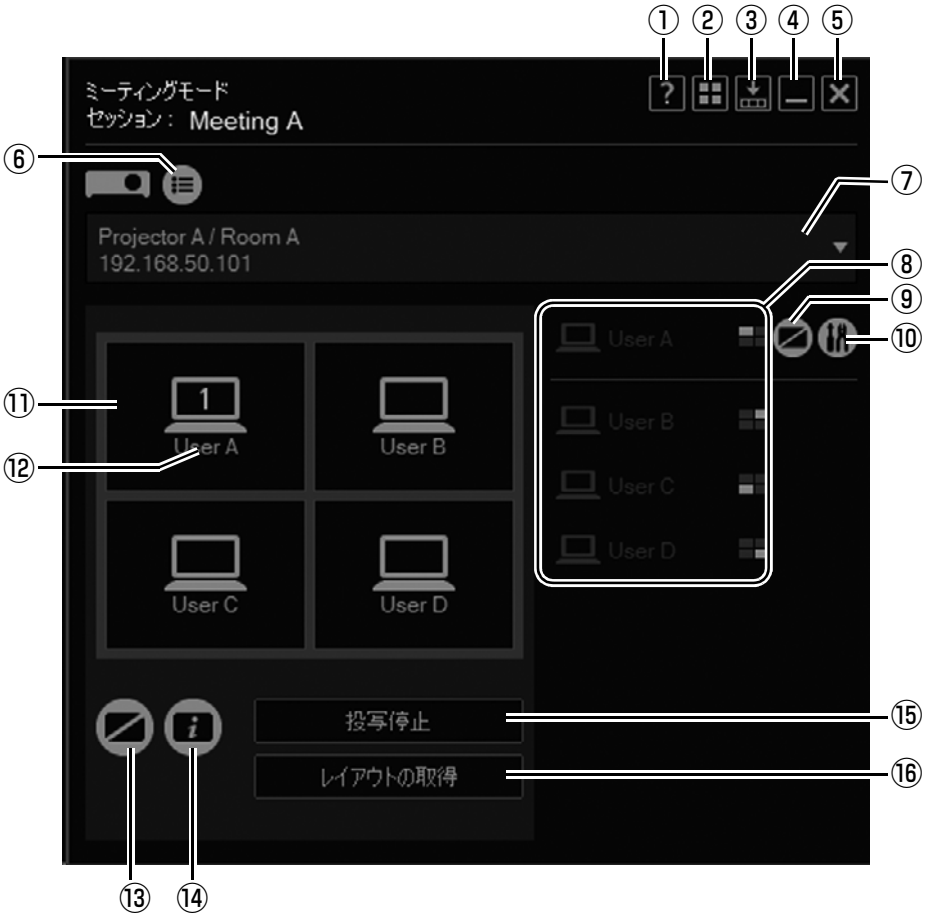
3 セッションへのログイン画面が表示されます。セッションパスワード、自分のニックネーム、デスクトップ選択（プライマリモニター / セカンダリモニターのどちらを表示するか）を設定し、[OK] をクリックします。



デスクトップ選択は、コンピューターがデュアルモニターに設定されている場合に表示されます。

4 ミーティングモード画面が表示されます。以降の操作は、「操作手順（セッションを作成する場合）」(P206) の手順６以降を参照してください。

ミーティングモード画面について



①ヘルプ
本アプリケーションのヘルプを表示します。

②モード選択画面に戻る
モード選択画面に戻ります。

③小型化
画面を小型化します。(P254)

④最小化
画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

⑤終了
モード選択画面に戻ります。

⑥プロジェクターリスト
プロジェクターリストを表示します

⑦プロジェクタープルダウンリスト
接続しているプロジェクターの一覧が表示されます。ここで選択したプロジェクターが、この画面での設定対象になります。

⑧コンピューター
接続中のコンピューターの一覧です。コンピューターをレイアウトエリアにドラッグ&ドロップすることで、投写できるようになります。一番上のコンピューターは、自分自身のコンピューターを示します。
 は、白い点がレイアウトエリアでのこのコンピューターの位置を表します。

⑨コンピューターブランク
このコンピューターからの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

⑩設定
設定画面を表示します。(P252)

⑪レイアウトエリア
コンピューターをここにドラッグ&ドロップして、コンピューターの投写位置を決めます。

⑫配置されたコンピューター
ドラッグ&ドロップで配置を変えることができます。自分のコンピューターで、セカンダリモニターが有効な場合のみ、数字が表示されます。
クリックすることで、プライマリモニター / セカンダリモニターを切り換えることができます。

⑬プロジェクターブランク
プロジェクターの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

⑭情報表示
他のユーザーがセッションに参加する際に必要となる情報をプロジェクターで投写します。ここで投写されるIPアドレスは、セッションに使用されているいずれかのプロジェクターのものです。

⑮投写
プロジェクターでの投写を開始します。投写中は、ボタンが［投写停止］になり、クリックすることで投写が停止します。

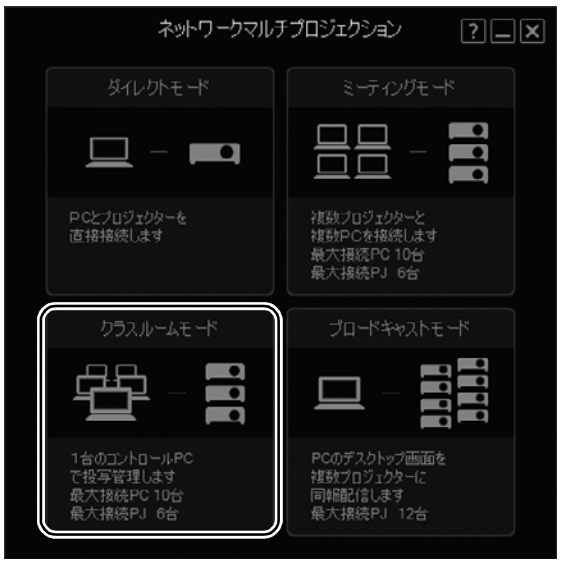
⑯レイアウトの取得
選択中のプロジェクターのレイアウトを表示します。

クラスルームモードで使用する

クラスルームモードでは、複数のコンピューターと複数のプロジェクターを接続します。1人が司会者役となり、自分や参加者のどのコンピューターの画面をどのプロジェクターで投写するかなどをコントロールできます。接続できるコンピューターは最大 10 台で、プロジェクターは最大6台です。

操作手順 (司会者の場合)

1 モード選択画面で［クラスルームモード］を選択します。



2 セッション選択画面が表示されます。[New] をクリックします。



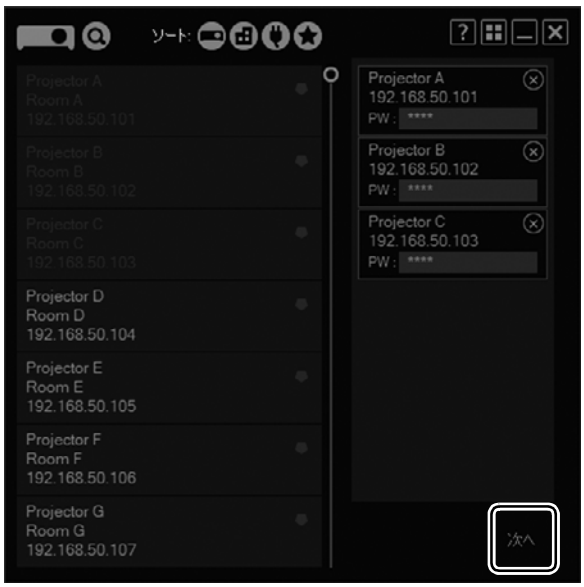
3 **プロジェクター選択画面が表示されます。左のプロジェクター一覧から、接続するプロジェクターをクリックします。**

プロジェクターは最大 6 台まで選択できます。選択されたプロジェクターは右の一覧に表示されます。



- プロジェクターの設定画面で、NMPJ Password (P166) が設定されている場合は、パスワードの入力を求められるので、パスワードを入力してください。
- プロジェクターの選択を解除するには、プロジェクターの右上の ⊗ をクリックしてください。
- プロジェクター選択画面については、「プロジェクター選択画面を活用する」(P238) を参照してください。

4 **[次へ] をクリックします。**



5 セッション作成画面が表示されます。セッションの名称、セッションパスワード、ニックネーム、デスクトップ選択（プライマリモニター / セカンダリモニターのどちらを投写するか）を設定し、[OK] をクリックします。



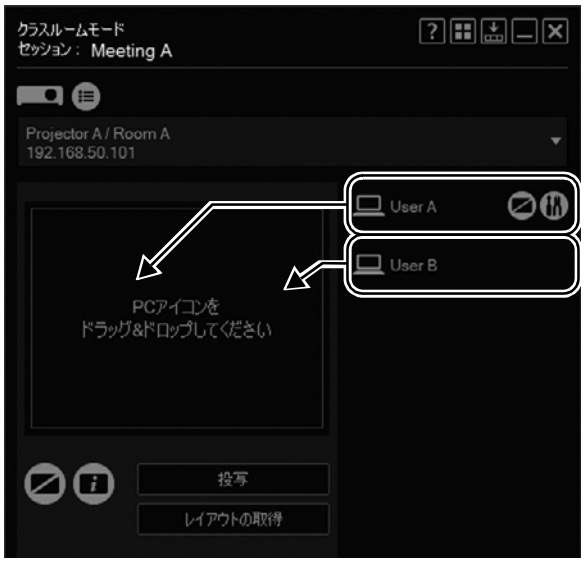
- 「セッションパスワード」を設定すると、他のユーザーがセッションに参加する場合にそのパスワードの入力が必要になります。設定する場合は［Set］をクリックし、パスワードを設定してください。
- デスクトップ選択機能が有効になるのは、コンピューターがデュアルモニターをサポートしている場合だけです。

6 クラスルームモード画面が表示されます。投写を制御するプロジェクターをプルダウンリストから選択します。



7 **選択したプロジェクターで投写したいコンピューターを右の一覧から選択し、レイアウトエリアにドラッグ＆ドロップします。**

最大 4 台までのコンピューターをレイアウトエリアに配置できます。



8 **必要に応じ、レイアウトエリア内で投写したいコンピューターのレイアウトをドラッグ＆ドロップにより変更します。**

投写時には、レイアウトエリアでの配置に合わせて各コンピューターの画面が投写されます。



9 **［投写］をクリックします。**



レイアウトしたコンピューターの画面が投写されます。

- 投写を停止するには、［投写停止］をクリックします。
- 投写中にレイアウトを変更した場合は、改めて［投写］をクリックしてください。レイアウトを変更しただけでは、変更内容は投写に反映されません。

10 **セッションを終了する場合は、画面右上の ⊞ または ✕ をクリックします。**



11 **確認画面が表示されます。[閉じる] をクリックします。**



モード選択画面に戻ります。

操作手順 (参加者の場合)

1 モード選択画面で［クラスルームモード］を選択します。



2 セッション選択画面が表示されます。参加するセッションの［Enter］をクリックします。



サブネット外のセッションに参加する場合は、 をクリックし、プロジェクターの IP アドレスを入力して検索を行ってください。サブネット外のセッションが検索されます。詳しくは「セッション選択画面を活用する」(P236) を参照してください。

3 **セッションへのログイン画面が表示されます。セッションパスワード、自分のニックネーム、デスクトップ選択（プライマリモニター / セカンダリモニターのどちらを表示するか）を設定し、[OK] をクリックします。**



デスクトップ選択は、コンピューターがデュアルモニターに設定されている場合に表示されます。

4 **クラスルームモード画面（参加者）が表示されます。参加者は、レイアウトの変更、投写の開始、停止は設定できません。**



5 セッションを終了する場合は、画面右上の または をクリックします。

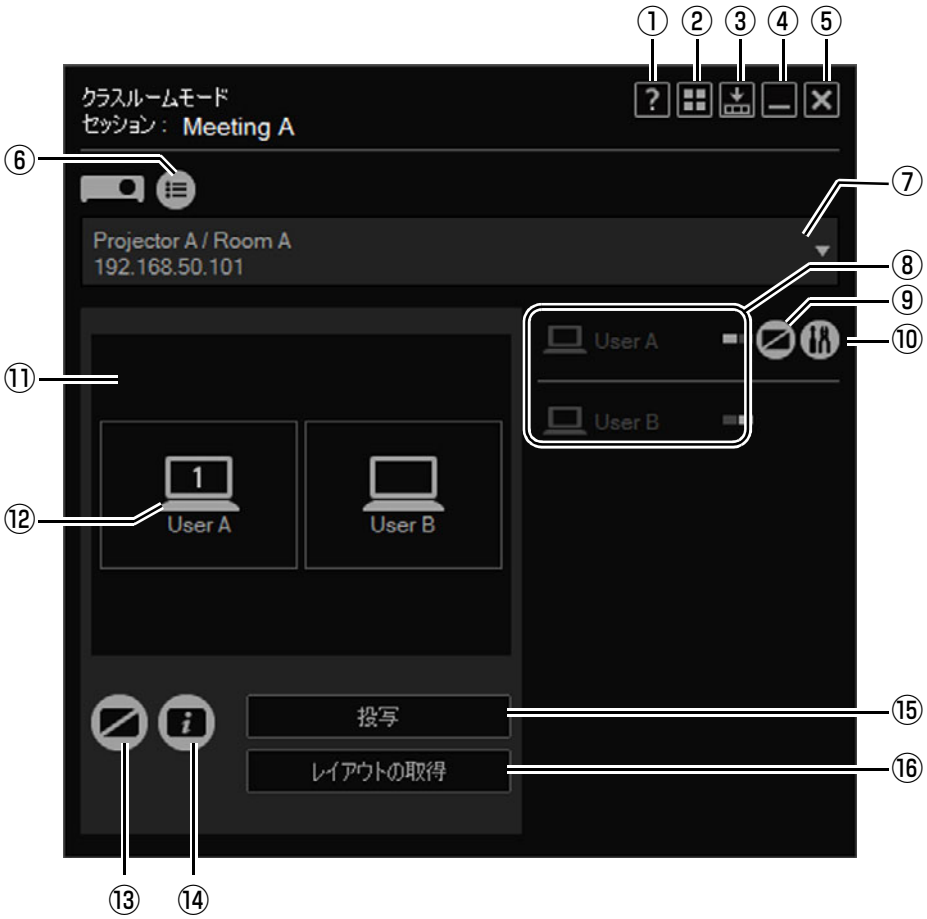


6 確認画面が表示されます。[退出] をクリックします。



モード選択画面に戻ります。

クラスルームモード画面 (司会者用) について



①ヘルプ
本アプリケーションのヘルプを表示します。

②モード選択画面に戻る
モード選択画面に戻ります。

③小型化
画面を小型化します。(P254)

④最小化
画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

⑤終了
モード選択画面に戻ります。

⑥プロジェクターリスト
プロジェクターリストを表示します

⑦プロジェクタープルダウンリスト
接続しているプロジェクターの一覧が表示されます。ここで選択したプロジェクターが、この画面での設定対象になります。

⑧コンピューター
接続中のコンピューターの一覧です。コンピューターをレイアウトエリアにドラッグ&ドロップすることで、投写できるようになります。一番上のコンピューターは、自分自身のコンピューターを示します。
 は、白い点がレイアウトエリアでのこのコンピューターの位置を表します。

⑨コンピューターブランク
このコンピューターからの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

⑩設定
設定画面を表示します。(P252)

⑪レイアウトエリア
コンピューターをここにドラッグ&ドロップして、コンピューターの投写位置を決めます。

⑫配置されたコンピューター
ドラッグ&ドロップで配置を変えることができます。自分のコンピューターで、セカンダリモニターが有効な場合のみ、数字が表示されます。
クリックすることで、プライマリモニター / セカンダリモニターを切り換えることができます。

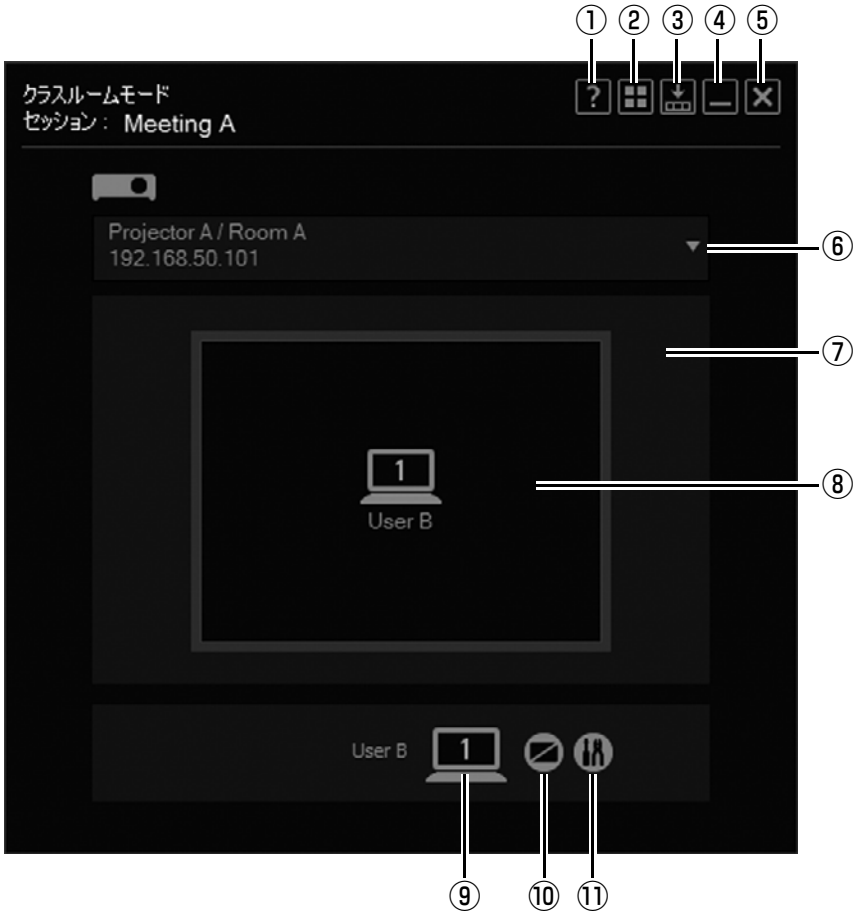
⑬プロジェクターブランク
プロジェクターの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

⑭情報表示
他のユーザーがセッションに参加する際に必要となる情報をプロジェクターで投写します。ここで投写されるIPアドレスは、セッションに使用されているいずれかのプロジェクターのものです。

⑮投写
プロジェクターでの投写を開始します。投写中は、ボタンが［投写停止］になり、クリックすることで投写が停止します。

⑯レイアウトの取得
選択中のプロジェクターのレイアウトを表示します。

クラスルームモード画面 (参加者用) について



①ヘルプ
本アプリケーションのヘルプを表示します。

②モード選択画面に戻る
モード選択画面に戻ります。

③小型化
画面を小型化します。(P254)

④最小化
画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

⑤終了
モード選択画面に戻ります。

⑥プロジェクタープルダウンリスト
接続しているプロジェクターの一覧が表示されます。ここで選択したプロジェクターが、この画面での設定対象になります。

⑦レイアウトエリア
投写用に選択されたコンピューターが表示されます。

⑧投写状況
投写状態を表示します。

⑨コンピューター
お使いのコンピューターで、セカンダリモニターが有効な場合のみ、数字が表示されます。クリックすることで、プライマリモニター / セカンダリモニターを切り換えることができます。

⑩コンピューターブランク
このコンピューターからの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

⑪設定
設定画面を表示します。(P252)

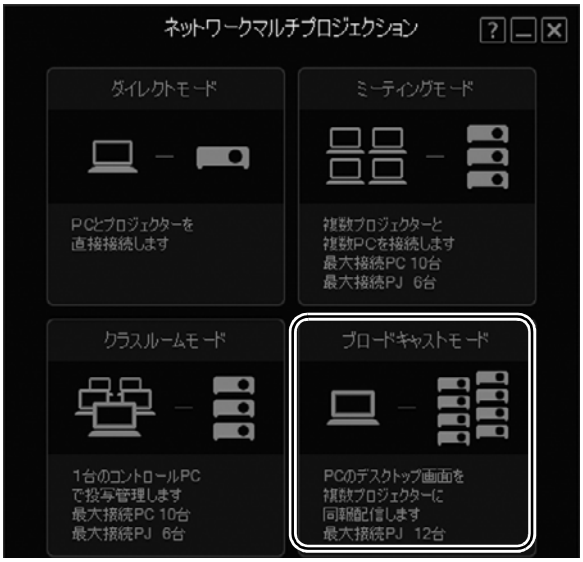
ブロードキャストモードで使用する

ブロードキャストモードでは、1 台のコンピューターを最大 12 台のプロジェクターに接続します。

ブロードキャストモードにおいて、サブネット外のプロジェクターにコンピューターから投写する場合には、ルーターにマルチキャストルーティングの設定が必要です。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

操作手順

1 **モード選択画面で［ブロードキャストモード］を選択します。**



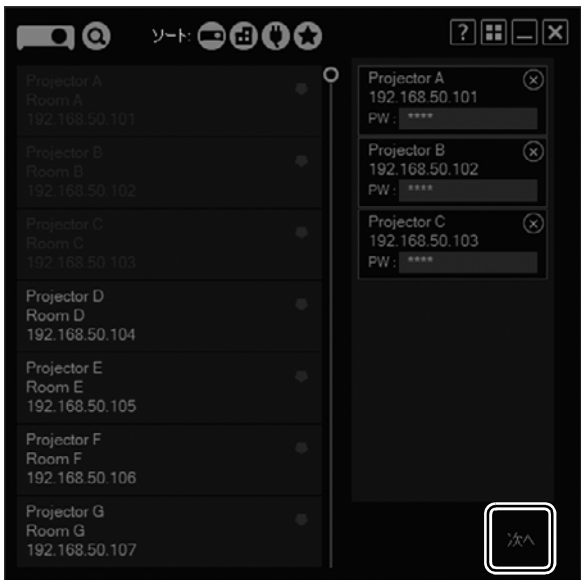
2 **プロジェクター選択画面が表示されます。左のプロジェクター一覧から、接続するプロジェクターをクリックします。**

プロジェクターは最大 12 台まで選択できます。選択されたプロジェクターは右の一覧に表示されます。



- ネットワーク・マルチ・プロジェクションの設定［NMPJ Password］(P166) が設定されている場合は、パスワードの入力を求められるので、パスワードを入力してください。
- プロジェクターの選択を解除するには、プロジェクターの右上の ⊗ をクリックしてください。
- プロジェクター選択画面については、「プロジェクター選択画面を活用する」(P238) を参照してください。

3 ［次へ］をクリックします。



4 ブロードキャストモード画面が表示されます。［投写］をクリックします。



コンピューターの画面が投写されます。

投写を停止するには、［投写停止］をクリックします。

5 セッションを終了する場合は、画面右上の ⊞ または ✕ をクリックします。

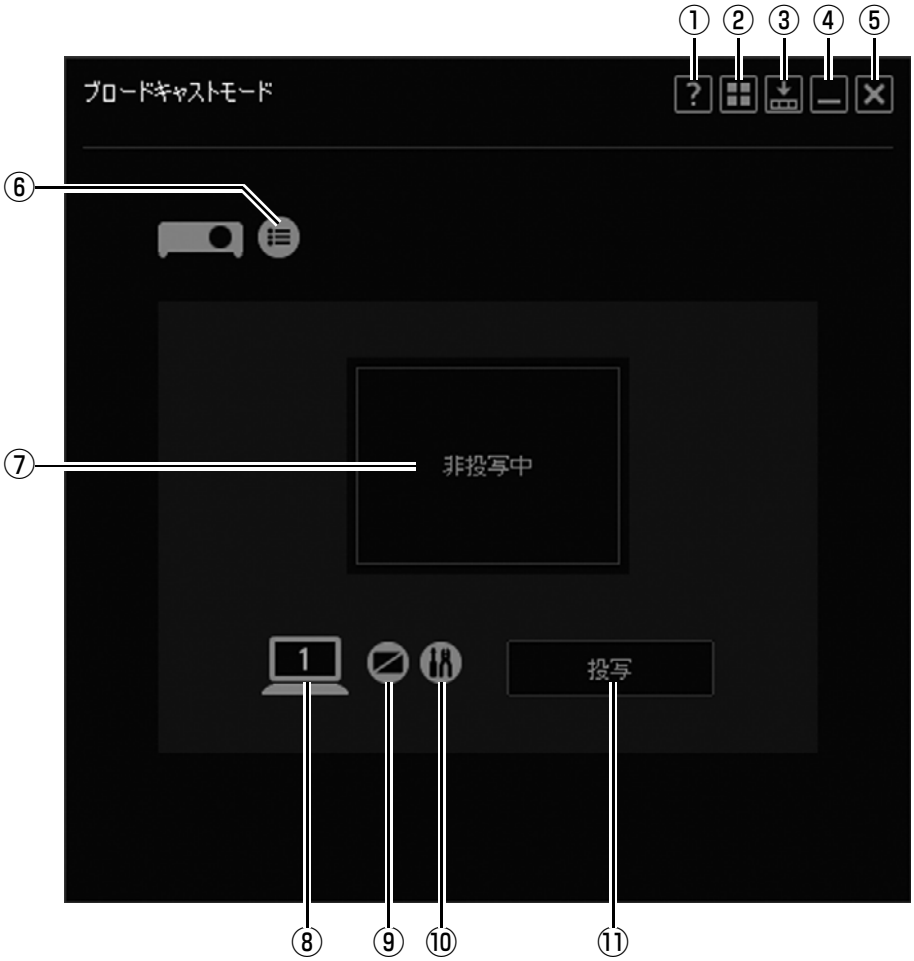


6 確認画面が表示されます。[閉じる] をクリックします。



モード選択画面に戻ります。

ブロードキャストモード画面について



①ヘルプ
本アプリケーションのヘルプを表示します。

②モード選択画面に戻る
モード選択画面に戻ります。

③小型化
画面を小型化します。(P254)

④最小化
画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

⑤終了
モード選択画面に戻ります。

⑥プロジェクターリスト
プロジェクターリストを表示します

⑦投写状況
投写状態を表示します。

⑧プライマリモニター / セカンダリモニター切り換え
お使いのコンピューターで、セカンダリモニターが有効な場合のみ、数字が表示されます。クリックすることで、プライマリモニター / セカンダリモニターを切り換えることができます。

⑨コンピューターブランク
プロジェクターの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

⑩設定
設定画面を表示します。(P252)

⑪投写
プロジェクターでの投写を開始します。投写中は、ボタンが［投写停止］になり、クリックすることで投写が停止します。

共通の機能

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

操作編
- 投写する
- プレゼンテーションで使える便利な機能
- メニューによる機能設定

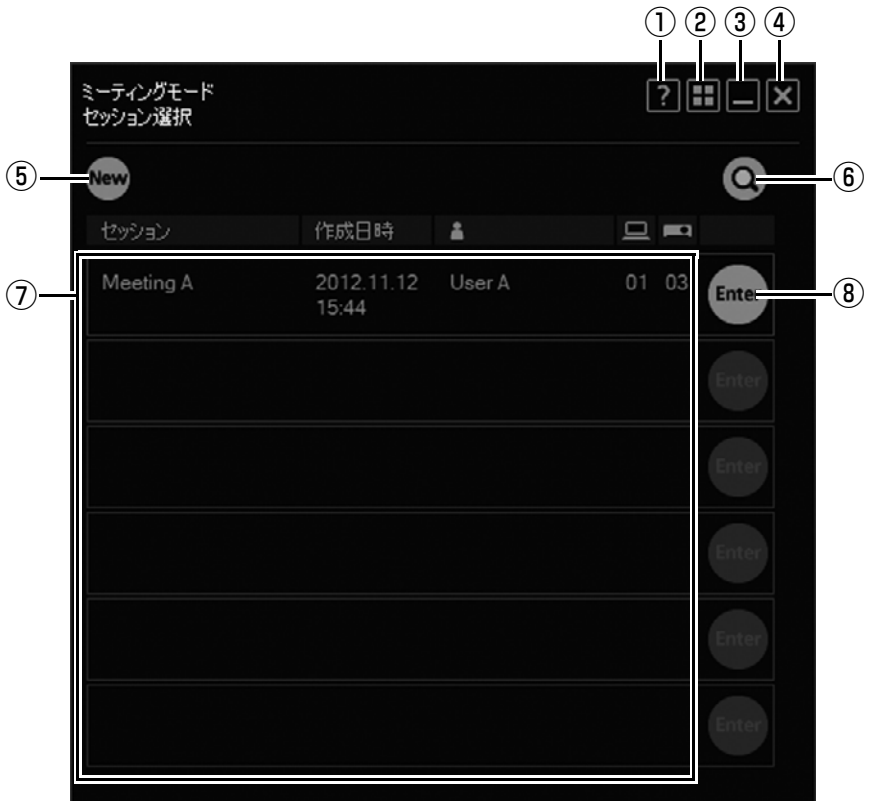
設置とメンテナンス編
- 設置する
- ネットワークに接続して使用する
- メンテナンス

NMPJ編
- ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要
- 各モードでの操作
- **共通の機能**

付録
- その他の情報
- 索引

セッション選択画面を活用する

セッション選択画面について



①ヘルプ
本アプリケーションのヘルプを表示します。

②モード選択画面に戻る
モード選択画面に戻ります。

③最小化
画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

④終了
モード選択画面に戻ります。

⑤【New】
新しくセッションを作成します。(P206)

⑥セッション検索
サブネット外のプロジェクターを使用したセッションを検索します。(P237)

⑦セッション一覧
セッションの一覧が表示されます。表示される情報は、セッション名、作成日時、作成者のニックネーム、コンピューターの参加台数、プロジェクターの参加台数です。

⑧[Enter]
セッションに参加します。(P212)

セッションを検索する

セッション選択画面でセッションを検索することができます。

1 **セッション選択画面で をクリックします。**

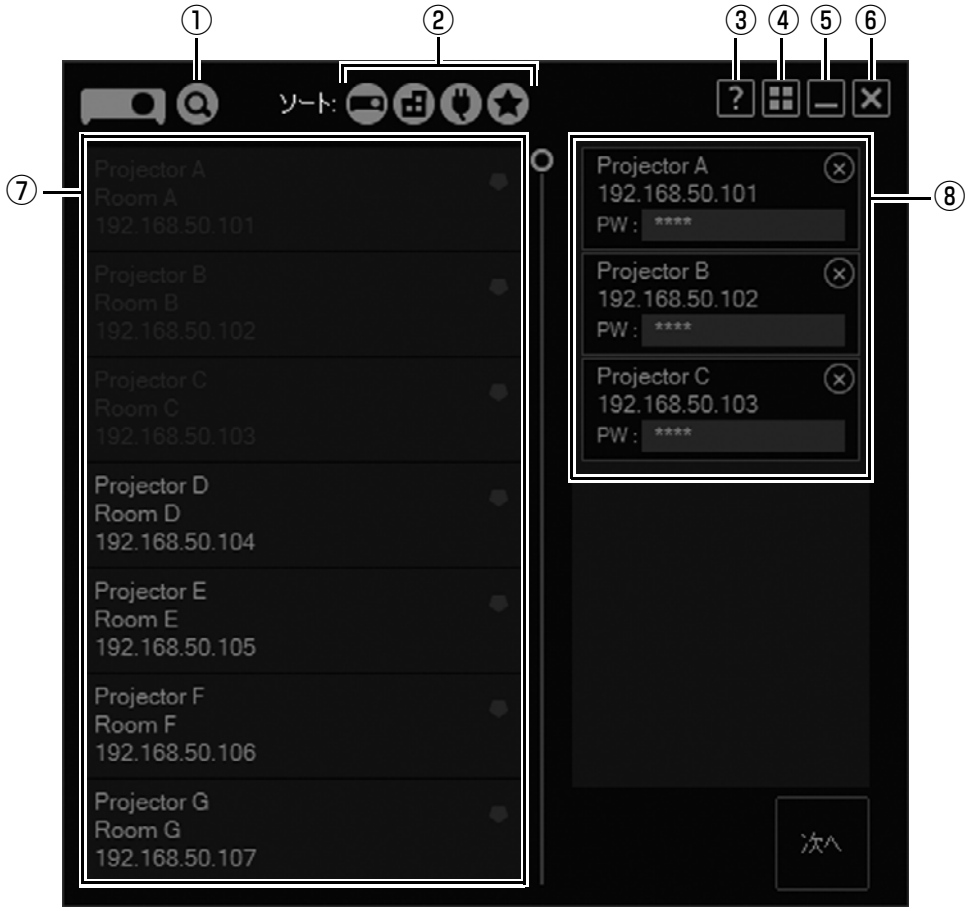


2 **検索画面が表示されます。参加したいセッションに含まれるプロジェクターのIP アドレスを入力し、 で検索します。見つかったセッションが表示されます。**



プロジェクター選択画面を活用する

プロジェクター選択画面について



①プロジェクター検索
サブネット外のプロジェクターを検索します。(P240)

②ソート
プロジェクター一覧を並べ替えます。(P243)

③ヘルプ
本アプリケーションのヘルプを表示します。

④モード選択画面に戻る
モード選択画面に戻ります。

⑤最小化
画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

⑥終了

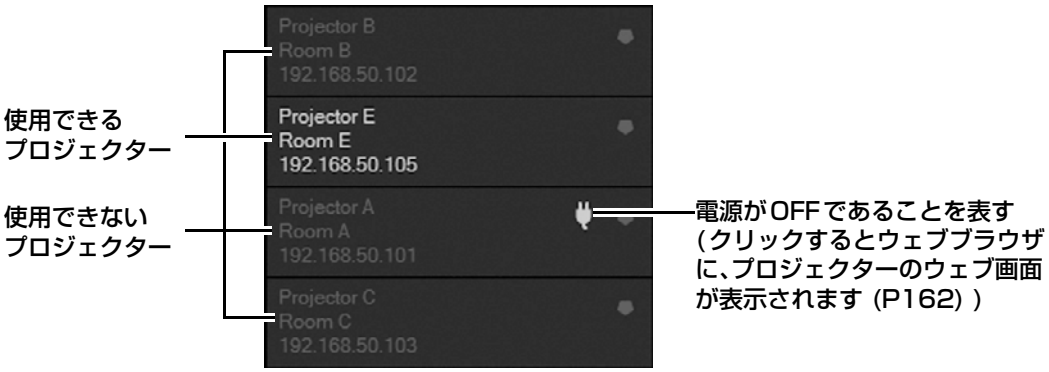
モード選択画面に戻ります。

⑦プロジェクター一覧

プロジェクターが表示されます。表示される情報は、プロジェクターの名前、設置場所、IPアドレスです。使用可能なプロジェクターは白い文字で表示されます。

他のコンピューターが使用中、または、電源がOFFなど、現在使用できないプロジェクターはグレーの文字で表示されます。

一覧でクリックしたプロジェクターは、セッションで使用するプロジェクターとして選択され、右側の欄に表示されます。選択されたプロジェクターも、グレーの文字で表示されます。



⑧セッションで使用するプロジェクター一覧

左のプロジェクター一覧で選択したプロジェクターが表示されます。パスワードが設定されたプロジェクターを使用するには、PW欄にパスワードを入力する必要があります。

この一覧から削除する場合は、⊗ をクリックします。

■ プロジェクターを検索する

サブネット外のプロジェクターを検索するには、プロジェクター選択画面で以下の操作を行います。

1 **プロジェクター選択画面で をクリックします。**



2 **検索画面が表示されます。プロジェクターのIPアドレスを入力し、 をクリックします。**



3 プロジェクターが検索されたら、[OK] をクリックします。



選択したプロジェクターがプロジェクターリストに追加されます。

■ パスワードの設定されたプロジェクターを選択する

パスワードの設定されたプロジェクターを選択すると、パスワード入力欄が表示されるので、パスワードを入力してください。



■ お気に入り機能を使用する

よく使うプロジェクターをお気に入りに登録することができます。
お気に入りに登録したプロジェクターは、★（お気に入りソートボタン）をクリックすることで、プロジェクターリストの上のほうに表示することができます。お気に入りに登録できるプロジェクターは最大５台です。

お気に入りに登録するには、プロジェクター選択画面でお気に入りマークをクリックします。



プロジェクターがお気に入りに登録され、お気に入りマークが星形に変わります。



■ プロジェクター一覧を並べ替える

ソートボタンをクリックすることで、プロジェクターを並べ替えることができます。



プロジェクター名順に並べ替えます。

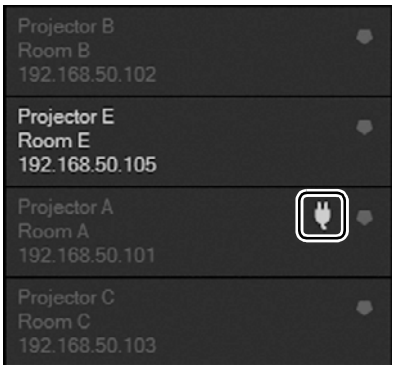
設置場所の名前順に並べ替えます。

電源ONのものが上にくるよう並べ替えます。

お気に入り登録したものが上にくるよう並べ替えます。

■ プロジェクターの電源を ON にする

プロジェクター選択画面で が表示されているプロジェクターは電源が切れた状態です(電源が切れた状態では、プロジェクターを選択できません)。
をクリックすることで、プロジェクターのウェブ画面が表示され、プロジェクターの電源をONにすることができます。

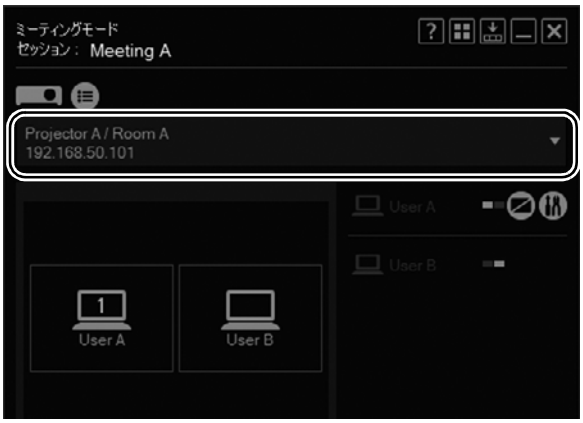


以降の操作については、「ウェブ画面による操作」(P175) を参照してください。

電源を ON にすることで、プロジェクターが選択できるようになります。

■ 操作するプロジェクターを切り換える

レイアウト画面では、プロジェクターの投写レイアウトを設定することができます。
設定対象のプロジェクターを切り換えるには、プロジェクターのプルダウンリストから、プロジェクターを選択します。



■ プロジェクターを一括して操作する

プロジェクターのプルダウンメニューで［ALL］を選択することで、すべてのプロジェクターの投写レイアウトを一括して設定することができます。



■ 複数のプロジェクターで投写する（マルチ投写）

ミーティングモードやクラスルームモードでは、複数のプロジェクターでそれぞれ別の画像を投写することができます。この機能をマルチ投写といいます。マルチ投写をする場合は、ミーティングモードまたはクラスルームモードのレイアウト機能画面で、使用するプロジェクターに対して１つずつ投写レイアウトを設定していきます。

1 **ミーティングモードまたはクラスルームモードのレイアウト機能画面で、1 つめのプロジェクターの投写レイアウトを設定します。**

レイアウトエリアにコンピューターをドラッグ＆ドロップし、［投写］をクリックすることで、画像が投写されます。



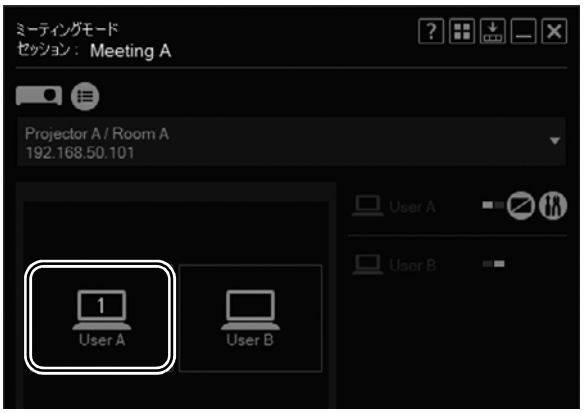
2 **プロジェクターのプルダウンリストから、使用する別のプロジェクターを選択します。**



3 **手順１、２を繰り返し、使用するすべてのプロジェクターで投写するコンピューターを設定します。**

■ プライマリモニター / セカンダリモニター画面を切り換える

本アプリケーションでは投写するモニターをプライマリモニターとセカンダリモニターとで切り換えることができます。
自分のコンピューターがセカンダリモニターに対応している場合、コンピューターが数字付きで表示されます。「1」はプライマリモニター、「2」はセカンダリモニターを表します。
投写するモニターを切り換えるには、数字付きのコンピューターをクリックします。



■ 一時的に 1 つの画面を拡大する

複数のコンピューターを投写しているとき、いずれかのコンピューターの投写を拡大することができます。拡大表示をするには、レイアウトエリアのコンピューターにポインターを重ね、左上の  をクリック後、［投写］をクリックします。選択したコンピューターの映像が、全画面サイズで投写されます。
拡大表示を解除するには、再度レイアウトエリアのコンピューターにマウスポインターを重ねます。左上に  が表示されるのでクリック後、［投写］をクリックします。



■ セッション情報を投写する

他のユーザーがセッションに参加するうえで必要となるセッション情報（セッション名、プロジェクターのIPアドレス）をプロジェクターで投写することができます。セッション情報を投写するには、 をクリックします。表示を消すには、もう一度 をクリックします。



■ 投写をすべてブランクにする

ブランクは、コンピューターからの投写を停止し、一時的に何も投写しない状態にすることです。ブランクにするには、 をクリックします。ブランクを解除し通常の投写に戻るには、もう一度 をクリックします。



ダイレクトモード画面



ミーティングモード画面



クラスルームモード画面（司会者）



ブロードキャストモード画面

■ 自分のコンピューターの投写をブランクにする

ミーティングモードとクラスルームモードでは、自分のコンピューターのみをブランクにすることができます。自分のコンピューターをブランクにするには、コンピューター一覧の  をクリックします。ブランクを解除し通常の投写に戻るには、もう一度 をクリックします。



ミーティングモード画面



クラスルームモード画面（参加者）

■ セッション中にコンピューターが参加 / 退出した場合

ミーティングモードとクラスルームモードでは、セッションの途中でコンピューターが参加したり、参加しているコンピューターが退出することができます。参加してきた場合、レイアウト画面のコンピューターの一覧に、参加したコンピューターが表示されます。



また、参加していたコンピューターが退出した場合は、コンピューター一覧からそのコンピューターが消えます。



各種設定を実施する

コンピューターから投写する画質やニックネームなど、本アプリケーションの設定を変更することができます。

1 **コンピューターのアイコンの横に表示されている をクリックします。**



2 **設定画面が表示されます。各項目を設定し、［OK］をクリックします。**



設定できる項目は以下のとおりです（項目の種類は、モードにより多少異なります）

⚠ 各レイアウト画面の小型化時に設定画面を表示させると、一部が画面外に表示される場合があります。

画質設定　画質とフレームレートを考慮し , 以下から選択します。

高　：フレームレートを落として画質を優先させます。画質を劣化させたくない場合はこのモードを選択してください。

中　：画質とフレームレートのバランスを考慮します。

低　：画質を落としてフレームレートを優先させます。ネットワークの使用帯域を低減したい場合は、このモードを選択してください。

リアル　On　：コンピューターのモニターの解像度で投写します。本機能が有効になるのは以下の場合です。1 台のコンピューターで投写する、または、複数台のコンピューターで投写中に、その中の 1 台のコンピューターを拡大投写するとき、コンピューターのモニター解像度がプロジェクターの投写解像度より低い場合です。

Off　：プロジェクターの画面サイズに合わせて、自動で投写サイズを調整します。

投写タイプ　ノーマル　：一部投写されないウィンドウがありますが、コンピューター上のカーソルは点滅しません。

アドバンス：ほとんどのウィンドウが投写されますが、コンピューター上のカーソルが点滅します。(点滅はコンピューター上のみで、投写される画面では点滅しません)

ニックネーム　セッションを作成したとき （ 参加したとき ） に設定したニックネームです。セッション中に変更できます。この項目は、ダイレクトモードとブロードキャストモードでは表示されません。

マルチキャストアドレス　ブロードキャストモードで使用するマルチキャストアドレスを変更できます。マルチキャストアドレスが他のネットワーク機器と競合する場合に、この設定によりマルチキャストアドレスを変更してください。この項目はブロードキャストモードでのみ表示されます。

画面を小型化する

各モードの画面は、小型化して最小限のボタン、情報だけを表示する状態にできます。

1 **をクリックします。**



画面が小型化されます。



マウスが画面上にない場合は、タイトルバーが消え、さらに小さくなります。



2 **元のサイズに戻すには、 をクリックします。**



■ 接続可能な台数を超えた場合

接続できるコンピューターやプロジェクターの数はモードごとに決まっています。上限数を超えてのセッションへのコンピューターの参加、プロジェクターの追加はできません。複数のコンピューターから同時に、上限を超えるセッションへの参加要求があった場合には、参加が拒否されることがあります。その場合、参加に失敗したコンピューターには、エラーメッセージが表示されます。

複数のコンピューターから同時に、上限を超えるプロジェクターのセッションへの追加指示があった場合には、プロジェクターの追加に失敗することがあります。その場合、プロジェクターの追加に失敗したコンピューターには、プロジェクターリストが更新された旨のメッセージが表示されます。

■ 通信が切断された場合

LANケーブルが抜けるなどして通信が切断された場合、通信できなくなったコンピューターやプロジェクターはセッションから抜けたことになります。セッションに含まれるコンピューターかプロジェクターがなくなった時点でセッションは終了します。

クラスルームモードでは、司会者のコンピューターが切断されるとセッションは終了します。

■ プロジェクターが検出できない場合

ブロードキャストモードでサブネット外のプロジェクターと接続する場合、プロジェクターが検出できなかったり、カーソルは表示されるのに映像データが表示されないときは、使用しているルーターがマルチキャストルーティングに対応しているか確認してください。IPv4 マルチキャストルーティングに対応していないルーターでは、ブロードキャストモードでサブネットを越えての接続はできません。また、ルーターには本アプリケーションで使用するマルチキャストアドレスをルーティングする設定を行う必要があります。

ブロードキャストモードでは、コンピューターからの映像が 30 秒以上届かなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。左上にはプロジェクターの IP アドレスと名称が表示されます。



制約事項

■ ルーターについて

本アプリケーションでは、ルーターを使用してコンピューターとプロジェクターを接続してもネットワークの通信が可能ですが、動作保証はホップ数 1 までです。また、ブロードキャストモードにおいて、サブネット外のプロジェクターにコンピューターから投写する場合には、ルーターにマルチキャストルーティングの設定が必要です。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ セキュリティ画面の投写について

セキュリティ画面 (Ctrl＋Alt＋Delを押下した時に表示される画面) は、本アプリケーションでは投写することができません。

■ セキュリティソフトについて

画面キャプチャーを制限するソフトウェアが動作している場合には、本アプリケーションでの投写ができないことがあります。

■ アニメーションカーソルについて

アニメーションカーソルのアニメーション動作は投写されません。

■ カーソルについて

ソフトウェアによっては、カーソルが正しく投写できない場合があります。この場合、矢印カーソルが投写されます。

■ 投写の制限について

コンピューター上で表示されているウィンドウやアイコンの中には、プロジェクター側で投写できないものもあります。投写タイプをアドバンスにすることで、投写可能なものが増えますが、すべてを投写できるわけではありません。
コンピューターの画面とプロジェクターの投写画面とが一致しない場合もあります。

■ ネットワーク帯域について

ネットワーク回線の状態によっては、プロジェクターへの投写が遅延する場合があります。

■ ファイアウォールがインストールされている場合

Windows ファイアウォールなど、外部との通信を制限するソフトウェアがインストールされている場合、一部の機能が使用できないことがあります。

■ 表示について

Windows のカスタムテキストサイズの設定を変更した場合、本アプリケーションの表示が乱れることがあります。

POWER
PROJECTOR

WUX450
WX520
WUX400ST
WX450ST

付録



付録

目次
安全にお使いいただくために
はじめに
操作編
投写する
プレゼンテーションで使える便利な機能
メニューによる機能設定
設置とメンテナンス編
設置する
ネットワークに接続して使用する
メンテナンス
NMPJ編
ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要
各モードでの操作
共通の機能
付録
その他の情報
索引

LED インジケーターの見かた

本機に異常が発生すると、電源が切れた後、本体側面部のLEDインジケーターが点灯または点滅し続けます。

- 本機の冷却が終了した後に、電源コードを抜いてから対処してください。

LED インジケーターの状態	内容	原因と対処
WARNINGとTEMPが点灯	温度の異常	本機内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。本機側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、本機の内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。再度、同じワーニングが出る場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNINGとLAMPが点灯	ランプの異常	ランプが点灯しません。電源を入れ直して、ランプが点灯するか確認してください。また、吸気口や排気口がふさがれていないか、エアフィルターがホコリなどで目詰まりしていないか確認してください。空気の流れが悪くなり、本機内部の温度が上昇すると、表示されることがあります。エアフィルターが目詰まりしている場合は、清掃または交換を行ってください。(P179、P180) それでもランプが点灯しない場合は、新しいランプに交換してください。ランプを交換しても同じワーニングが出る場合は、ランプの駆動回路などの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNINGが3回点滅を繰り返し、LAMPが点灯	ランプカバーの異常	ランプカバーが開いています。電源プラグをコンセントから抜き、ランプカバーを正しく取り付けた後、再度電源を入れ直してください。 ランプカバーに問題がない場合は、ランプカバー検出スイッチなどの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNINGのみが4回点滅を繰り返す	冷却ファンの異常	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

LED インジケーターの状態	内容	原因と対処
WARNINGのみが5回点滅を繰り返す	電源の異常	電源の一部が異常な電圧になっているか、その他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNINGのみが3回点滅を繰り返す	フィルター異常	エアフィルターが取り付けられていません。エアフィルターが正しく取り付けられているか確認してください。再度、同じワーニングが出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

困ったときのアドバイス

■ 電源が入らない

原　因	対処のしかた
電源コードが正しく接続されていない	電源コードがきちんと接続されていることを確認してください。(P127)
電源コードを接続した直後である	電源プラグを接続し、1秒以上経過してから【POWER】ボタンを押してください。接続直後は電源を入れることができません。(P42)
ランプカバーが開いている	電源プラグをコンセントから抜き、ランプカバーを正しく取り付けた後、再度電源を入れ直してください。
吸気口または排気口がふさがれて本機内部の温度が上昇し、安全装置が作動した	安全装置の作動中は、電源コードを接続しても [POWER ON] インジケーターは点灯しません。なお安全装置は安全のため、お客様が解除できないようになっています。吸気口または排気口をふさいでるものを取り除き、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
エアフィルターが正しく取り付けられていない	エアフィルターが正しく取り付けられていることを確認してください。(P179)
キーロックが設定されている	本体またはリモコンのキーロック (P99) が設定されているか確認してください。

■ 映像が投写されない

原　因	対処のしかた
接続ケーブルが正しく接続されていない	コンピューターやAV機器とプロジェクターとが正しく接続されていることを確認してください。(P122、P125)
電源を入れて 20 秒経過していない	電源を入れると、約20秒間オープニング画面が表示されます。すぐに映像を投写する場合は、リモコンまたは本体操作部の【OK】ボタンを押してください。(P42)
AV 機器から映像が送られていない	接続したビデオカメラ、DVD 等で、映像の再生が行われていることを確認してください。
入力端子への接続が正しくない	接続している機器が本機の入力端子へ正しく接続されていることを確認してください。(P121)
接続機器の入力信号が選ばれていない	接続している機器と同じ入力信号が正しく［INPUT］メニューから選ばれていることを確認してください。(P44)
入力信号の形式が合っていない	入力信号の形式が正しく選ばれていることを確認してください。(P78、P270)
【BLANK】になっている	リモコンの【BLANK】ボタンを押してください。(P66)
コンピューター側の問題で映像が送られない	プロジェクター、コンピューターの順で電源を入れなおしてください。
ノート型コンピューター側の外部モニターへの出力が正しく設定されていない	ノート型コンピューターの外部モニターへの出力をオンに設定してください。外部モニターへの出力をオンにするには、コンピューターのキーボードの［Fn］を押しながら、［LCD］や［VGA］または画面のアイコンが表記されたファンクションキーを押します。Windows 7 では Windows ロゴキーを押しながらP キーを押すと、画面出力を切り換えることができます。(P129) なお、キー操作はノート型コンピューターの種類によって異なります。詳しくは、ご使用のノート型コンピューターの取扱説明書などを確認してください。
コンピューターの画面と同じ映像が表示されない	コンピューターの画面設定が2画面 (マルチディスプレイ) モードになっていないかを確認してください。2 画面モードになっている場合は、コンピューター側の操作で出力設定を複製表示モードにしてください。 なお、出力設定の方法はコンピューターによって異なります。詳しくは、ご使用のコンピューターの取扱説明書などを確認してください。
USB メモリ内の画面が投写できない	投写できるのは、最大画素数が 7000 × 7000 ドット、半角英数字のファイル名、FAT フォーマットのJPEG ファイルです。
2画面で表示できない	USB メモリ内のファイルやネットワークを投写しているときは、2画面で表示することができません。

原　因	対処のしかた
LAN ケーブル (シールドタイプ) が正しく接続されていない	プロジェクターにLANケーブル (シールドタイプ) が正しく接続されていることを確認してください。(P150)
ネットワークに接続できない	電源を入れて、約40秒間はネットワークに接続できません。(P162)

■ 音声が出ない

原　因	対処のしかた
音声ケーブルが正しく接続されていない	音声ケーブルの接続を確認してください。(P121)
【MUTE】になっている	リモコンの【MUTE】ボタンを押してください。(P67)
音量が最小に調整されている	リモコンの【VOL】ボタンまたは本体操作部の【VOL+】ボタンを押して音量を調整してください。(P67)
抵抗内蔵の音声ケーブルが使用されている	音声ケーブルは、抵抗なしのものを使用してください。
音声入力端子の選択が [切] になっている	適切な音声入力端子の設定に変更してください。(P137)

■ 映像が鮮明でない

原　因	対処のしかた
フォーカスが合っていない	フォーカスを調整してください。(P49)
スクリーンまでの距離が近すぎる	スクリーンとの距離が適正であるか確認してください。
本機がスクリーンの正面に置かれていない	スクリーンに対して過度に斜め方向から投写していないか確認してください。ある程度の角度であれば、台形ひずみの補正機能で補正できます。(P57)
温度差の激しい場所に移動した	温度の低い場所から温度の高い場所に移動した場合、レンズにくもりが発生する場合があります。しばらくすると、くもりは消え、正常な画面の投写が可能になります。
レンズが汚れている	レンズを清掃してください。(P178)
トラッキングが合っていない	[オートPC] または [トラッキング] でトラッキングを調整してください。(P47、P79)
動画がぼけて投写される	MBリダクションを設定してください。(P101)
MB リダクションが設定できない	USB メモリやネットワーク上のコンピューターに保存されている JPEG ファイル、ネットワーク・マルチ・プロジェクションで投写している映像には、MBリダクションが設定できません。また、イメージモードがプレゼンテーション、ダイナミック以外は、MBリダクションが設定できません。
シャープネスが設定できない	2画面投写時は、シャープネスの調整ができません。

■ 映像が正しく表示されない

原　因	対処のしかた
映像が上下、または左右逆に投写される	天吊り / リア投写の設定に誤りがあります。表示設定メニューで［反転表示］の設定内容を確認してください。(P130)
BNC ケーブル使用時に、ドットクロックが 162MHz を越える信号を入力している	コンピューター側で、信号のドットクロックを 162MHz 以下に設定してください。
一部のピンが結線されていないコンピューターケーブルを使用している	全てのピンが結線されたコンピューターケーブルを使用してください。

■ 電源が切れてしまう

原　因	対処のしかた
吸気口または排気口がふさがれている	吸気口または排気口がふさがれていないか確認してください。吸気口または排気口がふさがれていると、本機内部の温度が上昇し、本体保護のために自動的に電源が切れるようになっています。(［WARNING］インジケーターと [TEMP] インジケーターが点灯します。) 本機の温度が下がってから、吸気口または排気口をふさがないようにして、再度電源を入れてください。(P27、P42)
エアフィルターが汚れている	エアフィルターがホコリなどで目詰まりしていないか確認してください。 目詰まりしている場合はエアフィルターの清掃または交換を行ってください。(P179)
ランプが破裂している（またはランプの異常）	ランプが破裂している場合は「ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意」(P20) にしたがって対応してください。
使用環境が適正でない	使用環境が 0 ℃～ 40 ℃であることを確認してください。(P22) 海抜2,300m以上の高地でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。設置設定メニューの［ファンモード］ を [高地] にしてください。(P136)

■ リモコンの操作ができない

原　因	対処のしかた
電池が正しく入っていない / 電池が切れている	電池が正しく入っているか確認してください。電池が入っている場合は、新しい電池と交換してください。(P25)
リモコンの届かない位置から操作している	プロジェクター本体のリモコン受光範囲内で操作しているか確認してください。(P25)
リモコンと本機の間に障害物がある	プロジェクター本体のリモコン受光部とリモコンの間の障害物を取り除くか、障害物のない位置でリモコンを操作してください。
リモコンの使用環境が適正でない	プロジェクター本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていないか確認してください。(P25)
リモコンのチャンネル設定が合っていない	リモコンのチャンネル設定を切り換えていないか確認してください。システム設定メニューで「リモコン」の設定を確認できます。(P100)
キーロックでリモコンの操作を禁止している	「キーロック」でリモコンからの操作がロックされていないか確認してください。 システム設定メニューで「キーロック」を［切］に設定してください。(P99)

■ ネットワーク・マルチ・プロジェクションが操作できない

原　因	対処のしかた
インストールできない	モニターの解像度が、1,024 × 768 ドット以上であることを確認してください。 コンピューターなどの動作環境 (P190) をご確認ください。

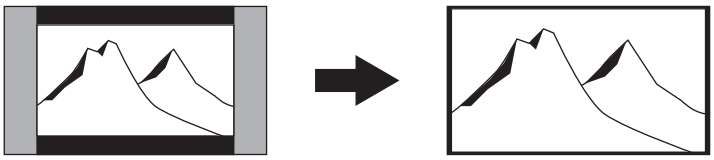
上記に該当する原因が見つからない場合、故障している可能性があります。
すみやかにキヤノンお客様相談センターまでご相談ください。

ユニバーサルインストーラによる NMPJ のインストールには、管理者権限が必要です。一般ユーザーでログインしている場合は、メッセージ「ネットワークマルチプロジェクションをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。」が表示されます。

アスペクトとスクリーンアスペクトの関係

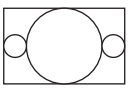
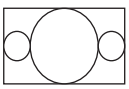
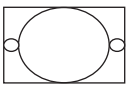
スクリーンアスペクト (P50) とアスペクト (P55) の関係を説明します。
スクリーンのサイズを最大に活かした投写を行うため、スクリーンの横縦比、入力信号の種類などに合わせて、最適なスクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。

- 16：9 の映像ソフトが［オート］で正常に投写されない場合は、アスペクトを［16：9］に設定してください。
- 地上波の映画放送などで、16：9の映像の上下に黒枠があるときは、アスペクトで［ズーム］を選ぶことで、16:9の領域を16:9スクリーンいっぱいに投写することができます。

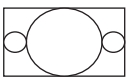
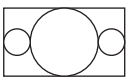
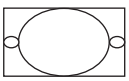


なお［ズーム］は、入力信号や解像度により選択できない場合があります。
- 台形ひずみの補正 (P57) を行うときは、スクリーンアスペクトを［4:3 Dイメージシフト］と［16:9 Dイメージシフト］以外に設定してください。

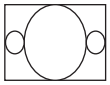
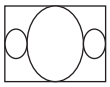
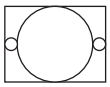
■ 16：10 のスクリーンいっぱいに投写するとき

接続機器のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 (P50)	アスペクトの設定 (P55)	画面のイメージ
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	［16：10］	［16：10］ ［オート］	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		［16：10］	
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		［16：10］	

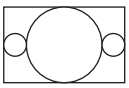
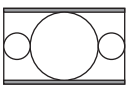
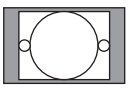
■ 16：9 のスクリーンいっぱいに投写するとき

接続機器のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 (P50)	アスペクトの設定 (P55)	画面のイメージ
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	［16：9］ ［16：9 Dイメージシフト］	［16：9］	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		［16：9］ ［オート］	
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		［16：9］	

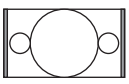
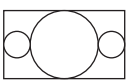
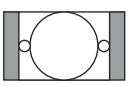
■ 4：3のスクリーンいっぱいに投写するとき

接続機器のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 (P50)	アスペクトの設定 (P55)	画面のイメージ
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[4：3] [4：3 D イメージシフト]	[4：3]	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		[4：3]	
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4：3] [オート]	

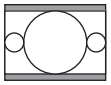
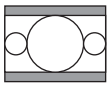
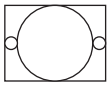
■ 16：10のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

接続機器のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 (P50)	アスペクトの設定 (P55)	画面のイメージ
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[16：10]	[16：10] [オート]	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16：9] [オート]	
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4：3] [オート]	

■ 16：9のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

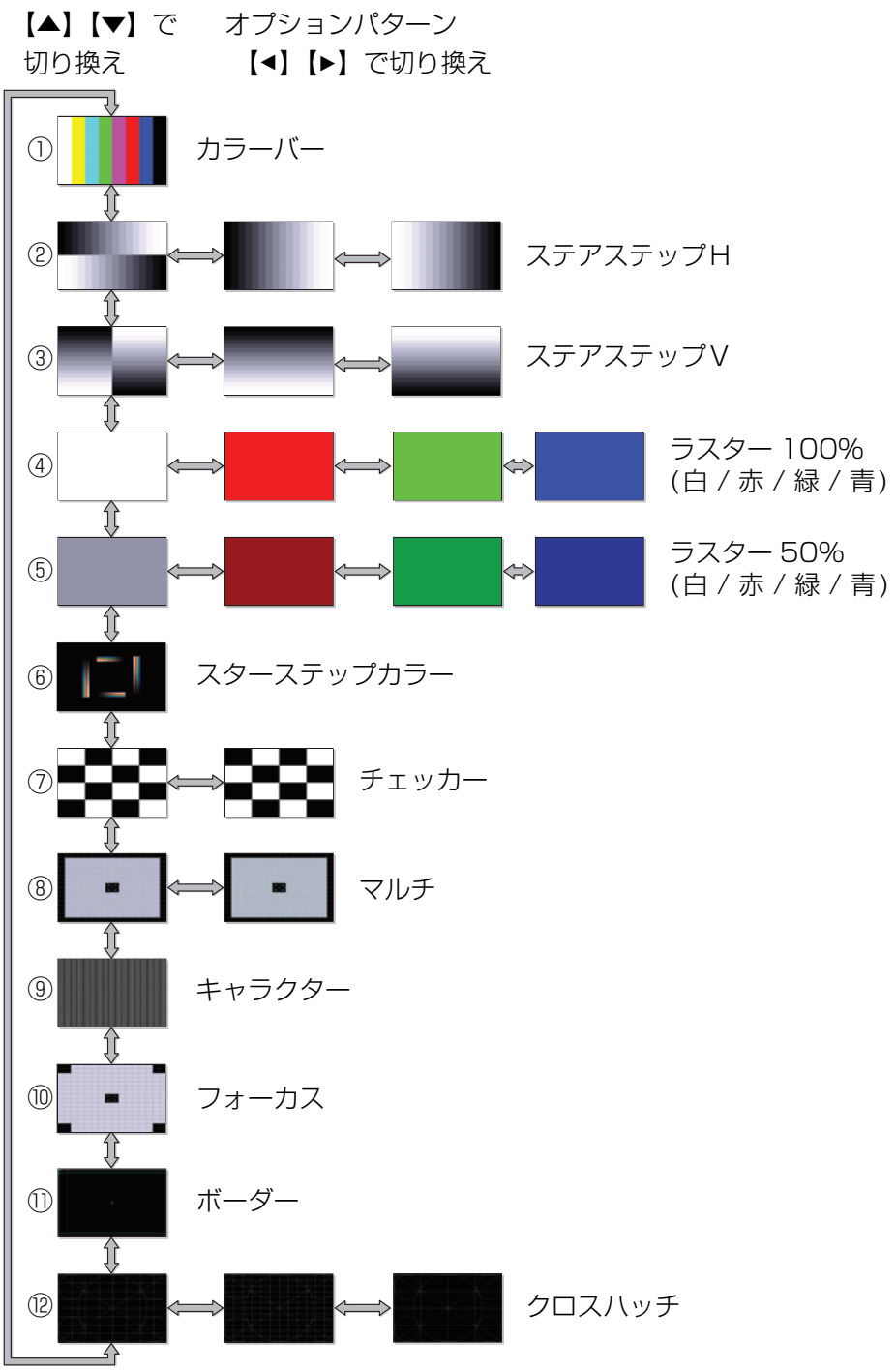
接続機器のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 (P50)	アスペクトの設定 (P55)	画面のイメージ
(16：10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[16：9] [16：9 D イメージシフト]	[オート]	
(16：9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16：9] [オート]	
(4：3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4：3] [オート]	

■ 4:3のスクリーンに接続機器のアスペクト比で投写するとき

接続機器のアスペクト比	スクリーンアスペクトの設定 (P50)	アスペクトの設定 (P55)	画面のイメージ
(16 : 10) 1920 × 1200 1440 × 900 1280 × 800	[4 : 3] [4 : 3 D イメージシフト]	[オート]	
(16 : 9) 1920 × 1080 1280 × 720		[16 : 9] [オート]	
(4 : 3) 1600 × 1200 1400 × 1050 640 × 480		[4 : 3] [オート]	

表示できるテストパターンについて

リモコンの【TEST PATTERN】ボタンを押すと、テストパターンを表示することができます。映像信号がない場合などに使用してください。
テストパターン表示中に【▲】【▼】ボタンを押すと、他のテストパターンに切り換えることができます。また、オプションのパターンがある場合、【◀】【▶】ボタンで切り換えることができます。テストパターンが表示されると、表示中のテストパターン名の略称と操作ガイドのダイアログが表示されます。
表示できるテストパターンは、以下のとおりです。



対応信号

本機には、次の信号形式が用意されています。
コンピューターまたはAV機器が下の表のいずれかに対応していれば、オートPC機能などにより入力信号が自動的に判断され、正しい映像を投写することができます。

アナログPC

解像度 (ドット)	信号形式	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
640 × 480	VGA	31.469	59.940
720 × 480	—	31.469	59.940
720 × 576	—	31.250	50.000
800 × 600	SVGA	37.879	60.317
848 × 480	—	31.020	60.000
1024 × 768	XGA	48.363	60.004
1280 × 720	—	45.000*1	60.000*1
1280 × 768	WXGA	47.776	59.870
		47.396	59.995
1280 × 800		49.702	59.810
		49.306	59.910
1280 × 960	—	60.000	60.000
1280 × 1024	SXGA	63.981	60.020
1366 × 768	—	47.712	59.790
1400 × 1050	SXGA+	64.744	59.948
		65.317	59.978
1440 × 900	WXGA+	55.935	59.887
		55.469	59.901
1600 × 900	—	60.000	60.000
1600 × 1200	UXGA	75.000	60.000
1680 × 1050	WSXGA+	64.674	59.883
		65.290	59.954
1920 × 1080	—	56.250	50.000
		67.500	60.000
1920 × 1200	WUXGA	74.038*2	59.950*2

デジタルPC

解像度 (ドット)	信号形式	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
640 × 480	D-VGA	31.469	59.940
720 × 480	—	31.469	59.940
720 × 576	—	31.250	50.000
800 × 600	D-SVGA	37.879	60.317
1024 × 768	D-XGA	48.363	60.004
1280 × 720	—	37.500	50.000
		45.000	60.000
1280 × 800	D-WXGA	49.702	59.810
		49.306	59.910
1280 × 1024	D-SXGA	63.981	60.020
1366 × 768	—	47.712	59.790
1400 × 1050	D-SXGA+	64.744	59.948
		65.317	59.978
1440 × 900	D-WXGA+	55.935	59.887
		55.469	59.901
1600 × 900	—	60.000	60.000
1600 × 1200	D-UXGA	75.000	60.000
1680 × 1050	D-WSXGA+	64.674	59.883
		65.290	59.954
1920 × 1080	—	27.000	24.000
		56.250	50.000
		67.500	60.000

解像度 (ドット)	信号形式	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
1080PsF (1920 × 1080i)	—	27.000	24.000
		28.125	25.000
		33.750	30.000
1920 × 1200	D-WUXGA	74.038*2	59.950*2

HDMI

コンピューターと接続時

解像度 (ドット)	信号形式	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
640 × 480	VGA	31.469	59.940
800 × 600	SVGA	37.879	60.317
1024 × 768	XGA	48.363	60.004
1280 × 800	WXGA	49.702	59.810
		49.306	59.910
1280 × 1024	SXGA	63.981	60.020
1366 × 768	—	47.712	59.790
1400 × 1050	SXGA+	64.744	59.948
		65.317	59.978
1440 × 900	WXGA+	55.935	59.887
		55.469	59.901
1600 × 900	—	60.000	60.000
1600 × 1200	UXGA	75.000	60.000
1680 × 1050	WSXGA+	64.674	59.883
		65.290	59.954
1920 × 1200	WUXGA	74.038*2	59.950*2

AV機器と接続時

信号形式	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
480p	31.469	59.940
576p	31.250	50.000
720p	37.500	50.000
	45.000	60.000
1080i	28.125	50.000
	33.750	60.000
1080p	27.000	24.000
	56.250	50.000
	67.500	60.000

コンポーネント

信号形式	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
480i	15.734	59.940
480p	31.469	59.940
576i	15.625	50.000
576p	31.250	50.000
720p	37.500	50.000
	45.000	60.000
1080i	28.125	50.000
	33.750	60.000
1080p	56.250	50.000
	67.500	60.000
1080PsF	27.000	24.000
	28.125	25.000
	33.750	30.000

*1 WX520 / WX450ST、*2 WUX450 / WUX400ST

※ 表中の仕様は予告なしに変更する場合があります。

※ ドットクロックが162MHzを越えるコンピューター出力には対応しておりません。

※ コンピューターケーブルは全てのピンが結線された (全結線) タイプを使用してください。全結線でないタイプでは、映像が正しく表示されない場合があります。

製品の仕様

■ 本体
WUX450 / WX520

型名		WUX450	WX520
表示方式		3 原色液晶方式	
光学方式		ダイクロイックミラー、偏光ビームスプリッターによる色分離・プリズムによる色合成方式	
表示素子	形式	反射型液晶パネル	
	サイズ / アスペクト比	0.71 型× 3 / 16:10	0.70 型× 3 / 16:10
	駆動方式	アクティブマトリックス方式	
	画素数 / 総画素数	2,304,000 (1920 × 1200) × 3 枚 / 6,912,000	1,296,000 (1440 × 900) × 3 枚 / 3,888,000
投写レンズ	ズーム比 / 焦点距離 / F 値	1.8 倍 / 21.7 – 39.0 mm / F2.8	
	ズーム / フォーカス方式	手動 / 手動	
	レンズシフト	V : 0% ～ +60% (手動) H : ± 10% (手動)	V : 0% ～ +62% (手動) H : ± 10% (手動)
光源		250-NSHA 260W	
画面サイズ (投写距離)		40 ～ 300 型 (1.2 ～ 16.2m)	40 ～ 300 型 (1.2 ～ 16.6m)
再現色数		1,677 万色 (フルカラー)	
明るさ *2 (プレゼンテーションモード時)		4500 ルーメン	5200 ルーメン
コントラスト比 *2		2000:1 (全白 : 全黒、プレゼンテーションモード、アイリス［入］)	
周辺照度比 *2		90%	
スピーカー		5W・モノラル× 1	
最大入力解像度		1920 × 1200 ドット	1920 × 1080 ドット
映像信号	アナログ PC 入力	WUXGA*1、WSXGA+、UXGA、WXGA+、SXGA+、SXGA、WXGA、XGA、SVGA、VGA	
	デジタル PC 入力	D-WUXGA*1 、D-WSXGA+、D-UXGA、D-WXGA+、D-SXGA+、D-SXGA、D-WXGA、D-XGA、D-SVGA、D-VGA	
	HDMI 入力	コンピューターと接続時: WUXGA*1 、WSXGA+、UXGA、WXGA+、SXGA+、SXGA、WXGA、XGA、SVGA、VGA AV 機器と接続時 : 1080p、1080i、720p、576p、480p	
	コンポーネントビデオ入力	1080PsF、1080p、1080i、720p、576p、576i、480p、480i	
入力端子	DVI-I 端子	アナログ PC、デジタル PC 入力 (DVI コネクター 29 ピン)	
	HDMI 端子	デジタル PC、デジタルビデオ入力 (ディープカラーのみ対応)	
	アナログ PC / COMPONENT 端子	アナログ PC、コンポーネント (ミニ D-sub15 ピン)	
	LAN 端子	ネットワーク・マルチ・プロジェクション (RJ-45)	
	USB 端子	JPEG 画像 (マスストレージクラス)	
	CONTROL 端子	RS-232C (D-sub 9 ピン)	
	REMOTE 端子	ワイヤードリモコン (3.5φ ステレオミニジャック)	
	音声入力端子	音声信号 (3.5φ ステレオミニジャック× 2)	
音声出力端子		音声信号 (3.5φ ステレオミニジャック)	
入力信号	デジタル PC	TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)	
	アナログ PC	0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75Ω 水平・垂直同期 : TTL レベル、負または正極性	
	コンポーネントビデオ	コンポーネント : セパレート Y Cb / Pb Cr / Pr 信号 Y ; 1Vp-p、同期負、インピーダンス 75Ω Cb / Pb ; 0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω Cr / Pr ; 0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω	
	音声	インピーダンス 47K Ω 以上	
騒音		38dB / 32dB (ランプモード フルパワー / エコ)	

型名	WUX450	WX520
使用温度範囲	0～40℃	
電源	AC100V ～ 240V　50 / 60Hz	
消費電力 (フルパワー / エコ / 待機 LAN 省電力 / 待機 LAN OFF)	365W / 295W / 0.6W / 0.2W	355W / 285W / 0.6W / 0.2W
本体寸法	幅 337mm ×高さ 134mm ×奥行 370mm (突起部は含む)	
質量	5.9kg	
付属品	リモコン、リモコン用乾電池、電源コード、レンズキャップ、コンピューターケーブル、使用説明書 (本書) 、使用説明書 (CD-ROM)、保証書	

*1 WUX450 のみ
*2 出荷時における本プロジェクターの値を示しており、JIS X 6911: 2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書2 に基づいています。

WUX400ST / WX450ST

型名		WUX400ST	WX450ST
表示方式		3 原色液晶方式	
光学方式		ダイクロイックミラー、偏光ビームスプリッターによる色分離・プリズムによる色合成方式	
表示素子	形式	反射型液晶パネル	
	サイズ / アスペクト比	0.71 型× 3 / 16:10	0.70 型× 3 / 16:10
	駆動方式	アクティブマトリックス方式	
	画素数 / 総画素数	2,304,000 (1920 × 1200) × 3 枚 / 6,912,000	1,296,000 (1440 × 900) × 3 枚 / 3,888,000
投写レンズ	焦点距離 / F 値	8.8mm / F2.7	
	フォーカス方式	手動	
	レンズシフト	V : 0% ～ 75%(手動) H : ± 10% (手動)	V : 0% ～ 77%(手動) H : ± 10% (手動)
光源		250-NSHA 260W	
画面サイズ (投写距離)		50 ～ 200 型 (0.60 ～ 2.42m)	50 ～ 200 型 (0.61 ～ 2.48m)
再現色数		1,677 万色 (フルカラー)	
明るさ *2 (プレゼンテーションモード時)		4000 ルーメン	4500 ルーメン
コントラスト比 *2		2000:1 (全白 : 全黒、プレゼンテーションモード、アイリス［入］)	
周辺照度比 *2		80%	
スピーカー		5W・モノラル× 1	
最大入力解像度		1920 × 1200 ドット	1920 × 1080 ドット
映像信号	アナログ PC 入力	WUXGA*1、WSXGA+、UXGA、WXGA+、SXGA+、SXGA、WXGA、XGA、SVGA、VGA	
	デジタル PC 入力	D-WUXGA*1 、D-WSXGA+、D-UXGA、D-WXGA+、D-SXGA+、D-SXGA、D-WXGA、D-XGA、D-SVGA、D-VGA	
	HDMI 入力	コンピューターと接続時: WUXGA*1 、WSXGA+、UXGA、WXGA+、SXGA+、SXGA、WXGA、XGA、SVGA、VGA AV 機器と接続時　: 1080p、1080i、720p、576p、480p	
	コンポーネントビデオ入力	1080PsF、1080p、1080i、720p、576p、576i、480p、480i	

型名		WUX400ST	WX450ST
入力端子	DVI-I 端子	アナログ PC、デジタル PC 入力 (DVI コネクター 29 ピン)	
	HDMI 端子	デジタル PC、デジタルビデオ入力 (ディープカラーのみ対応)	
	アナログ PC / COMPONENT 端子	アナログ PC、コンポーネント (ミニ D-sub15 ピン)	
	LAN 端子	ネットワーク・マルチ・プロジェクション (RJ-45)	
	USB 端子	JPEG 画像 (マスストレージクラス)	
	CONTROL 端子	RS-232C (D-sub 9 ピン)	
	REMOTE 端子	ワイヤードリモコン (3.5φ ステレオミニジャック)	
	音声入力端子	音声信号 (3.5φ ステレオミニジャック× 2)	
音声出力端子		音声信号 (3.5φ ステレオミニジャック)	
入力信号	デジタル PC	TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)	
	アナログ PC	0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75Ω 水平・垂直同期 : TTL レベル、負または正極性	
	コンポーネントビデオ	コンポーネント : セパレート Y Cb / Pb Cr / Pr 信号 Y ; 1Vp-p、同期負、インピーダンス 75Ω Cb / Pb ; 0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω Cr / Pr ; 0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω	
	音声	インピーダンス 47KΩ 以上	
騒音		38dB / 32dB (ランプモード　フルパワー / エコ)	
使用温度範囲		0 ～ 40℃	
電源		AC100V ～ 240V　50 / 60Hz	
消費電力 (フルパワー / エコ / 待機 LAN 省電力 / 待機 LAN OFF)		365W / 295W / 0.6W / 0.2W	355W / 285W / 0.6W / 0.2W
本体寸法		幅 337mm ×高さ 134mm ×奥行 415mm (突起部は含む)	
質量		6.3kg	
付属品		リモコン、リモコン用乾電池、電源コード、レンズキャップ、コンピューターケーブル、使用説明書 (本書) 、使用説明書 (CD-ROM)、保証書	

*1 WUX400STのみ

*2 出荷時における本プロジェクターの値を示しており、JIS X 6911: 2003データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書2 に基づいています。

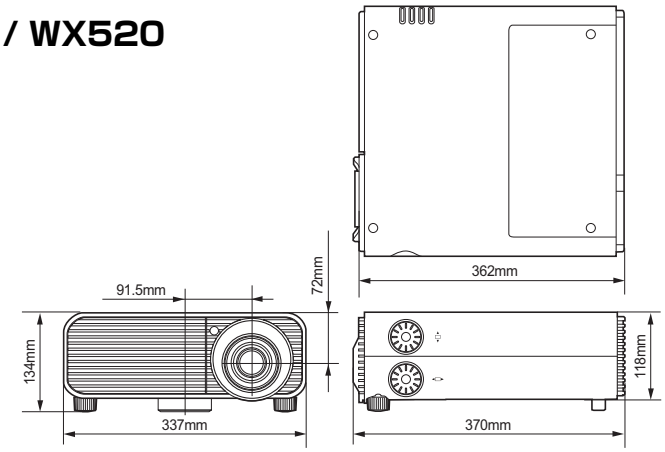
※液晶パネルの有効画素は99.99%以上です。投写中0.01%以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合がありますが、これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。
※長時間・連続使用する際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。
※本機はJIS C 61000-3-2 適合品です。

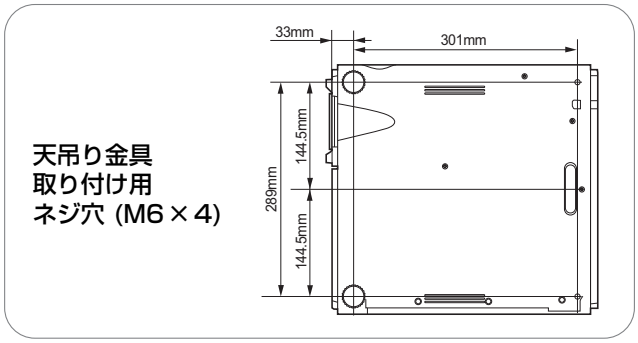
■ リモコン

型番	RS-RC06
電源	DC3.0V　単 4 形乾電池 2 本使用
到達距離	約 8m 縦横± 25° (受光部正面)
本体寸法	幅 43mm × 高さ 23mm × 奥行 135mm
質量	56ｇ

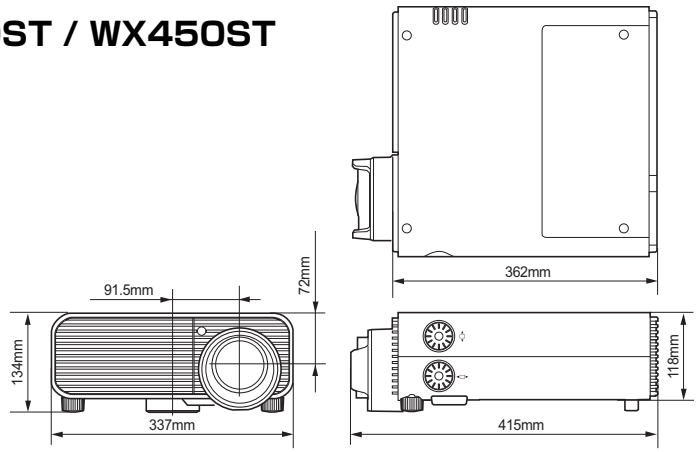
■ 外観図

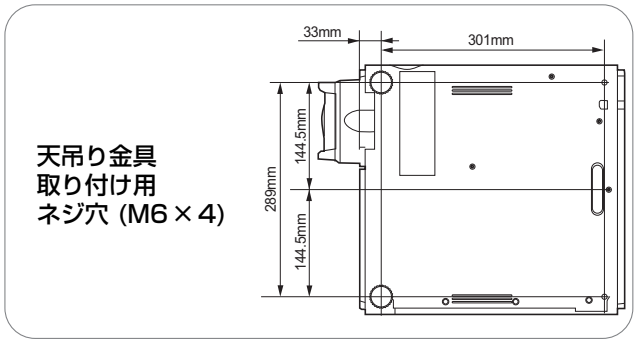
WUX450 / WX520





WUX400ST / WX450ST

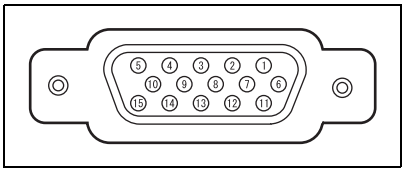




■ アナログ PC-2 / COMPONENT 端子

コンピューターのアナログ PC 入力、コンポーネント入力端子として動作します。接続にはD-sub用コンピューターケーブルを使用してください。
端子仕様は、アナログPC入力、コンポーネント入力とも同一です。

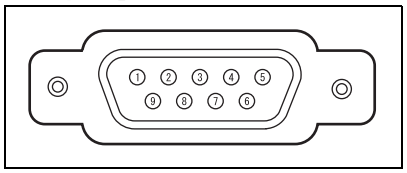
ミニD-sub15ピン



ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	R	9	+ 5V パワー
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	接地
4	OPEN	12	DDC データ
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	DDC クロック
8	接地 (B)		

■ サービス用端子 (CONTROL)

ピン配列



ピン番号	信号
1	OPEN
2	RxD
3	TxD
4	OPEN
5	GND
6	OPEN
7	内部プルアップ
8	OPEN
9	OPEN

通信フォーマット

通信方式　　: RS-232-C 調歩同期 半２重通信
通信速度　　: 19200bps
キャラクタ長　: 8ビット
ストップビット: 2ビット
パリティ　　: なし
フロー制御　　: なし

制御コマンド

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
電源	電源 ON	POWER=ON<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	電源 OFF	POWER=OFF<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
電源状態取得		GET=POWER<CR>	47h 45h 54h 3Dh 50h 4Fh 57h 45h 52h 0Dh
入力ソース	HDMI	INPUT=HDMI<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 0Dh
	デジタル PC	INPUT=D-RGB<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 0Dh
	アナログ PC-1	INPUT=A-RGB1<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 41h 2Dh 52h 47h 42h 31h 0Dh
	アナログ PC-2	INPUT=A-RGB2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 41h 2Dh 52h 47h 42h 32h 0Dh
	コンポーネント	INPUT=COMP<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 43h 4Fh 4Dh 50h 0Dh
	LAN	INPUT=LAN<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 4Ch 41h 4Eh 0Dh
	USB	INPUT=USB<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 55h 53h 42h 0Dh
入力ソース取得		GET=INPUT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Eh 50h 55h 54h 0Dh
イメージモード	スタンダード	IMAGE=STANDARD<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 53h 54h 41h 4Eh 44h 41h 52h 44h 0Dh
	プレゼンテーション	IMAGE=PRESENTATION<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 52h 45h 53h 45h 4Eh 54h 41h 54h 49h 4Fh 4Eh 0Dh
	フォト /sRGB	IMAGE=PHOTO_SRGB<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 48h 4Fh 54h 4Fh 5Fh 53h 52h 47h 42h 0Dh
	ダイナミック	IMAGE=DYNAMIC<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 44h 59h 4Eh 41h 4Dh 49h 43h 0Dh
	ビデオ	IMAGE=VIDEO<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 56h 49h 44h 45h 4Fh 0Dh
イメージモード	ユーザー 1	IMAGE=USER_1<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 31h 0Dh
	ユーザー 2	IMAGE=USER_2<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 32h 0Dh
	ユーザー 3	IMAGE=USER_3<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 33h 0Dh
	ユーザー 4	IMAGE=USER_4<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 34h 0Dh
	ユーザー 5	IMAGE=USER_5<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 35h 0Dh
イメージモード取得		GET= IMAGE<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Dh 41h 47h 45h 0Dh
明るさ	明るさ値設定	BRI=<数値><CR>	42h 52h 49h 3Dh <数字コード> 0Dh
明るさ取得		GET=BRI<CR>	47h 45h 54h 3Dh 42h 52h 49h 0Dh
シャープネス	シャープネス値設定	SHARP=<数値><CR>	53h 48h 41h 52h 50h 3Dh <数字コード> 0Dh
シャープネス取得		GET=SHARP<CR>	47h 45h 54h 3Dh 53h 48h 41h 52h 50h 0Dh

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
コントラスト	コントラスト値設定	CONT=＜数値＞<CR>	43h 4Fh 4Eh 54h 3Dh ＜数字コード＞ 0Dh
コントラスト取得		GET=CONT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 43h 4Fh 4Eh 54h 0Dh
アスペクト	オート	ASPECT=AUTO<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 41h 55h 54h 4Fh 0Dh
	4:3	ASPECT=4:3<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 34h 3Ah 33h 0Dh
	16:9	ASPECT=16:9<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 31h 36h 3Ah 39h 0Dh
	16:10	ASPECT=16:10<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 31h 36h 3Ah 31h 30h 0Dh
	ズーム	ASPECT=ZOOM<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 5Ah 4Fh 4Fh 4Dh 0Dh
	リアル	ASPECT=TRUE<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 54h 52h 55h 45h 0Dh
アスペクト値取得		GET=ASPECT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 41h 53h 50h 45h 43h 54h 0Dh
ランプモード	フルパワー	LAMP=FULL<CR>	4Ch 41h 4Dh 50h 3Dh 46h 55h 4Ch 4Ch 0Dh
	エコ	LAMP=ECO<CR>	4Ch 41h 4Dh 50h 3Dh 45h 43h 4Fh 0Dh
ランプモード値取得		GET=LAMP<CR>	47h 45h 54h 3Dh 4Ch 41h 4Dh 50h 0Dh
ブランク	実行	BLANK=ON<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	解除	BLANK=OFF<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
ブランク取得		GET=BLANK<CR>	47h 45h 54h 3Dh 42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 0Dh

索引

英数字

2 画面表示 71
4 点補正 133
6 軸色調整 92
ASPECT 56
AUTO PC 47
BLANK 66
BLANK 時画面 96
D. ZOOM 68
DHCP 155
DVI 43, 123
DVI-I 122, 123
DVI-I 入力端子 34
FREEZE 66
HDMI 43, 124, 125
HDMI オーバースキャン 83
HDMI カラーフォーマット 82
HDMI 入力端子 34, 124, 125
HDMI 入力レベル 82
IMAGE 61
INPUT 44
KEYSTONE 54, 57
LAN 接続端子 34
LED インジケーター 32, 260
MB リダクション 101
MENU 74
MUTE 67
OK 31
PJLink 157
POWER 42, 63
TCP / IP 設定 156
USB 69
USB 端子 34
VOL 67
WARNING インジケーター 33, 260

あ

明るさ 87
アスペクト 55, 266
アナログ PC 43, 122, 123
アナログ PC-1 122
アナログ PC-1 / DVI-I 入力端子 43, 122, 123
アナログ PC-2 ..... 122, 123
アナログ PC-2 / コンポーネント端子 43, 122, 123
アンビエントライト 90

い

イメージ調整 74
イメージモード (画質) 60
インフォメーション 74, 108

え

エアフィルター 179
映像の拡大 68
エコ設定 62
エッジブレンティング 143

お

オート PC 47
オート (アスペクト) 55
音声出力端子 34, 124, 126
音声入力端子 34, 122, 123, 126, 137
音量調節 67

か

ガイド 138
外部モニター切り換え (ノート型コンピューターの準備) ... 129
ガンマ補正 89

き

キーストーン 57
キーロック 99
記憶色補正 92
起動時画面 97

く

クラスルームモード 216

け

言語 102

こ

光学的なズーム 47
工場出荷設定 107
コントラスト 88
コンピューターとの接続 122
コンポーネント 43, 126

し

システム設定 74
シャープネス 88
省電力 62
信号形式 270

す

垂直位置 80
垂直表示ドット数 81
水平位置 80
水平表示ドット数 81
スクリーンアスペクト 50, 132, 266
スクリーン色補正 137
スライドショー 84

せ

接続端子 34
　AV 機器との接続 125
　コンピューターとの接続 122
設置ロック 130

そ

総ドット数 79

た

台形ひずみ調整 57
ダイナミックガンマ 91
ダイレクトパワーオン 98
ダイレクトモード 202
縦横キーストーン 133

て

デジタル PC 43, 123
デジタルイメージシフト 52
デジタルズーム 30
テストパターン 142, 269
電子音 98
電子的なズーム 133
天吊り 130

と

動作を設定する 95
トラッキング 79

に

入力信号選択 43

ね

ネットワーク機能 152, 153
ネットワーク設定 74
ネットワーク設定初期化 156
ネットワーク設定変更 151
ネットワークパスワード設定 152
ネットワークパスワード登録 152
ネットワーク・マルチ・
　プロジェクション 185

は

パスワード設定 102
パスワード登録 103
反転表示 (天吊り / リア投写) 130

ひ

表示解像度 (コンピューターの準備) 45
表示言語の選択 102, 128
表示状態を設定する 77

ふ

ブロードキャストモード 229
プログレッシブ 83

ほ

本体操作部 32

み

ミーティングモード 206
ミュート 67

め

メニュー 74
メニュー表示位置 138
メニュー表示時間 140

ら

ランプカウンター 104
ランプ交換 104, 140, 181, 182
ランプモード 94

り

リア投写 130
リアル (アスペクト) 55
リセット 94, 107
リモコン 25, 30, 100

ろ

ロゴを表示 97

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、本機に付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。
なお、保証内容については保証書に記載しております。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。
（ランプはキヤノンホームページからもご購入いただけます。）

■修理を依頼される前に

P260～P265の「困ったときには」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理方法

本商品は、引取修理させていただきます。
お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取サービスおよび代替機の貸し出しは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。
※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- **お客様のお名前**
- **ご住所、お電話番号**
- **商品の機種名およびシリアルナンバー**
- **故障の内容（できるだけ詳しく）**

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

別売品

- **交換ランプ　品番：RS-LP08**
- **天吊り金具　品番：RS-CL12**
  (WUX450 / WX520)
- **天吊り金具　品番：RS-CL13**
  (WUX400ST / WX450ST)
- **天吊りパイプ (400-600mm) 品番：RS-CL08***
- **天吊りパイプ (600-1000mm) 品番:RS-CL09***
- **交換エアフィルター　品番：RS-FL02**
- **リモコン　品番：RS-RC06**
- **リモコン　品番：RS-RC05**
- **オプション脚：RS-FT01**

* 高い天井から本機を吊り下げる場合に使用します。詳しくは天吊り金具RS-CL12 / RS-CL13の組立・設置説明書を参照してください。

メニューの構成

映像設定メニュー

※は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

アスペクト	デジタルPC / アナログPC-1,2/ HDMI ([HDMI入力]が[PC])	P77
	オート※	
	16:10	
	16:9	
	4:3	
	リアル	
	HDMI ([HDMI入力]が[オート]) / コンポーネント	
	オート※	
	16:9	
	4:3	
	ズーム	
	リアル	
	USB / LAN	
	オート	
オートPC	アナログPC-1,2	P78
入力信号選択	アナログPC-1,2	P78
	640 × 480	
	:	
	1920 × 1200	
入力信号設定	アナログPC-1,2	
	総ドット数	P79
	トラッキング	P79
	水平位置	P80
	垂直位置	P80
	水平表示ドット数	P81
	垂直表示ドット数	P81
HDMI入力レベル	HDMI	P82
	オート※	
	標準	
	拡張	
HDMIカラーフォーマット	HDMI	P82
	オート※	
	RGB	
	YCbCr	
HDMIオーバースキャン※1	HDMI	P83
	切	
	入	
プログレッシブ	コンポーネント / HDMI	P83
	切	
	フィルム / オート※	
	ビデオ1	
	ビデオ2	
	25p/30p(PsF)	

※1 は HDMI （[HDMI 入力]）が［オート］の場合は［入］、［PC］のときは［切］の条件で工場出荷時の設定が決まっています。

- スライドショー間隔
  - USB
    - [--:--]
    - :
    - [60:00]
  - 二画面
    - デジタルPC / アナログ PC-1,2 / HDMI / コンポーネント
      - 切※
      - 入
      - 設定
        - 二画面
          - 切
          - 入
        - 操作権
          - 左画面
          - 右画面

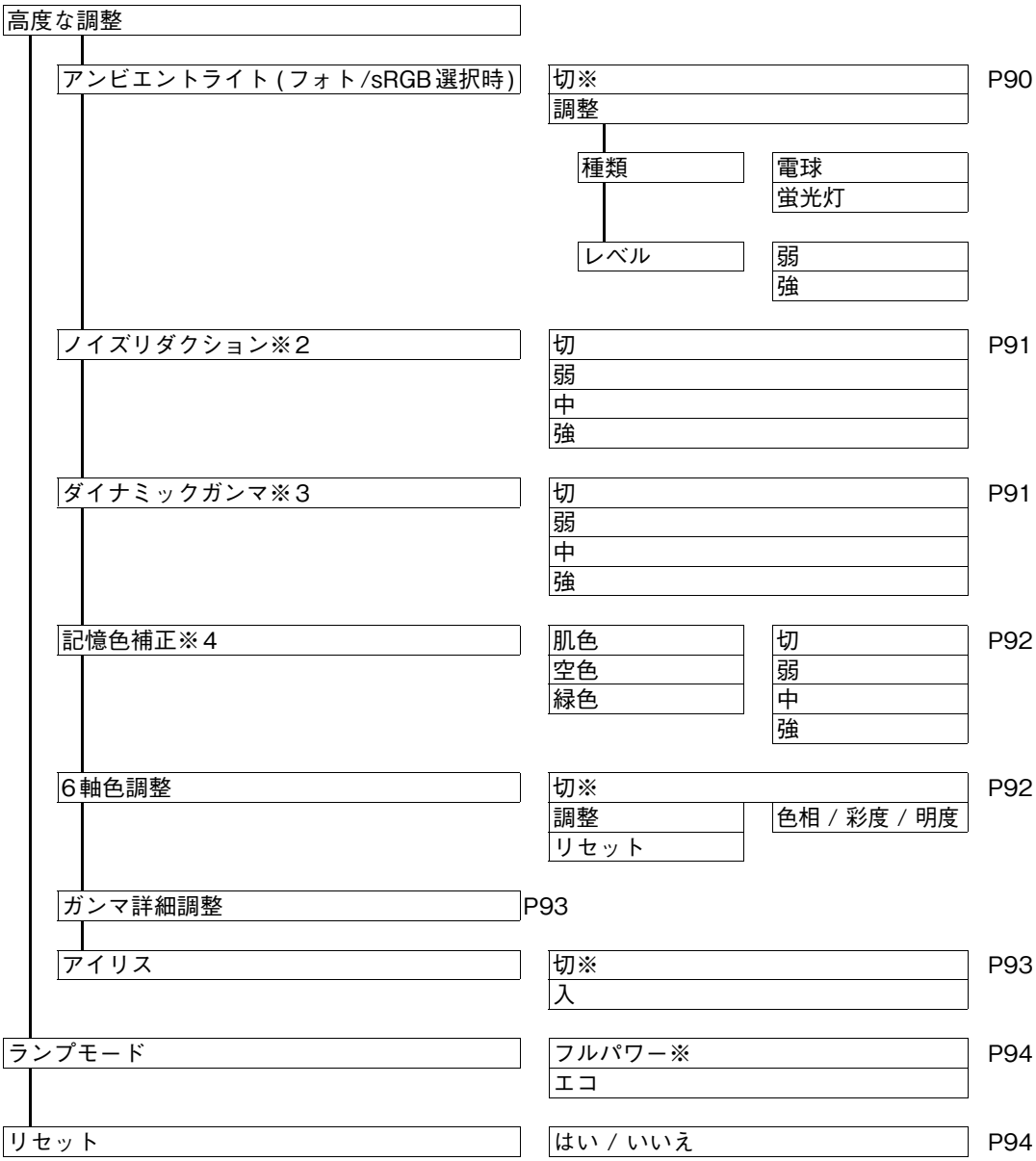
P84
P84

イメージ調整メニュー

- イメージ優先 (2画面表示時)
  - 共通
    - プライマリ
    - セカンダリ
- イメージモード
  - 共通
    - フォト/sRGB※
    - ユーザー1～5 (ユーザーメモリ作成時)
  - デジタルPC / アナログ PC-1,2 / HDMI ([HDMI 入力]が[PC]) / LAN / USB
    - スタンダード
    - プレゼンテーション※
  - コンポーネント / HDMI ([HDMI入力]が[オート])
    - ダイナミック
    - ビデオ
- ユーザーメモリ作成
- ユーザーメモリ保存 (ユーザーメモリ選択時)
- 基準イメージモード (ユーザーメモリ選択時)
- 明るさ
- コントラスト
- シャープネス
- ガンマ
- 色調整
  - 色の濃さ
  - 色合い
  - 色温度
  - 赤ゲイン
  - 緑ゲイン
  - 青ゲイン
  - 赤オフセット
  - 緑オフセット
  - 青オフセット

P85
P85
P85
P85
P86
P86
P86
P87
P88
P88
P89
P89

※は工場出荷時 (リセット後) の設定です。



※2～※4は以下の条件で工場出荷時の設定が決まっています。

※2 ·HDMI ([HDMI 入力]が[オート]) の場合は[切]
·コンポーネントの場合は[弱]

※3 ·アナログPC-1,2 / デジタルPC / HDMI ([HDMI 入力] が[PC]) の場合は[切]
·コンポーネント、HDMI ([HDMI入力]が[オート]) の場合は[弱]

※4 ·HDMI ([HDMI 入力] が[PC]) 、デジタルPC、アナログPC-1,2、USB,LANの場合は[切]
·HDMI ([HDMI 入力] が[オート]のとき) 、コンポーネントの場合は[弱]

※は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

設置設定メニュー

設置ロック	切※	P130
	入	
反転表示	なし※	P130
	天吊り	
	リア	
	リア・天吊り	
スクリーンアスペクト	16:10※	P132
	16:9	
	4:3	
	16:9 Dイメージシフト	
	4:3 Dイメージシフト	
ズーム (WUX400ST / WX450ST)		P133
キーストーン	縦横キーストーン※	P133
	4点補正	
	リセット	
デジタルイメージシフト	Dイメージシフト調整	P134
プロフェッショナル設定		
マイクロデジタルイメージシフト	切※	P135
	調整	
レジストレーション	切※	P135
	調整	
ファンモード	標準※	P136
	高地	
直立投写	切※	P136
	上向き	
	下向き	
エッジブレンディング	切※	P143
	調整	
	左	
	右	
	上	
	下	
	黒レベル調整	
	リセット	
音声入力端子選択		
HDMI	切	P137
	オーディオ イン1	
	オーディオ イン2	
	HDMI※	

※は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

デジタルPC	切		P137
	オーディオ イン1※		
	オーディオ イン2		
アナログPC-1	切		P137
	オーディオ イン1※		
	オーディオ イン2		
アナログPC-2	切		P137
	オーディオ イン1		
	オーディオ イン2※		
コンポーネント	切		P137
	オーディオ イン1		
	オーディオ イン2※		
スクリーン色補正	標準※		P137
	黒板		
	調整		
オンスクリーン			
メニュー表示位置	P138		
ガイド	切		P138
	入※		
入力状態表示	切		P139
	入※		
高温注意表示	切※		P139
	入		
メニュー表示時間	標準※		P140
	延長		
ランプ交換警告表示	切		P140
	入※		
エアフィルター清掃警告表示	切		P141
	入※		
二画面時ID表示	切		P141
	入※		
テストパターン	切※		P142
	入		

※は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

システム設定メニュー

ユーザー画面設定		
ユーザー画面登録	はい	P95
	いいえ※	
ユーザー画像位置	左上	P95
	右上	
	中央※	
	左下	
	右下	
無信号時画面	黒	P96
	青※	
	ユーザー画像	
BLANK 時画面	黒※	P96
	青	
	ユーザー画像	
起動時画面	表示しない	P97
	Canon ロゴ※	
	ユーザー画像	
オートパワーオフ	5 分	P97
	10 分	
	15 分※	
	20 分	
	30 分	
	60 分	
	無効	
ダイレクトパワーオン	切※	P98
	入	
電子音	切	P98
	入※	
キーリピート	切	P99
	入※	
キーロック	切※	P99
	本体	
	リモコン (ワイヤレス)	
リモコンチャンネル	Ch1	P100
	Ch2	
	Ch3	
	Ch4	
	オール※	
MB リダクション	切※	P101
	入	
HDMI 入力	オート※	P101
	PC	

※は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

言語	英語	トルコ語	P102
	ドイツ語	ポーランド語	
	フランス語	ハンガリー語	
	イタリア語	チェコ語	
	スペイン語	デンマーク語	
	ポルトガル語	アラビア語	
	スウェーデン語	中国語 (簡体)	
	ロシア語	中国語 (繁体)	
	オランダ語	韓国語	
	フィンランド語	日本語	
	ノルウェー語		
その他の設定			
パスワード設定	切※		P102
	入		
パスワード登録	パスワード入力		P103
ガンマリストア	切※		P104
	調整		
ランプカウンター	戻る		P104
	リセット (はい / いいえ)		
エアフィルターカウンター	戻る		P106
	リセット (はい / いいえ)		
ファームウェアバージョン	P106		
工場出荷設定	はい / いいえ		P107

ネットワーク設定メニュー

ネットワーク設定変更	ロック解除		P151
	ロック※		
ネットワークパスワード設定	切		P152
	入※		
ネットワークパスワード登録	パスワード入力		P152
ネットワーク機能 (有線)	切※		P153
	入		
ネットワーク待機設定	通常		P153
	省電力※		
詳細設定 (有線)			
IP アドレス	P154		
ゲートウェイアドレス	P154		
MAC アドレス	P155		
DHCP	切※		P155
	入		

※は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

TCP/IP 設定	IP アドレス		P156
	サブネットマスク		
	ゲートウェイアドレス		
	確定		
ネットワーク設定初期化			P156
IP アドレス (有線)	IP アドレスが表示		
PJLink	切		P157
	入※		
AMX Device Discovery	切※		P158
	入		
Crestron RoomView	切※		P158
	入		

インフォメーション

モデル名	P108
入力信号	
ファームバージョン	
シリアル No.	
メール送信元アドレス	
メール送信先アドレス	
プロジェクター名	
ロケーション	
システム情報 ID	

※は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が時々消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。 ●その他異常や故障がある。	➡	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ	
品　番	
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90071

［受付時間］〈平日〉9:00～12:00 / 13:00～17:00
（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）
※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9348をご利用ください。
※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

YT15390004

YT1-5390-004
0515N0.5
© CANON INC. 2013